

負擔金ハ之ヲ減免スルコトヲ得

第十條 土地ノ形狀ニ依リ斟酌スヘキ必要アリト認ムルトキハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十一條 河川ノ改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力又ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍内ニ於テ負擔金ヲ減免スルコトヲ得府知事ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對シテ亦同シ

第十二條 本令施行ノ際既ニ事業ニ著手セル部分ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス

第十三條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ府知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○四番(永田秀次郎君) 私ハ特別委員會ノ狀況ニ付テ此際御報告ヲ致シマス、只今朗讀ヲ致シマシタ通りノ結果デアリマスルガ、此議案ハ本年ノ三月八日ノ本會議ニ於テ委員ニ付託サレマシテ、ソレカラ委員會ハ三月二十九日ニ第一回、四月十一日ニ第二回ノ會議ヲ開キマシテ、先ヅ當局者ノ説明

ヲ求メマシタル上審議ニ移リマシテ當局者ト委員トノ間ニ質問應答ガアリマシタガ、其間ニ主トシテ問題ニナリマシタノハ、受益者負擔區域ヲ擴大スルト云フ點ト、ソレカラ負擔金額ヲ減ジテ貫ヒタイト云フ風ナ意見ニ付テ色々ノ議論ガ出マシタノデアリマス、先ヅ負擔區域ノコトニ付キマシテハ、原案ノ河川ノ幅員ノ三倍ノ地域ノ者ニ負擔セシムルト云フコトヲ、之ヲ擴張シテ、モツト擴ゲタイト云フコトヲ、立石委員カラ七倍ニシテ貫ヒタイ、朝倉委員カラ八十倍ニシテ貫ヒタイト云フヤウナ意見ガ先ヅ出マシタノデアリマスガ、此負擔區域ヲ擴ゲルコトニ付キマシテハ、實ハ斯ノ如キ水路ニハ今日迄先例トナルベキモノガナイノデ、唯名古屋ニ一ツノ例ガアルダケデアリマス、他ノ場合ニ付テ考ヘマスルト、道路ニ付キマシテハ、受益者ノ負擔ハ環狀線ヤ放射線ノ場合ニハ七倍ノ區域ニナツテ居リマスルガ、水路ノ利用ト云フコトハ聊カ道路トハ違ツテ居リマスノデ、水路ノ利用ト云フコトハ、其附近ノ人ガ必ズシモ道路ト同ジヤウナ工合ニ利用スルモノデハナクシテ、商業ノ狀態其他ニ依ツテ、少シ遠方ノ者デモ利益ヲ受クル者モアルシ、又サウデナク近クテモ餘リ利益ヲ得ナイト云フヤウナ場合モアルノデ、中々一般的ニハ定メ難イノデアリマスガ、大體ニ於テ道路ノ利用ノ程度ニハ先ヅ一般ノ人ニ均一ニ利用サレナイト云フコトヲ考慮致シマシテ、サウシテ之ニ對スル別個ノ意見トシテハ、水害其他ノ事カラ考ヘマシテ、ウント廣クシタ方ガ宜カラウト云フヤウナ意見モ段々出テ居ルノデアリマス、結局實地ヲ見テ其區域ヲ定メヤウト云フコトデ、實地ヲ調査

致シマシタ所、先ヅ三倍ノ所ニ旗ヲ立テ、考ヘテ見ルト、何ダカドウモ狭過ギルヤウナ感ジガ致シマス、ソレデ凡ソ五倍位ガ適當デアラウト云フコトヲ、實際調査ノ結果、總テノ人ガ先ヅ是デ宜カラウ、五倍位ガ丁度適當デアラウト云フコトニナリマシテ、其結果地域ヲ擴張致シテ、各受益者ノ負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フヤウナ意味カラシテ五倍ノ區域ヲ受益ノ區域、斯ウ定メルコトニ評議ガ定マツタ譯デアリマス、ソレカラ負擔金額ノコトニ付キマシテモ、四分ノ一ハ餘リ多額デアリマスカラ、之ヲモット少クシテ貫ヒタイト云フヤウナ意見モ出タノデアリマスケレドモ、之ニ對シマシテハ東京府會ニ於ケル議決ノ次第モゴザイマスノデ、此點ハ原案ヲ認ムルト云フトニナツタノデアリマス、ソレデ愈々決定ニ當リマシテ、第二條ノ第一項ノ負擔區域ハ三倍ヲ五倍ニ改ムト云フコトニナリマシタ、又其次ニ段々渡邊委員カラシテ第七條、第九條、第十條ニ關シテソレ々修正ノ意見ガ出タノデアリマスガ、之ヲ簡單ニ申述ベテ見マスルト、第七條ノ修正ニ付キマシテハ、原案ノ第一項ニハ負擔金ハ、「其ノ負擔區ノ事業著手ノ日ノ現在ニ依リ受益者ヨリ七年間ニ均分シテ之ヲ納付セシム、但シ納付期間内ニ受益者ニ移動アリタルトキハ新ニ受益者トナリタル者ヨリ、殘額ヲ納付セシム、斯ウシテ置キマシテ、ソレデ其納付期間内ニ受益者ニ移動ガアリタル場合ニ新ニ受益者トナリタル者カラ其殘額ヲ納付セシムルト云フコトノ以外ニ、或ハ無租地ト有租地トガ互ニ變更シタト云フヤウナ場合トカ、或ハ土地ノ面積ノ異動ト云フヤウナ場合ハ一向構ハズニ棄テ、置クカノ如キ嫌ヒガアリマスカラ、之ヲ明確ニシテ置ク必要ガアルダラウ、又事業ニ著手ノ當初算定シタル負擔金額ハ之ヲ更正シナイヤウナ趣意ノヤウニ、此原案ヲ見ルト見エテ居リマスルカラシテ、是ハ矢張改メル必要ガアラウ、又負擔金ノ徵收ニ關シマシテハ七年間ニ均分シテ之ヲ納付セシムト斯ウアリマスガ、此七年間ニ均分ト云フコトモ、實際ノ取扱ヲ見マスルト、一年分ヲ二回ニ徵收スル豫定ニナツテ居リマス、ソレデスカラ七年間ニ均分ト云フヨリモ、モット實際ニ適切ニ適用スルコトノ出來ルヤウニ負擔金額ノ總額ヲ七年デナク、毎年二回デアリマスカラ、十四等分シテ、サウシテ毎年二回期日ヲ一定シテ、其期日ニ於ケル現在ノ受益者カラシテ納付セシムルト云フコトニ改メマシタナラバ非常ニ明確ニナツテ宜カラウト云フノデ、之ヲ十四等分ト云フコトニ致シマシタノデ、ソレデ第七條ノ第一項ハ「負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム」斯ウ修正シマシタ譯デアリマス、ソレカラ第二項ヲ加ヘマシテ、「事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、小作權及賃借權ガ設定セラレタル有租地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者トス」此二項ヲ加ヘマシタノハ、大正九年九月ノ内務省令第二十八號ニ依リマスルト、有租地ノ地上權者、永小作人、賃借人ハ事業著手ノ日カラ起算シテ十箇年ノ長イ期間ノ定メアルモノニ對シテ受益者ト定ムルノデアリマスガ、事業著手後ニ設定サレタモノガアリマシタナラバ、其期間ガ十年ヨリ長イ期間ノモノデアリマスレバ、其設定後ノ納期ニ於テハソレ

五四五

ヲ受益者トシテ規定スルノガ當然デアラウ、原案ノ内務省令ノ儘デアリマスルト、事業著手後ニ設定サレタ受益者ニ付テハ規定ヲ缺イテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ此通りニ修正スルコトガ適當デアラウト認メマシタカラ第二項ヲ修正スル、斯ウ云フ意見が出タノデアリマス、第三項ハ「同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定セラレタルモノ、權利者ヲ以テ受益者トス」此第三項ヲ加ヘマシタノハ、同一ノ土地ニ付テ所有權者ニ代ツテ受益者トナルベキ權利ガ二ツ以上存在スル場合ニ於テ最後ニ設定セラレタルモノノ權利者ヲ受益者トスルノガ適當デアルト云フノデ、最後ニ設定セラレタル權利者ト云フコトヲ明確ニ致シタ次第デアリマス、第四項ハ原案ノ第一項ノ一部、即チ負擔金ハ豫算額ニ依リテ算出スベキコトヲ分離シテ獨立ノ一項トシタノデアリマス、第五項ハ原案ノ第二項ニ該當スルモノデアリマス、ソレカラ第九條ノ第二項ノ修正、是ハ負擔金ヲ重複シテ負擔スル場合ニ、本令ノ負擔金ノ一部ヲ免除スルト云フ場合ガ原案デアリマスルト、昭和二年三月内務省令第十一號、即チ環狀線、放射線ノ受益者負擔ト今回ノ場合ト重ナルト云フヤウナ場合ダケニ付テ規定シテ居ルノデアリマスカ、今後此環狀線放射線以外ニ又何カ受益者負擔ノ場合モアルベキコトヲ慮リマシテ、サウ云フ場合モ包含セシムルヤウニスルコトガ適當デアルト認メマシタカラデアリマス、ソレカラ第十條ノ修正ハ原案ハ負擔金ノ一部ヲ免除スルコトヲ得トアリマスカ、今回川幅ノ三倍ヲ五倍トスルト云フヤウニ負擔區域ヲ擴

張致シマシタ結果トシテ、場合ニ依ツテハ負擔ノ一部ヲ輕減スルノデナクシテ、全部ヲ免除スルコトガ適當ノ場合ガ生ズルカモ知レナイ、サウ云フ場合ヲ慮リマシテ「一部ヲ免除」トアルノヲ「減免」トシテ廣ク規定シテ置ク方ガ良カラウ、斯ウ云フヤウナ修正案ガ渡邊委員カラ出マシタ、以上ノ問題ヲ審議致シマシタ結果、此修正案ヲ適當ト認メマシテ、今申シマシタ事柄ニ付テハ全部修正案ノ通りニ委員會デハ極マリマシタ、其外ノ各箇條ニ付テハ全部原案ヲ適當ト認メマシタノデ、原案ノ通りニ決定致シマシタ、又此修正案ノ各項ニ付キマシテハ、當局者ニ於キマシテモ異論ガナイト云フコトデアリマシタノデ、別紙ノ報告書ノ通りニ委員會デ決定致シマシタ次第デアリマスカラ本會ニ於テモ其通りニ御認メアランコトヲ希望致シマス

○議長(會長代理秋田清君) 御質問等ハゴザイマセヌカ——本案ニ付テ御意見ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長代理秋田清君) 別ニ御意見モナイヤウデアリマスカラ採決ヲ致シマス、只今特別委員長御報告ノ通り修正ノ上、原案ヲ可決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長代理秋田清君) ソレデハ御異議ナイモノト認メマシテ左様ニ決定ヲ致シマス——日程第二、議第七號東京都市計畫王子町下水道事業受益者負擔ニ關スル件、之ヲ議題ニ供シマス——特

別委員長ノ報告ヲ求メマス

〔幹事朗讀〕

報 告

五四八

本特別委員會ハ昭和四年三月八日付託セラレタル議第百七號議案東京都市計畫王子町下水道事業受益者負擔ニ關スル件ニ付同年三月二十九日及四月十一日ノ二回會議ヲ開キ慎重審議ノ結果全部原案ヲ適當ト認メ候條此段及報告候也

昭和四年四月十一日

特別委員長 永 田 秀 次 郎

特別都市計畫委員會

會長 望 月 圭 介 殿

○四番(永田秀次郎君) 此王子町下水道事業受益者負擔ニ關スル件ハ、只今朝讀致シマシタ通りニ格別委員會ニ於キマシテモ議論ハゴザイマセヌデシタ、唯第三條ノ三分ノ一ノ負擔ト云フ負擔ノ程度ニ付テ質問ガゴザイマシタガ、ソレハ當局者ノ説明ニ依リマスト費用ガ約三百萬圓掛ツテ、受益ノ地域ガ約百萬坪デアルカラ、三分ノ一ノ負擔ハ坪當リ一圓一錢一厘ト云フ僅カナモノニナル、之ヲ十

五箇年賦ニ納メルコトニシテモ、是位ノ利益ハ先ヅアルモノト認メテ良カラウト云フコトデアリマシタ、其他些細ノ點ニ於テ色々ノ質問モゴザイマシタケレドモ、重大ナコトハアリマセヌカラ省略致シマス、慎重審議ノ結果全部原案ヲ適當ト認メマシタヤウナ次第デアリマス、何卒委員會報告ノ通り御決定アランコトヲ希望致シマス

○議長(會長代理秋田清君) 別ニ御發議ハアリマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(會長代理秋田清君) 只今特別委員長御報告ノ通り原案ヲ是認スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(會長代理秋田清君) 御異議ナイモノト認メマシテ、原案ノ通り決定致シマス——日程第三、議第百二十一號東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件

〔幹事朗讀〕

議第一二一號

一、東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件

五四九

特別都市計畫委員會

東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件左ノ通決定セムトス

右都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和四年五月三十一日

內務大臣 望 月 圭 介

內務省令第 號

東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件

第一條 東京市ハ都市計畫事業トシテ市長ノ執行スヘキ古川改修ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條 大正九年九月內務省令第二十八號ノ區劃ハ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ三十間ノ地域トス

改修前ノ洪水時ニ於ケル浸水ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ內務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス別ニ負擔區劃ノ限界ヲ定ムルコトヲ得

第三條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ前條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ各地帶ノ負擔歩合ヲ定ム

第四條 各受益者ノ負擔金額ハ事業費ノ百分ノ二十八ヲ負擔區劃内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ前條ノ負擔歩合及各受益者ノ土地ノ面積ヲ乘シタルモノトス

第五條 前數條ニ定ムルモノノ外河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側各六間ノ區域内ニ在ル有租地ノ所有者ヲシテ事業費ノ百分ノ十二ヲ當該區域内ニ在ル土地ノ總面積ニテ除シテ得タル一坪當金額ニ各所有者ノ土地ノ面積ヲ乘シタル金額ヲ負擔セシム

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル土地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者ト看做ス
同一ノ土地ニ付大正九年九月內務省令第二十八號及前項ノ權利(所有權ヲ除ク)ニ以上存スルトキハ最後ニ設定シタルモノノ權利者ヲ以テ受益者ト看做ス

前二項ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ負擔セシムル場合ニ之ヲ適用セス

第七條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額(負擔金ノ第一回ノ計算ニ付テハ前年度以前ノ事業費精算合計額)ニ依リ之ヲ算出ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ス

- 一、土地ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ
- 二、古川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シタルトキ

第九條 左ニ掲クル事項ハ市長之ヲ告示ス

- 一、第三條ノ地帶及負擔歩合
- 二、第四條及第五條ノ一坪當金額
- 三、事業著手ノ日
- 四、第六條第一項ノ期日

第十條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

說 明

本件ハ都市計畫事業トシテ東京市長ノ執行ニ係ル古川改修ニ要スル費用ノ一部ヲ本事業ニ因ル受益者ヲシテ負擔セシムル爲其ノ金額及方法ヲ定ムトスルモノニシテ其ノ負擔金額ハ事業費精算額ノ百分ノ四十トシ内百分ノ二十八ヲ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ三十間ノ區域ノ一般受益者ニ對シ其ノ面積及受益ノ厚薄ニ應シ定ムル負擔歩合ニ依リ賦課シ百分ノ十二ハ河川ノ境界線ヨリ其ノ兩側ニ於テ六間ノ區域ノ土地所有者ノミニ對シ其ノ面積ニ比例シテ賦課スルモノトス而シテ右負擔金ハ之ヲ二十等分シ毎年二回一定ノ期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシムルモノトシ尙土地ノ狀況ニ依リ斟酌スヘキ必要アルモノ及土地物件其ノ他ノ寄附ヲ爲シタルモノニ對スル負擔金減免ノ規定ヲ設ケタリ

○復與局部長(赤木朝治君) 本案ノ説明ヲ申上ゲマス、此案ハ都市計畫事業ト致シマシテ、東京市長ニ於テ執行致シマス所ノ古川ノ改修ニ要スル費用ノ一部ヲ、此事業ニ因ツテ利益ヲ受ケマス所ノ受益者ニ負擔セシムルコトニ致シマシテ、其金額及負擔方法ヲ定メヤウト致シマスモノデゴザイマス、古川ノ改修ハ、事業費ノ總額ガ二百八十七萬圓ヲ要スルノデゴザイマス、サウシテ此事業ハ大正十四年度カラ昭和六年度迄即チ七箇年ノ繼續事業ト致シマシテ、目下執行中ニ屬スルモノデゴザイマス、其二百八十七萬圓ノ事業費ノ財源ト致シマシテハ受益者ノ負擔金、土地ノ賣拂代金及一般市稅ヲ以テ之ヲ支辨シヤウト致スノデアリマス、受益者ノ負擔ト致シマシテ賦課スル割合ハ事業費ノ百

分ノ四十ト致シマシテ、其中百分ノ二十八ハ一般受益者ニ負擔セシメ百分ノ十二ハ附近ノ土地ノ所有者丈ケニ負擔セシメヤウトスルモノデアリマス、負擔區劃内ニハ實際ニ於テ其區劃内デアツテモ負擔金ヲ課セナイ所ノ土地ガゴザイマスカラ、實際ノ收入額ハ事業費ノ約四分ノ一ニ當ルノデアリマス、此規定ノ制定ニ付キマシテ都市計畫法施行令第十條ニ依リマシテ、之ニ關係ノアル東京市長及澁谷町長ノ意見ヲ聽キマシタノデアリマスガ、何レモ之ニ對シマシテ異存ガナイト云フ答申ガ出テ居ルノデゴザイマス、宜シク御審議ヲ御願致シマス

○四十一番(中塚榮次郎君) 本案ハ市民ニ極メテ重大ナル關係ヲ有シ且ツ省令ノ條項モ十箇條ニ亘ルヲ以テ、先例ニ依リマシテ議長指名十三名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(會長代理秋田清君) 只今ノ四十一番ノ御發議ニ對シテ御賛成ガアリマセウカ
〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(會長代理秋田清君) 御賛成ガアルヤウデアリマスカラ四十一番御發議ノ通り議長指名十三名ノ特別委員ニ付託スルコトニシタイト存ジマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(會長代理秋田清君) 御異議ノナイモノト認メマシテ左様ニ決定致シマス、議長ニ於テ追テ指名致スコトニ致シマス——次ニ日程第四、議第二百二十二號東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件

ル件

〔幹事朗讀〕

議第一二二號

一、東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件
官計發第二九八號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件左ノ通決定セムトス
右都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和四年五月三十一日

内務大臣 望 月 圭 介

内務省令第 號

東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件

第一條 東京市ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫事業街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示

第四百九號東京都市計畫道路ノ新設改修中市長ノ執行スヘキ事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムヘシ

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ附近ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ翦除シタル部分ニ於テハ其ノ翦除セサル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路ノ幅員ノ五倍ノ地域トス

前項ノ地域内ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ内務大臣ハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界ト爲スコトヲ得

第三條 市長ハ路線、道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區ヲ定ム

第四條 受益者ノ負擔スヘキ金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一、道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔區毎ニ之ヲ定ム但シ第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テ第二條第一項ノ地域内ニ在ル境界外ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔セシムルモノトセハ其ノ負擔金額ハ之ヲ控除ス負擔區内ニ負擔金ヲ負擔セサル土地アル場合ニ於テ其ノ負擔金額ニ付亦同シ道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員カ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

第五條 市長ハ利益ヲ受ケル厚薄ニ依リ負擔區ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ一定ノ率ニ依リ各地帯ノ負擔額ヲ定ム

第六條 新設又ハ擴築スル道路ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ道路ニ接スル土地ノ部分ノ長ニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十四分シ事業著手後毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永小作權及賃借權カ設定セラレタル土地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作權者及賃借權者ヲ以テ各受益者ト看做ス
負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額カ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 土地利用ノ狀況又ハ建物ノ階層ニ依リ前條第一項ニ依リ算出シタル金額ノ外其ノ五割以内ヲ増課スルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第三號ノ場合ニ於テハ

寄附額ヲ超ユルコトヲ得ス

五五八

一、同一ノ土地ニシテ本令又ハ他ノ規定ニ依リ同一年度内ニ重複シテ道路工事ニ關スル負擔金ヲ負擔スル關係ニ該當スルトキ

二、地形ニ依リ斟酌スヘキ必要アルトキ

三、道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ

第十條 第二條第二項ノ規定ニ依ル負擔區劃ノ限界、負擔區、第五條ノ地帶及率、事業費豫算額及精

算額、事業著手ノ日、第七條第一項ノ期日竝負擔金ヲ増課スル事項及増課割合ハ市長之ヲ告示スヘシ

第十一條 本令施行ノ際既ニ著手セル事業ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス

第十二條 本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行

說 明

本件ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示第四百九號東京

都市計畫道路ノ新設改修中東京市長ニ於テ執行スヘキ事業ニ要スル費用ノ一部ヲ當該事業ニ因ル受益者ヲシテ負擔セシムル爲其ノ金額及負擔方法ヲ定メトスルモノニシテ其ノ大要ハ負擔金額ヲ道路新設ノ場合ハ事業費ノ三分ノ一、擴築ノ場合ハ四分ノ一トシ之ヲ各受益者ニ賦課スル爲先ツ道路幅員ノ五倍ノ地域ヲ以テ負擔區劃トシ路線、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區ヲ定メ之ヲ受益ノ厚薄ニ依リ更ニ數地帶ニ分テ道路ニ接スル地帶ニ在リテハ其ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ間口割、他ノ二分ノ一ヲ面積割トシ其ノ他ノ地帶ニ在リテハ全部面積割トセリ而シテ右負擔金ハ之ヲ十四等分シ毎年二回一定ノ期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシムルモノトシ尙土地利用ノ狀況等ニ依ル五割以内ノ増課及負擔金ヲ重複負擔スルモノ、土地物件其ノ他ヲ寄附シタルモノ等ニ對スル負擔金減免ニ關スル規定ヲ設ケタリ

○復興局長(赤木朝治君) 本案ノ大體ヲ御説明申上ゲマス、此案ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設改修、此二ツノ事業ノ中東京市長ニ於テ執行致ス事業ニ要スル費用ノ一部ヲ此事業ニ依ツテ利益ヲ受ケマス所ノ受益者ニ負擔セシムルコト、致シマシテ、其負擔金額及ビ負擔ノ方法ヲ定メント致スモノデアリマス、此二ツノ計畫ニ基キマス所ノ事業費ハ、大正十年ノ東京都市計畫街路ノ新設擴張ノ分ハ事業費五千三百十二萬餘圓、其路線ガ三十二ニナツテ居リマス、ソレカラ昭和二年八月ノ東京都市計畫道路ノ新

五五九

設改修ノ方ニ屬シマスル分ガ六千十萬餘圓デアリマシテ其路線數ガ二十四デアリマス、併シ此總テノ事業ヲ市ノ財政ノ都合デ以テ全部執行スルト云フコトハ到底差當リ出來ナイノデゴザイマスノデ其中特ニ急施ヲ要スルモノカラ漸次執行スルコト、致シマシテ、其執行致シマスモノ、財源ヲ受益者負擔、國庫補助金、一般ノ市歳入其他ノ收入ヲ以テ之ニ充テルコト、致シマシテ、其財源ノ一トシテノ受益者負擔ノ規定デゴザイマス、其受益者負擔ノ金ハ、道路新設ノ場合ト擴張ノ場合ニ依ツテ負擔ノ程度ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマシテ、道路新設ノ場合ニハ事業費ノ三分ノ一、擴張ノ場合ニハ事業費ノ四分ノ一ヲ賦課セントスルモノデアリマス、併ナガラ此負擔ヲ致ス區域内ニアリマシテモ、實際ハ負擔金ヲ課セナイ土地ガゴザイマスカラシテ、三分ノ一、四分ノ一ト云フ率ヲ以テ課シマシテモ、實際收入ヲ得ル見込ハ事業費ノ約五分ノ一内外デアラウト考ヘルノデアリマス、此規定ノ制定ニ付キマシテ、都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依リマシテ關係ノ東京市長及ビ十七箇町長ノ意見ヲ聽キマシタノデアリマスガ、東京市長ト七箇町長ハ原案ニ對シテ異議ガナイト云フ答申ヲ出シテ居リマス、澁谷町長外九箇町長カラハ、一部修正ノ希望ヲ答申ガ出テ居ルノデゴザイマス、御審議ノ御參考ノ爲ニ其修正希望ノ要點ヲ申上ゲマスレバ、第一ニハ第二條ノ中ニ負擔區劃ハ道路ノ幅員ノ五倍トアリマスノヲ、之ヲ擴張致シマシテ、幅員ノ七倍迄ニ擴張シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ意見ガ澁谷町長外五町長カラ出テ居リマス、其幅員ヲ更ニ十倍迄擴張シテ貫ヒタイト云フノガ澁橋町長カラ出テ居リマス、ソレカラ第四條ノ中ノ負擔金ノ割合ガ道路新設ノ場合三分ノ一、擴張ノ場合四分ノ一トナツテ居リマスルノヲ其割合ヲ少ナク致シマシテ總テノ場合ニ負擔金ハ七分ノ一ト云フコトニ輕減ヲシテ貫ヒタイト云フノガ澁橋町長カラ出テ居リマス、次ニハ第六條中ニ間口負擔デ二分ノ一トアリマスノヲ三分ノ一ニ輕減シテ貫ヒタイト云フ意見ガ大崎町長外三町長カラ出テ居リマス、次ニ第七條ノ中デ、負擔金納付期間ガ七年ニナツテ居リマスノヲ十年ニ延長シテ貫ヒタイト云フ意見ガ西巢鴨町長外一町長カラ出テ居リマス、次ニ第九條ノ中ニ同一年度内トアリマスノヲ之ヲ削ツテ貫ヒタイト云フ意見ガ吾嬭町長外一町長カラ出テ居リマス、ソレカラ日暮里町長外一町長カラシテ此同一年度内トアルモノヲ五箇年度内ト改メテ貫ヒタイト云フ意見ガ出テ居リマス、大體町長トシテ出テ居リマス修正ノ希望ハ以上申上ゲタヤウナモノデゴザイマスカラ、御審議ノ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○六番(古島宮次郎君) 本議案ハ本市ニ重大ナル關係ノアル議案デアリマスルガ故ニ、前議案百二十一號ノ特別委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○六十七番(太田信治郎君) 此場合一寸質疑ヲ致シタイト思ヒマス、御許シテ願ヒマス——私ハ委員付託ニハ勿論賛成デゴザイマスガ、其以前ニ一寸御伺ヒ致シタイノハ、此受益者負擔ノ街路ニ當ル東京市長ノ執行スベキ事業ノ中ニハ郡市接續ノ道路ニシテ、既ニ郡部ニ屬シテ居ルモノモアルヤウ

ニ私ハ承知致シテ居リマス、所デ現在ノ東京市ノ財政状態ハ頗ル窮迫ナ状態デアルト云フコトハ私ノ申上グル迄モナイノデアリマス、而シテ東京市内ニ於ケル所ノ事業ニ於キマシテモ、既ニ財政上窮乏ヲ告ゲテ居ルト云フヤウナ場合ニ、東京市長ノ施行スベキ義務ニ屬シテ居ルトハ申シナガラ、市外ノ郡部ニ接續シテ居ルヤウナ路道モ含マレテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ニ屬スル部分デ急施ヲ要スルヤウナモノ、中ニハ、一部ハ受益者ガ費用ヲ負擔シ、一部ハ國庫ガ負擔スルトシテモ、東京市ノ負擔スベキ金額ハ尠ナカラズト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ東京市ハ財源ニ付テドウ云フ御考ガアリマスカ、此點ヲ一點御伺ヒ致シタイノデアリマス

○四十三番(堀切善次郎君) 只今ノ御質疑ニ對シマシテ私カラ御答ヘ申上ゲマス、此昭和二年ノ計畫及大正十年ノ當時ノ計畫ハ先刻説明ノアリマシタヤウニ、一億數千萬圓ニ上ボルノデアリマスガ、直ニ此規定ヲ適用スルモノハ市ノ豫算デ決議ノ濟ンデ居ル分ガ施行サレルノデアリマス、其財源ニ付キマシテハ財政計畫モ極マツテ居リマシテ、受益者負擔金其他一般ノ收入ヲ以テヤルコトニナツテ居リマシテ、只今ノ所千何百萬圓カノ計畫ガ出來上ツテ、其ノ方ニ著手シテ居ルヤウニ覺エテ居リマス、此以外ノモノニ付キマシテハ今後ノ問題デアリマシテ、其財源ヲ如何様ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、實行ニ著手スルトキニ考慮致シマシテ、最善ノ考慮ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○議長(會長代理秋田清君) 六番ノ御動議ニ對シテ六十七番ノ御賛成ガアリマシタカラ、之ヲ議題トシテ採決政シマス、只今六番ノ御動議ハ本案ヲ先ノ議案即チ議長ニ依ツテ指名セラルベキ十三名ノ特別委員ニ付託シテ審査ヲスルト云フノデアリマス、之ニ對シテ御異議ハゴザイマスマイカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(會長代理秋田清君) 御異議ナイモノト認メマシテ、六番ノ御動議ノ通り決定致シマス——次ハ日程第五、議第二百二十三號東京都市計畫隅田公園區域變更ノ件ヲ議題ニ供シマス、
〔「幹事朗讀」〕

議第一二三號

一、東京都市計畫隅田公園區域變更ノ件
官計發第二八六號

特別都市計畫委員會

大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中左ノ通變更セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和四年五月三十日

内務大臣 望 月 圭 介

五六四

大正十三年四月一日内務省告示第七十號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中第二號隅田公園ノ面積「約三萬九千六百坪」ヲ「約五萬二千六百六十坪」ニ改ム

説 明

隅田公園ノ淺草側ハ地形狹長ニシテ公園施設ノ充實ヲ期シカタキヲ以テ今戸町地先ヨリ山ノ宿町地先ニ至ル荒川水面ノ一部ヲ埋立テ之ヲ公園區域ニ編入シ其ノ面積ヲ約五萬二千六百六十坪ニ變更セムトスルモノナリ

○復興局部長(赤木朝治君) 此案ハ隅田公園ノ中、主トシテ淺草側ニ於ケル區域ノ變更ヲシテ擴張ヲシヤウトスルモノデゴザイマス、隅田公園ノ中、淺草側ハ沿岸ノ延長ガ約七百三十間アルノデアリマスガ、地形ハ大變ニ狹クテ長イノデアリマシテ、公園ノ施設ヲ致シマス上ニ於テ遺憾ナ點ガ尠クナイノデアリマス、ソレデ今戸町地先ヨリ山ノ宿町地先ニ至ル荒川水面ノ一部ヲ埋立テマシテ、之ヲ公園區域ニ編入致サウト云フノデアリマス、之ヲ埋立テマシテモ治水並ニ航通上支障ガナイト

云フコトニナツテ居ル箇所デゴザイマス、若シ將來此地域ガ公園ト川ノ間ニ成ツテ埋立ガ出來マシテ、他ノ方面ニ利用サレルコトニデモナリマスレバ、公園トシテ非常ニ其特色ヲ失フコトニナリマシテ、甚ダ遺憾ナコト、考ヘマスノデ、此際此水面ヲ埋立テマシテ、隅田公園トシテ施設ヲスル方ガ良カラウト存ジマシテ、此提案ヲ致スノデアリマス、尙ホ此埋立ノ外ニ此案ハ言問橋ノ兩端ノ橋臺敷地ヲ公園區域ニ編入シタ方ガ、其施設ヲ完ウスル上ニ於テ都合ガ好カラウト考ヘマシタノデ、橋臺敷地ヲモ編入スルコトニナリマシタ、ドウカ御審議ノ上御決定アラシムコトヲ希望致シマス

○五十六番(川村正夫君) 本案ハ東京市民ノ爲ニ好都合ノ變更デアルト思ヒマスカラ、即決可決セラレンコトヲ望ミマス

「賛成々々」ト呼フ者アリ」

○議長(會長代理秋田清君) 別ニ他ニ御發議モナイヤウデアリマスカラ、直ニ採決致シマス、本案ニ對シテ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナレ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長代理秋田清君) 御異議ナイモノト認メマシテ、原案通り可決セラレタルコトヲ宣告致シマス——次ニ日程第六、議第百二十四號ヲ議題ニ供シマス、東京都市計畫外濠改修及其ノ事業執行年割決定ノ件

五六五

「幹事朗讀」

議第一二四號

一、東京都市計畫外濠改修及其ノ事業執行年割決定ノ件
官計發第二八七號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫外濠改修及其ノ事業執行年割左ノ通決定セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和四年五月三十一日

内務大臣 望 月 圭 介

第一 東京都市計畫外濠改修ノ件左ノ通定ム

名稱	區	域	延長(約)	幅員(約)
外濠	雄子橋下流ヨリ一ツ橋ニ至ル 一ツ橋ヨリ錦橋ニ至ル 錦橋ヨリ神田橋ニ至ル 常盤橋附近		二二五米 一三八 三二一 三六	二七米 三一 三一 四〇

第二 前項ノ計畫ハ之ヲ都市計畫事業トシテ昭和四年度ニ於テ執行スルモノトス

說 明

本案ハ外濠ノ一部雉子橋ヨリ神田橋ニ至ル區間及常盤橋附近ニ於テ運河ノ幅員ヲ整正シ併セテ右岸ノ壘壁ヲ整理セムトスルモノニシテ之ヲ都市計畫事業トシテ國ニ於テ昭和四年度ニ執行セムトスルモノナリ

○復興局部長(赤木朝治君) 本案ノ説明ヲ申上ゲマス、此案ハ外濠ノ雉子橋附近カラ神田橋ニ至ル區間ト、及ヒ常盤橋附近ニ於ケル運河ヲ改修致シタイト云フノデアリマス、此區間ニ於ケル右岸ノ堤壘ガ震災ノ爲ニ到ル所崩壊致シテ居ルノデアリマシテ、其爲ニ川底ガ漸次埋沒致シマシテ、舟航ニモ不便ヲ感ズルヤウニナツテ居ル狀況デゴザイマス、且又此崩壊ノ爲ニ外濠ノ美觀ヲ損スルコトモ尠ナクゴザイマセヌノデ、運河ノ幅員ヲ改メテ正シク致シマシテ、併セテ此堤壘ヲ整理致シマス爲ニ之ヲ都市計畫事業ト致シマシテ、經費約三十餘萬圓ヲ以テ本年度内ニ於テ國ガ之ヲ執行致サウトスル案デゴザイマス、ドウカ宜シク御審議ヲ願ヒマス

○六十七番(太田信治郎君) 本案ハ御承知ノ通り昔カラ「御濠バタ」ト申シテ居ル所デ、宮城ノ外廓ノ唯一ツノ運河デアリマシテ、船ノ航通上ニモ最モ緊要ナ場所デアリマス、然ルニモ拘ラズ此運河ノ改修ガ遅レテ居ツタト云フコトハ甚ダ遺憾ナコト、思ツテ居ルノデアリマス、ドウカ一日モ速ニ完成ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、此場合直ニ即決可決アラシコトヲ希望致シマス
〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(會長代理秋田清君) 本案ニ對シテ別ニ御發議モナイヤウデアリマスカラ、直ニ採決致シマス
本案ニ御異議ゴザイマスマイカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(會長代理秋田清君) ソレデハ原案通り可決致シマシタルコトヲ宣告致シマス——次ニ日程第七、議第百二十五號ヲ議題ニ供シマス、横濱都市計畫河川改修及其ノ事業執行年割中變更ノ件(瀧ノ川改修關係)
〔幹事朗讀〕

議第一二五號

一、横濱都市計畫河川改修及其ノ事業執行年割中變更ノ件(瀧ノ川改修關係)

官計發第二九六號

特別都市計畫委員會

大正十五年三月六日內務省告示第二十六號横濱都市計畫河川改修及其ノ事業執行年割中左ノ通變更セムトス

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

昭和四年五月三十一日

內務大臣 望 月 圭 介

大正十五年三月六日內務省告示第二十六號横濱都市計畫河川改修及其ノ事業執行年割中瀧ノ川反町支流ヲ左ノ通改ム

名稱	區	域	延長(約)	幅員(約)
瀧ノ川	反町支流	青木町栗田谷ヨリ 境橋ニ至ル	一・二五五*	三・三乃* 至五・三

說明

本案ハ瀧ノ川改修事業中反町支流ノ沿岸ニ於ケル洪水ノ氾濫ヲ防止スル爲松本支流(分水)合流點ヨリ上流約四百四十米ノ區間ヲ改修セムトスルモノナリ

○復興局部長(赤木朝治君) 此案ハ横濱ノ都市計畫ノ中テ瀧ノ川改修事業中反町支流ノ沿岸ニ於ケル洪水ノ氾濫ヲ防止スル爲、松本支流ノ合流點ノ上流約四百四十米ノ區間ヲ改修セントスルモノデアリマス、瀧ノ川ノ改修事業ハ大正十五年三月ニ告示ニナツテ居リマシテ、其一部ノ反町支流ニ付キマシテハ境橋カラ上流八百五十米ノ區間ヲ改修スル計畫デゴザイマシテ、只今ノ所デハ殆ド完成ニ近付イテ居ルデアリマスガ、其上流即チ青木町栗田谷ト松本地内ニ於ケル現在ノ河川ノ狀態ハ大變ニ惡ウゴザイマシテ、幅員僅ニ三米内外ニ過ギナイデアリマス、加フルニ護岸ガ不規則デアリマシテ、川床モ亦淺イ爲ニ、年々此流域ノ發展ヲ致シマスニ伴ヒマシテ、若シ一朝大雨デモアリマシタナラバ、此沿岸一體殊ニ右岸ニ於テ、浸水ノ被害ガ甚シイヤウナ狀況デアルデアリマス、斯ウ云フ狀況デゴザイマスカラシテ、今回松本支流合流 約四百四十米ノ區間ヲ幅員三米乃

至四米ニ改修シャウト云フデアリマスガ、此事業ニ要スル事業費ハ約四萬五千餘圓デアリマシテ此經費ニ付キマシテハ既定事業計畫河川ノ實施殘額ノ中カラ支辨シ得ル見込デアリマス、而シテ此事業ハ本年度内ニ完成ノ豫定デアリマスノデ、ドウカ御審議ノ上ニ御決定アランコトヲ望ミマス
○八十番(吉澤光義君) 本案ハ極メテ適當ナル案ト認メマスカラ、直チニ可決確定アランコトヲ希望致シマス

○議長(會長代理秋田清君) 本案ニ付テハ御異議ハアリマスマイカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(會長代理秋田清君) 御異議ナイモノト認メマシテ原案ノ通り決定致シマス——是ニテ日程ヲ議了致シタノデアリマスガ、先程議長ニ御委託ニナツテ居リマシタ議第百二十一號及百二十二號議案ノ特別調査委員ヲ御指名申上ゲマス

- 二番 渡邊 鐵藏君
- 四番 永田 秀次郎君
- 五番 平田 紀一君
- 六番 古島 宮次郎君
- 十一番 潮 惠之輔君

- 十三番 平塚 廣義君
- 十五番 朝倉 虎治郎君
- 三十七番 新甫 寛實君
- 四十一番 中塚 榮次郎君
- 四十三番 堀切 善次郎君
- 四十五番 佐上 信一君
- 六十七番 太田 信治郎君
- 八十二番 前田 多門君

以上十三君ニ御願ヒ致シマス——尙ホ過日議長ヨリ指名通告致シテ置キマシタ中央諸官衙建築地域内街路ニ關スル特別委員ノ方々ハ、本會議ノ終了致シマシタ後ニ御參集ヲ願ツテ委員長ノ互選等ヲ願ヒタイト思ヒマス——尙ホ此場合六十七番太田信治郎君ヨリ質問ノ御通告ガアリマスノデ、之ヲ許可スルコトニ致シマス

○六十七番(太田信治郎君) 此場合暫時時間ヲ御割愛ヲ願ヒタイトデアリマス、第一ニ御伺ヒシタイトハ失業ニ關スル問題デアリマス、御承知ノ通り復興局ノ事業モ段々完成ヲ告ゲラレテ、既ニ數千名ノ人員ガ整理セラレテ居ル更ニ本年ノ秋迄デ又二千人以上ノ人員ガソレト退職セラル、ノデア

ラウト思フノデアリマス、復興局自體ニ於テスラスノ如キ多數ノ人ガ整理セラル、ノデアリマスカラ、一般此事業ニ從事シテ居リマスル所ノ人々ノ是ガ爲ニ業ヲ失フコトハ申ス迄モナイノデアリマカス殊ニ最近ノ經濟界ガ、御承知ノ通り不況ノ底ニ沈淪シテ居リマスルカラシテ、更ニ起ルベキ何等ノ事業ガ無イノデアリマス、茲ニ於テ當局ニ於キマシテモ無論御心配ニナツテ、職業紹介所其他ヲ以テ失業者ノ就職口ヲソレト御心配ニナツテ居ルコトハ承知致シテ居リマスケレドモ、如何ニ紹介ノ勞ヲ御執リニナツテモ事業ガナケレバ其職ヲ得ルコトノ出來ナイノハ當然ノ結果デアリマス、殊ニ各方面カラ集マツテ居ル所ノ労働者ノ如キハ、數年ノ間東京ニ在シテ居レバ地方ノ職業ハ無論失ツテ居ルノデアリマスカラ、今更地方ニ歸ル途ガナイノデアリマス、然ルニ最近ハ其職ニアリ就クコトガ出來ナイノデ、日々ノ生活ニ逐ハレテ居ル者ガ多數アルノデアリマス、又此事業ニ從事シテ居リマスル人ニ供給シ、若クハ事業ノ材料ヲ供給シテ居リマサウナ中産階級ノ人々、又商工業者ノ多數ノ人々ハ、只今殆ド失業状態ニ陥ラントシツツアルノデアリマス、此儘推移致シマシタナラバ、本年ノ年末ニハ私ハ非常ナ問題ガ起リハシナイカト斯様ニ思フノデアリマスガ、是等ニ對シテハ内務當局ニ於テモ無論御心配ニナツテ居ルコトデアラウト私ハ信ジマスガ、何等カノ對策ヲ御考ニナツテ居ラレルノデアリマスカ、其點ヲ一ツ伺ツテ見タイ、又伺ツテ彼等ニモ一ツ安心ヲサシテヤラウト私ハ思フ、私ハ是ガ對策ト云フ譯デハアリマセヌガ、先年來心配致シテ居リマシテ今ノ

市長サンノ堀切サンニモ長官時代ニ御話シタコトガタシカアツタト思ヒマスガ、東京ノ府下ニ於ケル東京都市計畫事業ト云フモノガコ、ニ一ツアリ、又東京市ダケニシマシテモ東京灣ノ隅田川口改良事業、又區劃整理ニ伴フ下水道ノ事業ノ如キ、或ハ上水道ノ事業擴張ノ如キ、又神奈川縣ニ於テモ何レモ此接續地ノ事業ガ澤山アルノデアリマス、併ナガラ是等ノ事業ハ何レモ神奈川縣ニシテモ東京府ニシテモ横濱市ニシマシテモ、其地方ノ自治體ノ財源ガ非常ニ缺乏シテ居ル時デアリマスカラ、是等ノ事業ガ現在ニ於テモ遅々トシテ進マナイノデアリマス、併ナガラ若シ是等ノ事業ガ、幸ニシテ促進セラレテ、年度ヲ繰上ゲテ施行セラル、ヤウナコトガ出來マスルト致シマシタナラバ、現在復興局ノ退職者ハ申スニ及バズ、更ニ事業ニ從事シテ居リマスル勞働者モ其職ヲ得ルコトガ出來ラウト思フ、殊ニ此區劃整理ハ、我國ニ於テ初メテノ事業デアリマシテ、是ガ今日ノヤウニ從業員ガ手慣レル迄ハ容易ナコトデハナカラウト思フ、幸ニシテ數年ノ間之ニ從事シテ、折角此事業ヲ會得セラレタ者ガ、空シク此事業ガ、閉鎖サレテ失職セラレルト云フコトハ、一面カラ言ヘバ可ナリ高イ授業料ヲ拂ツテ此儘廢メテシマウト云フコトハ不經濟ニ思フノデアリマス、若シ東京市ニ於ケル事業ガ促進セラル、カ、若クハ其他ノ方法ヲ立テ、此從業員ヲ使用スルコトガ出來ルナラバ實ニ有益カト思フノデアリマスガ、不幸ニシテ財源關係カラシテ、サウ云フコトニ行カヌヤウナ窮況ニ陥ツテ居ルト思フノデアリマスガ、政府當局ニ於テ何等カ此邊ヲ御考慮ニナリマシテ、財源

捻出ノ方法ヲ御案出ニナリマシタナラバ、一面ニハ都市計畫事業ノ完成ニモ相成リマスルシ、又一面ニハ失業者ヲ救済スルコトガ出來ルノデハナイカ、斯様ニ自分等ハ考ヘマスルガ、併シ敢テ速成ヲ促スト云フ意味デモアリマセヌガ、今日ハ此失業者ニ對シ所謂産ヲ授ケル、業ヲ授ケル、授産ノ意味カラ何物カナケレバ、到底今日此事業ニ從事シテ居ル東京市、横濱市若クハ神奈川縣、東京府ニ集マツテ居ル是等ノ失業者ニ對シテノ救済ハ頗ル困難デナイカ、斯様ニ自分等ハ考ヘルノデアリマス、其點ニ付テ何等カ御考ガアラレルカ、若シ今日未ダ御成案ヲ御持チニナリマセヌケレバ、敢テ此席デ御答辯ヲ願ハナクテモ宜シイノデアリマスガ、ドウカ適當ニ一ツ御考慮下サイマシテ、御協議ノ結果此多數ノ失業者ニ事業ヲ與ヘテ救済スル方法ヲ御案出ヲ願ヒタイ、ト思ツテ御質問ヲ申上ゲタ次第デアリマス、敢テ御答辯ヲ願ツテ言葉尻ヲ取ラウト云フヤウナ意味デハナイノデアリマスカラ、何等カ御考ガアルナラバ御示シヲ願フコトガ出來レバ結構ト思ヒマス

○復興局長官事務取扱内務次官(潮惠之輔君) 只今ノ六十七番ノ御尋ニ、極メテ大體ノコトデアリマスガ私共ノ考ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、仰セノ通り復興事業ガ漸次完成ノ近クナツテ參リマシタコトハ洵ニ喜バシイコトデアリマスガ、ソレト同時ニ、直接間接ニ此事業ニ從事致シテ居リマスル者ガ、或ハ轉職ヲ致サナケレバナラヌ、又轉職ノ口ノ無イ者モ出テ來ル虞ガアルノデアリマス、直接復興局ニ關係スル職員ノ處置モ是ハ容易ナコトデハナイ、前長官ノ堀切君ガ非常ナ

熱心ヲ以テ此方ノ心配ヲシテ居ラレタノデアリマス、私モ事務取扱ノ命ヲ拜シマシタカラシテ事業其モノ、完成モ極メテ大切デゴザイマスケレドモ、此關係者ノ始末、ト言フト語弊ガアリマスガ、此處分ニ付テ、成ルベク失職ノナイヤウニト云フ此問題ハ重要ナル任務ノ一ツデアルト考ヘマシテ、今各方面ノ方ニ御心配ヲ願ツテ居リマスガ、併シ是トテモ二千餘名ノ人員デアリマスカラ、之ヲ事業完成迄ニソレノ宜シキニ從ツテ職ヲ得セシムルト云フコトハ、難事申中ノ難事デアルト思ヒマス、更ニ只今御話ノ中ニアリマシタ局ノ職員デナクシテ、東京市、横濱市等ニ居リマス間接ノ關係者ト申シマスカ、斯ウ云フ方面ノ人ニモ出來ルダケ其所ヲ得サセナケレバナラヌ、是ハ單ニ復興局ダケデナク政府全體、國全體トシテ考ヘナケレバナラヌ、隨ツテ仰セノヤウニ、或ハ東京市ニ致シマシテモ、横濱市ニ致シマシテモ、或ハ其他ノ府縣ニ於キマシテモ、地方公共團體ノ既定ノ事業ヲ促進スルト云フコトモ一ツノ方法デアリマス、又必要ナ事業ガアリマシタナラバ新規ニ之ヲ計畫シ著手スルト云フコトモ亦必要カト思フノデアリマスガ、御述ベノ中ニアリマシタ通りニ今日仕事ハ餘計アリマシテモ實際財政ノ事情ガ之ヲ容サヌヤウナ状態ニアルノデハナカラウカ、去レバト云ツテ政府デ之ヲドウスルカト云フコトニナリマシテモ、政府事業トシテ此際事業ヲ起スト云フコトモ、是亦財政其他ノ關係デ非常ナ困難ヲ伴フコトデアラウト思フ、隨ツテ直接復興局ニ關係シテ居ル者ハ申スニ及バズ、其他行政方面ニ携ハツテ居ル者ハ一致シマシテ、是等ニ對シテ適當ナ方法

ヲ案出シタイト云フ希望ハ持ツテ居リマスケレドモ、今御想像ニアリマス通り、今日成案ヲ持ツテ斯ウ致シタナラバ宜カラウト云フコトヲ申上ゲル時期ニ達シテ居リマセヌ、固ヨリ是ハ内務省ダケデ出來ルコトデハアリマセズ、政府トシテハ各方面ニ關係モアリマスルシ、公共團體其他民間ノ諸君トモ十分聯絡ヲ取ラナケレバ結局成功シナイコトデアリマスカラ、其邊ノコトニ付キマシテハ十分ニ研究ヲ續ケテ參ツテ、成ルベク氣ノ毒ナ人ノ少ナクナルヤウニ十分ナ努力ヲシタイト只今ノ所デハ考ヘテ居リマス、又太田委員ハ色々直接間接ニ復興關係ノ者ニ對スル御同情ノアル御言葉デアリマシタガ、何カ適當ナル御考案デモアリマシタナラバ御示シテ願ヒマス、更ニソレ等ニ付テモ研究ヲ重ネテ參リタイト思ヒマス、只今ノ所御尋ニ對シテ明確ニ成案ヲ持ツテ御答ヲ申兼ネルコトハ残念デアリマスガ、其邊ノ所ハ宜シク御諒察ヲ願ヒタイト思ヒマス

○六十七番(太田信治郎君) 只今明確ナル御案ヲ御持チニナラヌト云フコトハ是ハ御尤ナ次第デアリマス併ナガラ復興局ノ局員スラ數千名ノ人ガ今日失業状態ニ居ルヤウナ有様デアル、此等ノ人々ハ智識階級ニ屬シ又ハ技術家ガ多イノデアリマスカラ、就職ハ容易デアリサウナモノデアルニ拘ラズ、ソレスラ以テ失職者ガアルト云フヤウナ状況デアル、況ンヤ一般ノ此事業ニ關係シテ居ツタ多數ノ人々ガ失業ヲシテ居ルト云フコトハ申ス迄モナイ、是ハ恐ラク復興局員ノ何倍若クハ何十倍ニモ當ツテ居ルト思フ、殊ニ私共ガ最近著シク感じテ居リマスノハ自由労働者ノ多ク集合シテ居ル方面ニ

參リマス、一日ノ中ニ求職者ノ三割位ヨリ希望ヲ達スル者ハナイ、アトノ七割位ハ失職スルヤウナ有様デアリマシテ、職業ヲ得タ者ト雖モ段々仕事ガ少クナリマシテ、失業状態ニ入ラントシテ居ル確實ナル仕事ヲ持つテ居ル者デモ一日ノ仕事ヲ半日ニ切上ゲラレテ仕事ヲ繋グト云フ状態ニナツテ居ルデアリマス、是ガ愈々復興局ノ仕事ガ完成ヲ告ゲタ日ニハ一層深刻ノ度ヲ増スノデアリマス、況ンヤ今日ノ不景氣ガ年内ニ回復スルトハ思ハレナイ、幸ニシテ今ハ夏ニ向フノデアリマスカラ、失業者ハ冬ノ着物ヲ典物ニシテ生活スルコトモ出來マスケレドモ、追々秋カラ冬ニナツテ一枚デモ餘計ニ着物ヲ着ナケレバナラヌト云フヤウナ時候ニナレバ、其人達ノ困難ハ想像ノ外ニアルノデアリマス、今カラマダ冬ニナルマデニ間ハアリマスケレドモ、ソレヲ考慮シテ置カナイト泥棒ヲ捉ヘテ繩ヲ絞フヤウナコトハイケナイト思ヒマス

幸ニ此席ニハ東京府知事モ東京市ノ市長モ御出デニナリマスシ、又各方面ノ技師ノ方々モ多數此處ニ集合シテ居ラツシヤル此會ノコトデゴザイマスカラ、ドウカ私ノ今申上ゲタコトヲ御記憶ニ存シテ置カレマシテ、成ルベク早く何等カノ方法ヲ以テ救済方法ヲ實現致シマセヌト、輦轂ノ下ニ於テ如何ナル困難ヲ生ジ、或ハ飢餓ニ迫マルヤウナ者ガナイトモ限ラナイト云フコトヲ憂慮致スノデアリマス、ドウカ充分御考究ヲ願ヒタイト思ヒマシテ此質問ヲ致シタノデアリマス、ソレカラモ一ツ伺ツテ置キタイノハ、區劃整理ノ事業ニ伴ツテ清算金ノ問題デアリマス、只今迄ノ清算金ノ方法ハ

例ヘバ道路ガ擴張サレテ其土地ガ非常ニ良クナツタ、所謂土地ノ利用價值ガ現ハレテ來タトスルト其方面ヨリ清算金ヲ徵收シテ、其徵收シタルモノヲ以テ一方ニ交付スルト云フ方法ノ下ニ、清算金ノ方法ガ立ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレハ道路ニ面シタル所ニ於テ、路線價ニ重キヲ置イテ定メラレテ居リマス、然ルニ最初ト違ツテ今日東京市ノ全體ヲ見マシテモ殆ド空家ノナイ町内ハナイ位デ、随ツテ不況ノ結果トシテ其土地ガ利用價值ヲ増シテ收入モ増シタト云フ土地ハ殆ドナイト思フ、價值ノ上デ言フト往來ハ廣クナツテ良クナツタト云フコトハ形ノ上ニ於テハ現ハレテ居リマスガ、實收的ノ問題カラ言フト、利用價值ガ増加シタカラ負擔ヲ増加サレテモ苦シクナイト云フ所ハ少ナイト思フ、併シ一面ニ於テ清算金ノ方ハ先キニ申上ゲタヤウナ方法ニナツテ居ル、是ニ於テ清算金徵收ノ改訂ニ御考慮ヲ願ハナケレバ、或ハ其負擔ニ堪ヘナイ者ガ出來ハシナイカト考ヘルノデアリマス、私モ只今斯様ニ致シタラバ良カラウト云フ對案ヲ持つテ居リマセヌガ、將來ドウ云フ風ニナル御考デアリマスカ、御即答ハ願ヒマセヌカラ篤ト御考慮ガ願ヘレバ結構デアルト存ジマス

○復興局長官事務取扱内務次官(潮惠之輔君) 六十七番カラ只今御意見ガ出マシテ、即答ハシナクテモ良イカラ考ヘテ置ケト云フコトデアリマシタガ、一應ノ所ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、精シク御述ベニナリマシタ通り今日ノ清算金算出ノ基礎ハ、路線價ト云フコトガ本ニナツテ居

ルデアラウト思フ、ソレガ當初ノ考ト大分違ツテ來テ居ルヤウダト云フ御話デアリマシタガ、申ス迄モナク路線價ヲ定メマスニハ區劃整理委員會ノ議ヲ經マシテ、大體地元ノ事情ニ通曉サレテ居ル、人々ノ意見ガ加ツテ居ル、之ニ依リマシテ市街ノ區劃整理路線ノ値打ガ極マツテ來テ居リマスサウ云フコトデ進行シテ來テ居リマスカラ、餘リ桁ノ外ヅレタコトハアリヤウモナイト考ヘテ居リマス、加之一方ニハ分納ノ制度モアリマスノデ、清算金ヲ一時ニ出スコトハ苦シウゴザイマスカラ分納ノ制度ヲ利用スレバ、又幾分緩和スル譯デアリマス、ソレデ大體路線價ハ適當デアリ又分納ノ制度モアリマスカラ之ヲ改訂シヤウト云フ考ハナイノデアリマス、ソレカラ又一方カラ考ヘマスト今迄出來テキチントシテ居リマス、路線價ヲイヂクルト總テニ影響ガ來ルノデナイカト思ヒマスノデ、只今ノ所デハ別ニ改訂スベキモノデアルトモ考ヘテハ居リマセヌ、即答シナクトモ良イト云フコトデアリマシテ、御意見ニ對シテ抗辯ラシク申スノデハアリマセヌガ、只今考ヘテ居ル所ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス

○六十七番(太田信治郎君) 折角御言葉ヲ頂戴致シマシタカラ私モ御參考ニ申上ゲマス、從來定メテアル路線價ヲ變更スルコトハ困難デアルト云フ御話デアリマシタガ、整理後ノ路線價ノ見方ニ依ツテ、徴收交付ガ其間ヲ極メテ少ナク往クカ多ク往クカノ問題ヲ生ズルノデアリマス、既ニ定ツテ居ル分ハ其儘ニ置イテモ、是カラ先キ定メル上ニ於テ其斟酌ヲスルコトガ、徴收交付ヲ緩和シテ、率

ヲ少ナクシテ、公平ナラシムルコトニナリハシナイカ、斯様ナ意味ニ於テ御考ヲ願ヒタイト申シタノデアリマス今後定メラル、場合ニ於テ、充分其邊ノ區劃整理ノ完成セラレタル所ノ路線價ノ利用價值ノ減殺セラレテ居ルコトヲ考慮ノ中ニ入レラレテ、清算セラル、コトガ必要デアルト申シタノデアリマス、サウ云フヤウニ御實行ガ願ヒタイノデアリマス

○議長(會長代理秋田清君) ソレデハ是ニテ散會ヲ致シマス、御苦勞デゴザイマシタ

午後四時散會

中央官衙
建築地域内

街路及廣場ノ件特別委員會

中央官衙
建築地域内
街路及廣場ノ件第一回特別委員會議事速記録

昭和四年六月十二日(水曜日)復與局會議室ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

貴族院議員 橋本圭三郎君

委員

警視總監宮田光雄君
代理警視廳書記官

内務次官 川村貞四郎君

東京府知事 潮 惠之輔君

從四位勳三等 平塚 廣義君

東京市會議員 吉植庄一郎君

東京市長堀切善次郎
君代理東京市助役

中塚榮次郎君
廣 瀬 久忠君

大藏次官 黑田 英雄君

幹事

從四位勳三等	佐野利器君
營繕管財局理事	太田嘉太郎君
復興局部長	赤木朝治君
復興局書記官	武部六藏君
正六位勳六等	西村輝一君
復興局事務官	片野道藏君
建築部長	笠原敏郎君
公園課長	折下吉延君

關係職員

議事

午前十時三十分開議

○橋本委員長 是ヨリ議第百八號議案ト第百九號議案ニ付テ會議ヲ開キマスガ、私ハ委員ノ一人デアリマスルケレドモ、洵ニ不得手ノ人間デ、ソレガ測ラズモ特別委員會ノ委員長ニナツタ譯デアリマスガ、何モ存ジマセヌカラドウゾ皆様宜シク御願ヒ致シマス

○武部計畫課長 私カラ極ク大體ノ御説明ヲ申上ゲマス、第百八號議案ト第百九號議案ハ、中央官衙建築地域内ノ街路ノ計畫ト致シマシテ、相關聯致シタ計畫デアリマス第百八號議案ノ内容ニナツテ居リマスル幹線九號ト幹線二十一號ハ、曩ニ復興事業ノ一部ト致シマシテ、東京都市計畫トシテ決定致シテ居リマスル路線デアリマスルノデ、便宜議案ガ別ニナツテ居ル次第デアリマス、先ヅ第百九號議案ノ方カラ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、今回新ニ百九號議案デ御決定ヲ願ヒタイト思ヒマスノハ、道路ノ新設改修ガ皆デ十線デアリマス、其延長ガ約三千九百七十八米、里數ニ直シマスルト約一里デアリマス、其ノ十線ノ外ニ廣場ノ新設一箇所、約二千八百坪ノモノヲ計畫致シテ居リマス、尙ホ此ノ百八號議案及ビ百九號議案以外ニ既ニ、櫻田門カラ虎ノ門ニ至リマス所謂司法省海軍省ノ前ヲ通リマス路線ニ付キマシテハ、先年都市計畫トシテ變更ヲ議定致シタノデアリマス、既ニ前カラ四十四米程ノ幅ノ道路デアツタノデアリマスガ、ソレヲ司法省、海軍省ノ方ニ八間程擴ゲタノデアリマシテ、ソレニ依ツテ二千四百坪程中央官衙ノ建築地域ヲ増加シタノデアリマスガ、ソレ以外ニ新ニ十線ヲ設ケタノデアリマス、此ノ十線ノ事業ハ、中央官衙ノ建築ノ進行シマスニ連レマ

シテ順次執行ニ取掛リタイト思フノデアリマスガ、其ノ執行者ハ東京市長ヲ執行者ト致シタイト考ヘテ居リマス、中央官衙ノ建築ノ方ハ、政府ノ財政ノ都合モゴザイマスノデ、幾ラカ變更ヲ免レナイカモ知レマセヌケレドモ、大體昭和十三年度迄ニハ完成ヲ致シタイト云フ希望ナノデアリマス、唯此ノ十線ノ中デ、三號線ト申シマスノハ、其ノ一部分ダケハ昭和四年度ニ完成シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ他ハ漸次財政ノ都合ノ出來マスニ從ツテ、昭和十三年度迄ニ完成シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ十線ト廣場ノ實施ニ要シマスル經費ハ、全體デ約五百十六萬圓デアリマス、尤モ是ハ、此ノ道路廣場ニ要シマスル用地ノ中デ、御料地及ビ官有地ノ價格ヲ除キマシタモノデアリマス、ソレヲ除キマシテ約五百十六萬圓デアリマス、即チ民有地ノ地買收費、建物移轉料、道路工事費、事務費等デアリマス、其ノ中先程申シマシタ三號路線ノ一部即チ昭和四年度ニ、都市計畫事業トシテ完成シタイト云フ路線ノ經費ハ、約二十九萬圓、一寸三十萬圓近クノ金デアリマス、此ノ二十九萬餘圓ノ金ニ付キマシテハ、全部國庫ニ於テ負擔スル豫定デアリマスガ、ソレ以外ノ、五百十六萬圓ノ中カラソレヲ除キマシタ以外ノ金ニ付キマシテハ、東京市大藏省兩當局ニ於テ目下協議中ニ屬シテ居リマス、百九號議案ニ付キマシテハ大體ソレダケデアリマス、百八號議案ニ付テ續イテ御説明ヲ致シマスガ、是ハ櫻田門カラ新議院マデ行キマス道路ガ、既ニ幹線九號路線トシテ決定致シテ居ツタノデアリマスガ、其ノ終點ノ所、即チ新議院ノ正門

前ニ直徑一町程ノ廣場ガ出來マスノデ、其ノ廣場ノ中ニ現在ノ計畫道路ガ這入ツテ居リマスカラ隨ツテ其ノ廣場ノ中ト重複スル部分ダケ此ノ道路ノ延長ガ減ル譯デアリマス、其ノ關係デ約三十七米延長ヲ減ジタノデアリマシテ、實質上ニ付テハ別ニ變更ハ致シマセヌ、第二十一號線ト申シマスルノハ、九段坂ノ下カラ始マリマシテ、九段坂ヲ上リマシテ富士見町一丁目カラ左ニ曲リマシテ英國大使館ノ前ヲ通り、半藏門ノ所カラ衛戍病院ノ中ヲ貫キマシテ、陸軍省ノ西側ニ出マシテ、ソレカラ少シ曲リマシテ新議院ノ正門前ニ至リマスルノガ既定計畫デアツタノデアリマスガ、中央諸官衙建築地域内ノ、先程申シマシタ大キナ道路計畫トモ相關聯致シマシテ、現在ノ路線ハ衛戍病院内ヲ貫イテ居リマスル爲ニ、中央官衙建築地域ノ面積ガ減ジマス、又一面現在道路即チ半藏門カラ三宅坂ニ至リマス御濠沿ノ道路、アレヲ利用スル方ガ萬事ニ好都合ト考ヘマシタノデ、衛戍病院ノ中ヲ貫クノヲ廢メマシテ、大體現在ノ道路ヲ利用致シマシテ、三宅坂ニ出テ、三宅坂カラ陸軍省ノ西部ヲ貫イテ永田町ニ行クコトニ改メタノデアリマス、即チ此ノ路線ニ付キマシテハ、經過地ヲ變更スルト云フコトガ一ツデアリマス、モウ一ツハ、先程ノ幹線九號線ト同様ニ、新議院ノ正門前ニ廣場ガ出來マス關係上、其ノ重複スル部分ノ長サガ減ルノデアリマス、其ノ結果、經過地ノ變更ノ方デハ少シ長クナリマスガ、廣場ノ重複ノ部分ガ減リマスノデ、差引延長ヲ二十九米減ズルノデアリマス、百八號議案百九號議案此ノ兩方デ以テ、中央官衙建築地域内ノ道路計畫ガ、全體トシテ定マル

譯ニナルノデアリマス、概略全體トシテノ御説明ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○橋本委員長 私モ先程地圖ニ就キマシテ、説明ヲ聽キマシテ少シ位分ツタノデアリマスカラ、今ノ御説明デハ私ト同ジク、皆様ニモ御分リニナラナイカモ知レヌト思ヒマスカラ、モウ一遍地圖ニ就テ御話ヲ願ヒマス

○武部計畫課長 (地圖ニ就キ説明) 圖面ニ就テ申上ゲタイト思ヒマス、第一號路線ハ、櫻田門ノ濠端カラ這入りマシテ、内務大臣官舎ノ脇ヲ通りマシテ、外務省ト霞ケ關離宮ノ間ヲ打抜キマシテ、ソレカラ三年町ニ出マシテ、六本木カラ電車ガ參リマス其ノ終點ニ連絡スルト云フノガ第一號路線デアリマス、幅員二十七米、延長九百五十二米デアリマス、之ニ依リマシテ此ノ中央官衙建築地域ト赤坂芝方面トノ連絡ヲ取ル一ツノ重要ナ路線ニナル譯デアリマス、ソレカラ第二號路線ト申シマスルノハ、新議院正門ノ前ノ廣場ノ一角カラ始マリマシテ、新ラシイ總理大臣官邸ノ脇ニ出テ來ル、是ガ二號路線デアリマス、幅員二十二米、延長三百四十米デアリマス、是ハ幾ラカ「ローカル」ノ交通ニ資スル目的ノモノデアリマス、一號路線ヤ五號路線ニ比ベマスレバ稍々補助線ノ意味ヲ持ツテ居ルノデアリマス、次ニ第三號路線デアリマスガ、是ハ永田町二丁目ノ獨逸大使館ノ前カラ始マリマシテ、現在舊總理大臣官舎カラ新ラシイ總理大臣官舎ニ行ク廣イ道ガアリマスガ、ソレヨリモ少シ西ニ寄セマシテ、舊總理大臣官舎ヲ貫キマシテ、新ラシイ總理大臣官舎ノ前ニ出テ來マス、

サウシテ先程申シマシタ一號路線ヲ突切りマシテ葵橋ニ出テ來ル譯デアリマス、幅員ハ二十二米、延長ガ七百六十一米デアリマス、此ノ中デ獨逸大使館ノ前カラ二號路線トノ喰違ヒ迄ノ間ヲ此ノ度ノ都市計畫ノ事業トシテ決定ヲ致シマシテ、大藏省ノ方カラ全部補助金ヲ出シマシテ、東京市デ昭和四年度中ニ完成ヲシタイト云フノガ此ノ部分デアリマス、是ハ比較的重要ナ路線ニナリマス、第四號路線ト申シマスノハ、三宅坂下カラ參謀本部ノ入口ノ所迄ノ濠端ノ道路デアリマス、此ノ道路ハ現在ニ於テモ既ニ路幅ノ狭イノヲ感ズルノデアリマスガ、右ノ方ニハ復興計畫シテ定マツテ居ル幹線九號線ガアリマス、左ノ方ニハ今度變更シタイト云フ復興計畫ノ幹線二十一號線ガアルノデアリマス、ソレデ此ノ點ハ將來交通頻繁ニナル道路カト思ヒマスノデ、現在十八九米デアリマスルノヲ二十七米ニ擴張致シタイト云フノデアリマス、丁度此ノ内濠ヲ廻リマス環狀線トモ稱スベキ一部分ニモナリマスルシ、又日比谷ノ方カラ赤坂見附ニ連絡スル放射線ノ道路トモ云ヘルノデアリマス、重要ナ路線デアリマス、第五號路線ト申シマスノハ、新議院ノ前ノ廣場カラ内務大臣官舎ノ前ヲ通りマシテ、日比谷ニ行ク道路ト連絡スルノデアリマス、是ハ現在「ペーヴ」ノ出來タ綺麗ナ道路ニナツテ居リマスガ、中央官衙ガ出來マスレバ、非常ニ人ノ出入スル道路ニナルノデアリマス、新議院ニ行キマス道路ニモナリマスノデ、特ニ之ヲ擴張シマシテ、三十三米ニシテ、内務大臣官舎側ヘ擴張致シタイト云フ計畫デアリマス、之モ矢張赤坂見附方面トモ關係シ、三宅坂方面トモ關係シテ重

要ナ幹線の道路ニナルデアリマス、第六號路線ト申シマスノハ、ホンノ一部デアリマスガ、新議院前ノ廣場カラ三號線ノ所迄、之モ二十七米ニ擴張シマスルノデ、是ハ現在モアリマスガ、屈曲シテ居ルノヲ眞ツ直ニスルト云フ意味ヲ以チマシテ擴張ヲスルデアリマス、之モ五號路線ノ効用ヲ完フスル所ノ幹線の道路ノ一ツデアリマス、第七號路線ハ、是ハ極ク小サナ路線デアリマスガ、獨逸大使館ノ前カラ陸軍省ノ前ニ出ル道路デアリマス、之モ現在小サイ道路ガ此ノ處ニアルデアリマシテ、六號路線トノ間ニ三角形ノ土地ガ出來マスガ、是ハ官舎敷地カ何カニナル豫定地ト思ツテ居リマスガ、此ノ七號線ハ、車馬ノ通行デナク、主ニ一般ノ歩道トナルモノデアリマス、八號路線ト申シマスノハ、新議院ノ衆議院ノ方ノ正門ノ前カラ外務大臣ノ官舎ノ所マデ出ル道路デアリマス霞ヶ關離宮ノ一部ヲ横切ルコトニナルデアリマス、此ノ處ニハ現在道路ガアルノデアリマスガ、極ク狭イノデアリマスカラ、之ヲ擴張スルノデアリマス、幅員ハ二十七米デ、九號路線ト云フノガ別ニアリマスカラ、衆議院正門ノ前迄ノ一部分ハ二十二米ニシテアリマス、次ハ第九號路線デアリマス、八號路線ト二號路線トヲ連絡スル意味デ出來タ道路デアリマス、幅員ハ稍々狭ク十八米デアリマス、丁度白耳義大使館ノ中ヲ通ルコトニナルデアリマス、次ハ十號路線デアリマスガ、丁度露西亞大使館ノ横ニナリマス、之モ現在小サイ道路ガアルノデアリマス、露國大使館ノ脇ヲ通りマシテ、現在ハ道路ガ稍々曲ツテ居リマスガ、ソレヲ眞ツ直ニシマス、サウシテ虎ノ門方面ト中央官

衙ノ地域内トノ交通ヲ緩和スル路線デアリマス、ソレカラ此ノ議案ニ入ツテ居ルモノ一ツハ、新議院前ノ廣場デアリマスガ、直徑百九米約一町、面積約二千八百坪、新議院正門前ノ交通ヲ緩和スル意味ニ於キマシテ此ノ處ニ廣場ヲ設ケル、單ニ議院ノ交通緩和ト云フ意味デナク、此ノ全體ノ地域ノ交通緩和ニ資スルコトニナルデアリマス、モウ一ツ議案ニ含マレテ居リマスノハ、復興計畫トシテ既ニ定マツテ居リマス幹線九號、即チ櫻田門カラ新議院正門前ニ至ル線デアリマスガ、之モ最初ハ櫻田門カラ新議院正門前ニ眞直ノ道路ガ出來ルコトニナツテ居ツタノデアリマスガ、ソレヲ中央官衙ノ建築ノ方ノ關係モアリマシテ、少シ幅員ヲ狭ク致シマシテ、參謀本部前ノ現在ノ道路ヲ利用スルコトニ曩ニ御議決ニナツテ居ル道路デアリマスガ、ソレガ今度廣場ガ出來マスノデ、其ノ重複スル所ノ延長ダケヲ削ル意味デアリマス、モウ一ツハ幹線第二十一號路線デアリマスガ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、二十一號路線ハ幹線二號線ト連絡シテ、九段坂下ノ俎橋カラ始マル道路デアリマス、九段坂ヲ上リマシテ、左ニ折レテ英國大使館前カラ半藏門ニ出デ、衛戍病院ノ中ヲ通ツテ、眞ツ直ニ新議院ノ所ニ行ク計畫ニナツテ居リマス、サウ致シマスルト三宅坂下ノ所ニ、兩方ニ無駄ナ土地ガ出來ルノデアリマス、現在ノ道路ガ既ニ此處ニアルノデアリマスカラ、之ヲ利用シテサウシテ眞直ニ出テ來タ方が宜クハナイカ、中央官衙ノ建築ニモ宜シイ、現在ノ道路ノ利用方面カラモ相當ト思ヒマスノデ、斯様ナ變更ヲシタノデアリマス、三宅坂下ノ所ニハ澤山ノ路線ガ集マリ

マシテ混雜スルト思ヒマスカラ、今在リマス寺内サンノ銅像ヲ適當ノ處ニ移轉シテ、角切りヲ大キクシマス、此ノ全體ノ路線計畫ハ、曩ニ中央官衙建築準備委員會ニ於キマシテ決定ニナリマシタノト大體同一デアリマス、尙ホ細カイ事ハ御質問ニ應ジテ御答ヘ致シマス

○太田(嘉)委員 私ハ只今ノ御説明ニ少シ補足シテ申上ゲテ置キタイト考ヘマス、議題トナツテ居リマスル百九號ノ十本ノ街路ニ要シマスル經費ハ、官有地並ニ國ニ於テ將來御料地買收ニ要シマスル經費ガ五百七萬一千餘圓デゴザイマスノデ、ソレヲ合セマスルト總體デ千六萬七千餘圓ノ金額ニ上ル見込デアリマス、又「ブラツツ」ニ付キマシテハ、此ノ方ニ於テモ官有地ガアリマスノデ、此ノ方ノ價格ハ四十九萬五千四百二十九圓デアリマスカラ、ソレヲ合セマスルト「ブラツツ」全體ニ要シマスル經費ガ六十六萬一千七百圓デゴザイマシテ、其ノ十本ノ路線並ニ「ブラツツ」ニ要シマスル經費ノ總額ハ千七十二萬九千圓ニ上リマス、此ノ中官有地並ニ御料地ノ用地費ガ五百五十六萬七千六百十二圓ニナリマス、隨ヒマシテソレヲ除キマシタ所ノ五百十六萬餘圓ノ金ガ此處ニ經費トシテ計上セラレテ居ル次第デアリマス、此ノ經費ヲ國ダケガ負擔スベキモノデハナイ譯デアリマスカラ、市トノ間ニ於テ適當ナル分擔割合ヲ定ムルノ必要ガアルノデゴザイマシテ、市ノ當局ト政府ノ方ニ於テ、交渉ヲ致シマシテ、復興局當局モ御入りニナリマシテ、前長官ノ堀切君モ色々御盡力ニ相成ツテ居ツタノデアリマスガ、未ダ協議中デアリマシテ、協定ガ成立致サナイノデアリマス、其ノ中獨

逸大使館前カラ支那公使館ノ所ニ至リマス部分ノ路線ハ最モ急ヲ要スルモノデアリマシテ、是ハ議院建築ノ區域内ニ入レマシテ、此ノ邊ノ工事ヲ進メナケレバ議院建築ノ促進ガ出來ナイヤウナ事情ガアリマスルカラ、此ノ部分ダケハ第五十六議會ニ於キマシテ、二十九萬餘圓ノ豫算ヲ要求致シマシテ、幸ニシテ其ノ豫算ガ成立致シタノデアリマスガ、取り敢ズ是ハ國カラ出シテ置クト云フノデアリマスガ、他日全體ノ經費分擔ノ割合ガ定マリマスレバ、其ノ際差引計算ヲシタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、其ノ事ヲ一寸念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、路線ノ方ノコトニ付キマシテ、御參考ノ爲ニ中央諸官衙ノ計畫ニ付キマシテ一言申上ゲテ置キタイト考ヘマス、(圖面ニ就キ説明)中央諸官衙ノ建築ハ色々方面ニ關係致シマスノデ、中央諸官衙建築準備委員會ト云フモノガ設ケラレマシテ大藏大臣ノ下ニ諮問機關トシマシテ、存置シテ居ルノデアリマス、其ノ委員會ノ方ニ於テ、計畫ハ順次定メテ行クノデアリマス、只今迄其ノ方ノ議決ニ依リマシテ決定致シテ居リマスルモノハ、櫻田門外ノ角ノ所ニ警視廳ガ出來ルコトニナリマス、其ノ豫算モ既ニ成立シマシテ、來年度一バイニ竣功スル見込デアリマス、延坪約八千九百坪餘デ、工費約二百餘萬圓ニ上ツテ居リマス、其ノ後ノ方ニ内務省ガ出來ルコトニナリマス、是ハ延坪一萬一千坪、經費六百三十萬圓ニ上ツテ居リマス前議會ニ於キマシテ、四箇年繼續事業トシテ豫算ガ成立シテ居ルノデアリマス、ソレカラ唯今内務大臣官舎ノアリマス所ニ會計検査院ヲ置キタイト云フ希望デアリマス、準備委員會ニ於キマシテハ

議決ニナツテ居リマスルケレドモ、豫算ハ未ダ成立シナイノデアリマス、其ノ西ノ方ノ三角地面デアリマスガ、此處ニハ將來内閣ヲ置キタイト云フ希望デアリマス、此ノ虎ノ門ノ所、此ノ一帯ノ地域ニ文部省ヲ建築致シマス豫定デゴザイマス、前議會ニ於キマシテ、ソレニ要スル豫算ガ成立シタ次第デアリマス、ソレカラ此處ニ大分御料地ガ残ツテ居リマス、是モ將來政府ノ方ニ於テ買收致シタイト考ヘテ居リマス、此ノ一角ニ東亞同文會ガ出來テ居リマス、葵橋ノ東北ノ一帯ニ特許局ヲ設ケル豫定デアリマス、ソレハ未ダ豫算ハ成立致シテ居リマセヌ、是ハ霞ケ關離宮デ、御承知ノ通り外務省ト接續シテ居リマスルガ、將來議院ノ高層ナル建物ガ出來マス爲ニ、上カラ見下サレル傾モアリマスノデ、又政府ガ此ノ一帯ノ地域ヲ中央諸官衙建築地域トシテ計畫致シマスノデ、宮内省ニ於テモ政府ガ希望スルナラバ賣渡シテモ宜イト云フコトデアリマスカラ、將來政府ガ適當ナ機會ニ拂下ヲ受ケマシテ、道路ニ當テマス残りハ、各省共通ノ會議所トカ圖書館ノヤウナモノニ使ヒマシテ、庭園ハ其ノ儘存置スル方針デアリマス、ソレカラ此ノ露國大使館ハ、政府カラ土地ヲ借リテ居リマスノデアリマスカラ、ソレヲ回收シマシテ、麻布飯倉ノ方ニ移轉シテ居リマス、伊太利大使館モ目下交渉中デアリマスガ、恐ラク他ニ移轉シマシテ、政府ガ回收スルコトガ出來ルト思ヒマス、此處ハ舊岩倉邸デアリマスガ、是モ政府ガ買收シマス、此ノ一帯ノ地域ハ中央諸官衙ノ地域ニ入レルノデアリマスガ、ドレヲ建テルカト云フコトハ決定シテ居リマセヌ、此ノ虎ノ門ノ所、是ハ元伏見

宮様ノ御邸デアリマスガ、ソレヲ買收致シマシテ、印刷局ノ本部ヲ設ケル豫定デアリマス、本部ハ此處ニ置キマシテ、抄紙部ハ膝折ニ行キマシテ、普通ノ印刷部ハ從來通りノ所ニ置ク計畫ニナツテ居リマス、一方官舎ト致シマシテハ、是ハ元鍋島邸デアリマスガ、ソレヲ政府ガ買收致シマシテ、此處ニハ總理大臣ノ官舎ガアル、此ノ總理大臣官舎並ニ内閣ノ附屬官舎ニスル豫定デアリマス、此ノ高松宮様ノ所ハ、政府ガ買收致シマシテ、外務大臣ノ官舎ニ致シマシテ、目下設計ヲ完成セント致シテ居ルノデアリマス、此處ハ島津邸デ、約三千坪アリマス、是モ將來政府ガ買收致シマシテ、一部ハ路線ニシマス、他ノ部分ハ議院若クハ中央諸官衙ノ方ノ建築物ヲ建テル見込デアリマス、舊總理大臣官舎ハ一時農林大臣ノ官舎ニ充テマシテ、今ノ農林大臣ノ官舎ハ改築致ス計畫ニナツテ居リマス、將來此ノ邊ハ議院用ノ圖書館トカ、事務局等ニ充テタイ希望デアリマスガ、豫算ハ成立シテ居リマセヌ、此處ハ外務次官ノ官舎デアリマスガ、實際ハ外務大臣ガ御使ヒニナツテ居リマス、此處ニ白耳義大使館ガアリマスガ、是モ政府ガ回收致シマシテ、將來必要ナル道路ヲ設ケ其ノ他中央諸官衙關係ノ敷地ニシタイト云フ方針デアリマス、此處ハ將來陸軍省ノ方ニ於テ、參謀本部、教育總監部其ノ他ノ外局ヲ集メマシテ、陸軍省部内ノ建物ヲ綜合致シマシテ建築ヲ致ス豫定デアリマス、此ノ衛戍病院ハ約十萬坪アリマスガ、此ノ一帯ノ敷地ヲ各省大臣ノ官舎ニ充テル見込デアリマシテ、警視總監以下ノ官舎ハ此ノ端ノ方ニ建テヤウト云フ豫定デアリマシテ、ソレニ要スル豫算ハ

既ニ議會ノ協賛ヲ得テ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ、只今迄中央諸官衙建築費トシテ議會ノ協賛ヲ得タ金額ハ三千五百萬圓ニ上ツテ居リマシテ、更ニ將來要シマスル經費ハ約一億圓ヲ要スル見込デアリマシテ、全體デ約一億三四千萬圓ニ達シマスル見込デアリマス、尙ホソレ以外ニ於キマシテ鐵道省ガ、一千萬圓ノ豫算ヲ以テ、ソレハ此ノ中ニ入りマセヌ、東京驛ノ降車口ノ前アノ一帯ノ地域ヲ以テ其ノ敷地ニ充テルコトニナツテ居リマス、大體ソレデ中央諸官衙ノ計畫ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○堀切委員代理 廣瀬東京市助役 甚ダ議論ヲスルヤウニナツテ申譯ガアリマセヌガ、只今ノ太田サ
 ノ御話ノ中ニ、自分ニ關係ノ部分ガアリマスノデ、一言言ハシテ戴キタイ、今度事業ヲ執行スル
 コトニナリマシタ三號路線ノ問題デアリマスガ、是ハ大藏省ノ方カラ東京市ニ對シテ、金ヲ出シテヤ
 ルカラヤレト云フヤウナ御話ガ公文デゴザイマシテ、東京市ト致シマシテハ、金ヲ出シテ戴ケルナ
 ラヤリマセウト云フ公文ヲ差上ゲテ居ルノデアリマス、其ノ當時將來他ノ路線ニ關スル市並ニ國ノ
 分擔割合ガ定マツタ場合ニハ、遡ツテ此ノ問題ニモ觸レルト云フヤウナ御話ハナカツタヤウニ私ハ
 記憶致シテ居リマス、尤モ其ノ當時私ハ、復興局ノ計畫課長ヲ致シテ居リマシタノデアリマシテ、
 市ノ當局デハゴザイマセヌガ、サウ云フヤウナ御意見ハ公文ノ上ニモ現ハレテ居ラナイヤウニ思フ
 ノデアリマス、只今ノハ御希望デアルト云フコトデアリマスカラ、強イテ反駁スルコトハ如何ト思

ヒマスガ、東京市トシマシテハ、只今ノヤウナ御希望ニ應ジテ此ノ仕事ヲスルノデハナイ、此ノ部
 分ニ付テハサウ云フ意味デハナイノダト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○太田(嘉)委員 ソレハ此ノ分ハ金ハ此ノ際出スト云フコトハ申上ゲマシタガ、出シテ置キマスガ、
 併シ他ノ路線ノ分擔割合ヲ定メマス際ニ、矢張大體ノ原則ガ定マリマシタナラバ其ノ際考慮サレル
 コト、考ヘマスカラ、他日他ノ路線ノ分擔割合ヲ御相談シマス際ニ併セテ御相談シタイト思ヒマス
 只今ハ一應ハ出シテ置キマス、ドウカ宜シク御願ヒ致シマス

○中塚委員 金額ハ幾ラデアリマスカ

○太田(嘉)委員 二十九萬餘圓デアリマス

○橋本委員長 何か御質問ハゴザイマセヌカ

○佐野委員 一ツ御伺ヒシテ見タイノデアリマスガ、五號路線ノ現在ノ幅員ハドレダケアリマスカ

○武部計畫課長 十二間デスカラ二十二米、ソレヲ三十三米ニ擴張シヤウト云フノデアリマス

○佐野委員 諸官衙ガ出來マスルト、諸官衙ニ通フ人ダケデモ非常ナ交通量ニナルダラウト思ヒマス
 ガ、今カラドンナ工合デアルト云フコトハ、豫定スルコトハ困難デアリマスガ、又マルデ考ヘテ置
 カナイデモナリマスマイ、差當リデモ電車ガトウ云フ工合ニ此ノ地區内ニ出來ルカ、御考ガアリマ
 スナラバ承リタイ

○武部計畫課長 其ノ問題ニ付キマシテハ、未ダ明確ナル措置ヲ考ヘテハ居ラヌノデアリマスガ、將來何分此處ニ中央官衙ガ出來レバ、數萬ノ人ガ毎日集散スル譯デアリマスカラ、現在ノ路面電車、將來ノ地下鐵道ナリニ依リマシテ、ソレガドレダケウマク捌ケテ行クカト云フコトハ、實際大キナ問題デアラウト思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテハ中央諸官衙建築準備委員會ニ於テモ相當調査研究ヲサレタコトデアリマスガ、其ノ點ハ太田サンカラ御願ヒシタイト思ヒマス

○太田(嘉)委員 只今ノ問題ニ付キマシテハ、中央諸官衙建築準備委員會ニ於キマシテモ研究ヲ致シタノデアリマスガ、其ノ際東京市電氣局理事ノ曾山サンノ御意見、警視廳ノ交通課長ノ藤岡サンノ御意見等モ伺ツタノデアリマスガ、其ノ際伺ヒマシタ所ニ依リマスルト、電車ノ朝夕ノ「ラツシユアワー」ノ約三十分ヲ取りマシテ、其ノ間ニ於キマシテ、中央諸官衙建築地域ニ於キマシテ、電車ニ乗降シタリ、其ノ他此ノ地域ヲ通過スル所ノ人員ガドノ位アラウカト云フコトヲ調べテ見ルト、大體ニ於テ、大正十四年五月末ノ現在デアリマスルカラ、其ノ際ニ於ケル現在ノ人員ガ、中央諸官衙ガ二萬一千二百三十四人デアリマシテ、其ノ三割増ト見マシテ二萬七千六百四人デアリマス、三割増トシマシタノハ、大體ニ於テ中央諸官衙ノ計畫ガ、現在ノ人員ニ對シテ三割増加スルモノト見込ミマシタ、其ノ基礎ノ下ニ計畫ヲ進メマシタ、隨ヒマシテ、現在人員ノ三割増ヲ見込ミマスルト二萬七千六百四人ニナルノデアリマス、サウ致シマシテ、諸官衙以外ノ人ノ通過致シマスモノガ、凡

ソ倍位アラウト見マシテ、ソレデ中央諸官衙ノ人ガ二萬七千六百四人デゴザイマスカラ、普通ノ人ノ通過致シマスモノガ五萬五千二百八人位、サウ致シマスルト兩者合セマシテ將來ハ八萬二千八百十二人位ニナラウ、斯ウ云フ計算デアリマス、然ルニ一方ニ於キマシテ、現在又ハ既定計畫ニ依リマス所ノ電車ノ輸送能力、約三十分間ニ於ケル輸送能力ハドノ位アルカト申シマスルト、新宿、青山カラ櫻田門ヲ經テ日比谷方面ニ通ズル電車、青山ヨリ六本木飯倉、虎ノ門、櫻田門ヲ經テ日比谷方面ニ通ズルモノ、青山カラ六本木、溜池、虎ノ門、土橋、鍛冶橋カラ永代橋ニ通ズルモノ、此ノ三面ノ路線ニ於テ三十分ニ一萬二千ノ輸送力ガアルト云フ見込デアリマス、高速度鐵道ニ依ル既定計畫ト致シマシテハ、目黒カラ天現寺、六本木、虎ノ門、櫻田門、馬場先門、本石町、淺草橋カラ南千住ニ行クモノ、青山六丁目ヨリ赤坂見附、虎ノ門、數寄屋橋、東京驛、萬世橋、本郷三丁目カラ巢鴨ニ至ルモノ、新宿カラ四谷、半藏門、櫻田門、數寄屋橋、築地、蠣殼町、淺草橋、上野廣小路本郷三丁目ヲ經テ大塚ニ至ルモノ、之ニ依リマスル所ノ輸送力ガ五萬四千人位アル、斯ウ云フ所ノ豫定デアリマス、サウ致シマスルト、云フト兩者ヲ合セマシテ六萬六千人デアリマシテ、現在ノ三割増ト見テ八萬二千八百人デアリマスカラ、其ノ間ニ若干ノ不足ヲ生ズルヤウナ見込デアリマス、ソレデ之ヲ緩和スル所ノ方法トシテハドウシタラ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、一方ニ於テ路面電車ノ中、巢鴨カラ神田、日比谷、内幸町カラ右折シテ露國大使館ノ所ニ出ル一線ヲ新ニ設マル、

是ガ一ツノ案デアリマス、ソレカラ一ツハ六本木カラ溜池ニ出ル地上線ヲ、新計畫ノ一號路線ノ所マデ延長シテ、ソレカラ新總理大臣官舎ノ崖下カラ隧道デ地下鐵道ヲ設ケマシテ、新議院ノ正門、新議院ノ前庭ノ下ヲ經過シテ、濠端ノ崖下デ地上ヘ出テ現在ノ電車線ニ接續スル、斯ウ云フヤウナ地下鐵道ニ依ツテ之ヲ緩和シヤウ、サウ云フヤウナ色々ノ案ガアリマシタガ、地下鐵道ヲ設ケルニハ相當經費モ要リマスシ、果シテソレガ十分ニ收支償フカドウデアラウカト云フコトニ付テハ考慮ヲ要スルト云フヤウナ譯デ、或ハ將來乗合自働車ヲ相當持ツテ來テハドウカト云フヤウナ色々ノ意見モアリマシタガ、未ダ十分決定ニ至ラナカッタヤウナ次第デアリマス、引續イテ考慮中デアリマス

○佐野委員　モウ一ツ承リタイノハ、四號路線即チ三宅坂カラ櫻田門ニ至ル濠端ノ線、是ハ現在十八九米ノ細イ線デ、其處ニ電車ガ敷カレテ居ルノデアリマスガ、如何ニモ此ノ間ノ連絡トシテハ細イノデアリマシテ、二十七米ニ擴ゲルノハ至極適當デアラウト思ヒマスガ、此ノ陸軍省敷地ニナツテ居ル所ニ天然記念物トモ云フベキ立派ナ樹ガ澤山生エテ居ルノデアリマス、此ノ計畫ニ依リマスト、自然ソレヲ取ツテシマハナケレバナラヌノダラウト思ヒマス、去レバト云ツテ私ニハ、今ノ所之ヲ取ラズニドウスルカト云フ適確ナル考ヲ現在持合セテ居ル譯デハアリマセヌガ、如何ニモ惜シイヤウナ心持ガ致シマス、此ノ點ニ付テハドウ御考ヘニナリマスカ、一應御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○潮長官事務取扱　佐野サンノ御尋ニ、私カラ一應御答ヘ申上ゲマス、成程原案ハ、御尋ノ通りニ、參謀本部カラ三宅坂ニ行ク現在ノ線ヲ擴ゲルコトニナツテ居リマス、アノ土地柄トシマシテハ、ドチラニ擴ゲルカト云フト、一方ハ濠ヲ埋立テナケレバナラヌ、左モナケレバ崖ヲ切ツテヤルヨリ外ニ途ハ無イ、一方ノ御濠ヲ埋立テルコトハ色々ノ關係上出來難イト思ヒマス、ソレデ崖地ノ方ニ之ヲ擴ゲルト云フ原案ガ出來タノデアリマス、實ハ原案ヲ出シテ斯様ナ事ヲ申上ゲルノモ妙ナモノデアリマスガ、其ノ點ハ御舎ヲ願ツテ御聽キヲ願ヒタイノデアリマスガ、此ノ原案ガ出來マシテ、後デ尙ホ靜ニ考ヘテ見マスト、今ノ御話ノヤウニ、アノ陸軍省沿ヒノ崖地及樹木ト云フモノハ、東京中デモ見ラレナイヤウナ立派ナモノデアリマシテ、アレヲ取ツテシマツテ道ヲ擴ゲルコトハ、極メテ實用ニハナルカモ知レマセヌケレドモ、殺風景極マルモノニナラザルヲ得ナイノデアリマス、一度斯ウ云フモノヲ取ツテシマウト、後デ欲シクナツテモ到底取返ヘスコトハ出來ナイ、一般ノ空氣ヲ察シテ見テモ、彼處ハ實ニ惜シイモノダト言フ方ガ中々アル、外國ナドカラ參リマシタ者ハ彼處ヲ非常ニ賞メル、敢テ外國人ノ鑑賞ヲ俟タヌマデモ、吾々モ洵ニ惜シイモノト思ツテ居リマス、何トカ彼處ヲ殘シテ解決スルヤウナ案ガアレバ考ヘテ見タイト思ヒマスケレドモ、佐野サンモ持合セタイト仰シヤッタヤウニ、吾々モ持合セノ案ヲ持ツテ御協議ヲ願フト云フ迄ニ進ンデ居リマセヌ折角各方面ノ方ガ御集マリノコトデアリマスカラ、出來マスコトデアリマヌラバ、此ノ點ニ付キ

マシテハイマ一應各委員ノ方々カラ、御意見ヲ御出シテ願ツテ、御協議ヲ願ツテ後日ニ悔ノナイヤ
 ウニ案ヲ立テタラドウカト思ツテ居リマス、隨テ原案ヲ維持スベキ筈デアリマスルケレドモ、強イ
 テサウ云フ事ヲ申上ゲタクナイト思ツテ居リマス、或ハ又實地デモ御覽ノ上デト云フコトニナリマ
 スレバ、適當ノ機會ニ實地ヲ御覽下サツテ、サウデナクテモ大概御承知ノコトデアリマスルカラ、
 此ノ路線ニ付テハ今申スヤウナ懸念モアリマスルノデ、十分ニ御協議ヲ願ヒタイト思ヒマス
 ○佐野委員 當局デモ、今ノ點ハ重要ナコト、考ヘテ居ラレ、サウ簡單ニ片附ケテシマウト云フ譯ニ
 モイカスト御考ノヤウデアリマスガ、如何ナル結論ヲ得ラレマスニシテモ、一應實地ヲ視察スルコ
 トニシテハ如何デアリマセウカ、大抵承知シテ居ルコトデアリマスケレドモ、又其ノ積リデ見マス
 ルト感モ新タナルコトモアリマスカラ……

○橋本委員長 皆様モ御承知デアリマセウガ、私モ能ク知ツテ居ルノデ、陸軍ノ方ノアノ崖ハ、先年
 何遍モ何遍モ、積ムト壞レ、雨ガ降ルト壞レ、隨分何遍モ壞レタ所デ、私ハ建築ノ技師ノ實ニドウモ
 智識ノ無イコトヲ非常ニ感ジテ居ツタノデアリマスガ、近頃ハ漸ク壞レナイヤウニナツタ、此處ヲ
 電車ヲ通サナイト、他ニドウモ一寸ナイヤウデアリマスガ、今私ノ一寸ノ思付キデアリマスガ、崖
 ノ方ハアレハ非常ニ急デナイ斜メノ崖ニナツテ居ルノデアリマスカラ、少シ矢張り不風流ニナリマ
 スガ、根ノ所カラズツト石垣ヲ積ンデ突出セバ、ソレデモ餘程廣クナル、斜メニナツテ居ル長サガ

隨分アルノデアリマスカラ、二十七米ハナイケレドモ、餘程廣クナルト思ヒマス

○吉植委員 今ノ點ニ付テ一寸御尋シタイノデアリマスガ、濠端カラ新議院ノ前ニ出テ、右曲シテ三
 宅坂ニ行ク大キナ線ガ出來ルコトニナツテ居ル、今ノ御濠端ノ線ヲ通ラウト云フ者ハ、現在吾々ガ
 通ツテ見テモ彼處ハ非常ニ少ナイ、自動車モ彼處ハ通ラズニ迂回シテ通ルヤウニナツテ居ル、アレ
 ヲドウシテモ今ノ計畫ノ通りニ擴ゲナケレバナラスト云フコトニ付テハ、何カ數字ノ算定ノ上カラ
 絶對ニ必要ナモノデアリマスガ、體裁上中央官衙ノ傍ニスウ云フモノガアツテハナラヌ、サウ云フ
 事カラ生ジタモノデアリマスガ、是ハ何カ數字ノ基礎ガアツテノコトデアリマスガ

○武部計畫課長 私カラ御答ヘ致シマス、此ノ路線ヲ自動車ガ一時間ニ幾ツ通ルトカ、歩イテ通ル人
 ガ幾ラト云フヤウナ、數字上ノ計算ハ實ハ出テ居リマセヌノデアリマスガ、併シ現在ノ所デモ既ニ
 電車ガ真中ニアリマシテ、兩方が大變狭イノデアリマスカラ、現在ハ自動車ガ一臺通リマシテモ歩
 ク人が不便ヲ感ズルト云フ有様ナニツテ居リマスカラ、今後中央官衙ガ一體ニ出來テ、一方ハ二十
 一號線ガ來ル、一方ハ九號線ガ擴築サレ、此ノ間ヲ出入リスル人が非常ニ多クナル、隨ツテ現在ノ
 道路ヲドウシテモ擴ゲナケレバナラスト云フコトハ確デナイカト思ヒマス、ソコデ之ヲ擴ゲルニ付
 テハ、何米ニシタガ宜イカト云フコトハ考究ノ餘地ガアラウ思ヒマスガ、現在ノ畫計ハ二十七米ニ
 ナツテ居リマスガ、二十七米ノ道路トシマスルト、大體ノ計畫ハ斯ウ云フコトニナルノデアリマス、

兩方ニ四米半ノ歩道ヲ取ルコトニナリマスノデソレガ九米、真中ノ車道ガ十八米殘ル譯デアリマス其ノ中デ電車軌道トシテ六米、其ノ兩側ニ六米宛ノ車道ガ取レル譯デアリマス、六米ト申シマスルト、其處ヘ自動車ノヤウナ速度ノ早イモノト、ソレカラ荷馬車ノヤウナ遅イモノ、自轉車ノヤウナモノ、サウ云フモノガ二列ニナツテ、早イモノガ三米、遅イモノガ三米、二列ニナツテ通レルコトニナルデアリマス、此ノ計畫デモ、自動車ノ如キ速行ノ車馬ガ一列、緩行ノ車馬ガ一列ト云フ位ニシカ通レナイデアリマシテ、是ヨリ狭イコトハ、甚ダ交通上支障ヲ來シハシナイカト考ヘルノデアリマス、今ノ交通ガ混雜致シマスノハ、自動車ト荷馬車ノヤウナ速度ノ違フモノガ一緒ニ通ル爲ニ混雜シマス、ドウシテモ別々ニ通レルヤウニシナケレバ工合ガ悪イノデナイカト思ヒマシテ之ヲ二十七米ト云フコトニ定メタノデアリマス、現在デモ殆ド不便ヲ感ジテ居ルノデアリマスカラ、此ノ程度ノモノハ交通上己ムヲ得ナイノデナイカト考ヘタノデアリマス——尙ホ各路線ニ付キマシテ、線路幅ト其ノ中ヲ通りマス車馬ノ具合等ヲ説明シタモノガアリマスノデ、御配リ致シタイト思ヒマス

○吉植委員 一遍減ビレバ再ビ出來ナイヤウナ物ノアルヤウナ所ニ對シテモ、僅カ其處ダケノ場所ヲ兎ニ角電車ダケハ通ツテ居ルカラ、其ノ以外ノ交通ハ迂回シテモ格別ノコトデナイ、併シ其處ニハ數字的ノ基礎ガアツテドウシテモ是ダケノ路ガ要ルト云フモノデアルカ、一方ニ迂回スル道路ヲ擴

ゲレバ宜イ理窟デハナイカ、絶對ノ問題デハナイト思フ

○橋本委員長 唯左方ニ行クノハ、自動車ダカラ行クケレドモ、馬ナドハ坂ダカラドウモ今ノ道ヲ通ルコトニナル

○佐野委員 見ルニハ佳イ所デアルガ、通ルニハ不愉快ナ所デアル、併シ麴町ノ方面ニ行クニハ順路デスカラ擴ゲタイ所デアリマスナ

○宮田委員代理 川村保安部長 歩道ハ一米カ一米半デ宜イノデアリマセヌカ

○武部計畫課長 一種ノ風致地帯デアリマスカラ、遊歩道ノ意味ヲ加ヘマシテ彼處ノ歩道ハ廣クシテ置キタイノデス

○宮田委員代理 川村保安部長 歩道ヲ狭クシテ何トカナリマセスカ

○吉植委員 多少ノ餘地ガアルカナイカ一遍見タラ宜カラウト云フ説ニハ賛成デス、兎ニ角見テカラ定メタ方ガ宜イ、何カモウ少シ工夫ガ出來ルカモ知レヌカラ……

○潮長官事務取扱 一ツノ案トシテハ場合ニ依レバ電車丈ヲ移シテハドウカ云フ考ヲスル人ガアル、陸軍省ノ中ニ喰ヒ込ンデ、一方ノ風致ヲ壞サヌ範圍デ掘割ニスルカ何トカシテ、參謀本部内ヲ通スコトニシテハドウカト云フ説モアル

○武部計畫課長 ホンノ私共ノ私案ニモ至ラナイ程度ノモノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲシタラド

ウカト云フコトヲ考ヘテ見タノデアリマス、御參考ニ一寸申上ゲテ見タイト思ヒマス、此ノ樹ノ生エテ居ル所、此處ニ三百三四十本割合ニ古イ天然ノ樹ガ生エテ居リマス、現在ノ計畫デハ二十七米デアリマスガ、假ニ考ヘマシタ案デハ、此ノ幅ヲ十九米ニシテ居リマス、之ヲ此ノ崖ニ掛ラズニ大體大キナ樹ヲ殘シマシテ、電車ヲ參謀本部ノ方ニ持ツテ來ルノデアリマス、電車ヲ通ストスレバ切通シニシナケレバナリマセヌガ、真中ニ一種ノ山ノヤウナ地帯ガ出來ルノデアリマス、陸軍省ノ方デ異議ガアルカドウカ分ラナイノデアリマスガ、是モ一案デアリマス

○宮田委員代理 川村保安課長 ソレデ水ガ保チマセウカ

○武部計畫課長 大丈夫ナ積リデアリマス、深ク堀ツタラ問題デアリマセウガ、名案デハナイケレドモ一ツノ案トシテ考ヘタノデアリマス

○吉植委員 電車ハ中央官衙ノ地域内ハ通サナイト云フ原則ガ定メテアルノデアリマスガ

○武部計畫課長 路面電車ハ通サナイト云フ原則ニナツテ居リマス、電線トカサウ云フモノハ皆地下ニスル計畫ニナツテ居リマス

○宮田委員代理 川村保安部長 柳ヲ下ニ移シテ溝ヲ埋メレバ二米位廣クナリマセウ

○黒田委員 今御話ニナツテ居ル點ヲ一ツ留保シテ其ノ他ノ點ヲ御決定ヲ願ツタラ如何デアリマセウカ

○橋本委員長 其ノ他ノ點ニ付テ御質問カ御意見ガアリマシタラドウカ……

○吉植委員 中央官衙ノ地帯ニハ電車ノヤウナモノハ入レナイト云フ原則ハイツノ頃カラ定マツタノデアリマスガ、私ハドウモソレハ反對ナンデスガ、中央官衙地帯ハ、何モ別莊地デモナケレバ遊園地デモナイノデアリマスカラ、是カラ段々政治モ民衆的ニナツテ來ル時代ニ、自動車ナラ這入ルガ電車ハ遠クノ方カラデナケレバ行カレナイト云フコトニナルト、議院前邊リノ道路ハ狭ケレバモツト廣クシテ貫ツテ、真中ニ一本位ハドウシテモ電車ヲ通シテ、民衆ガ自由ニ出入リノ出來ルヤウニセヌト云フコトハ、少シ時代ニ逆行シヤシナイカト私ハ思フ是ガ別莊地カ何カデ、體裁良クシテ、ウルサイ奴ハ寄セ付ケナイヤウニスルト云フコトモ宜シイガ、ドウセ今後ノ政治ハサウ云フ上品ナコトバカリ言ツテ居ラレナイ、民衆ヲ相手ニヤル政治デアルカラ、成ベク民衆ノ寄り易イヤウニスルト云フコトハ考ニ置カナケレバナラス、雜聞シテ困ルト云フナラモツト道路ヲ擴ゲレバ宜イ、此ノ中ニ、平民的ナ金ノ安クテ行カレル電車ガ通ラナイヤウニシテ置クノハドウ云フモノデスカ、原則ト云フノハ定マツタモノデアリマスガ

○太田(嘉)委員 只今ノ御說ハ御尤モデアリマスガ、是ハ外國ノ例ヲ見マシテモ、大抵市街地ノ中心ニハ路面電車ハアリマセヌ、高架線若クハ地下線ダケデアリマシテ、其ノ他ニアリマスノハ乗合自動車シカナイノデアリマス、東京ノヤウナ大都市ニ路面電車ノアリマス所ハ餘リ例ガナイノデアリ

マス、必ズシモ、「ハイカラ」ガルト云フ意味デハアリマセヌガ、ドウモ將來東京ノ都市計畫トシテ考ヘナケレバナラヌ問題デナイカト思ヒマス、殊ニ議院ハ國事ヲ議サレル所デアリマスカラ、雜聞シヤシナイカト云フ虞ガアルノデアリマス、

○橋本委員長 今ノ司法省、海軍省ノ前ノ電車ハアノ儘デアリマスカ

○太田(嘉)委員 其ノ積リデアリマス

○吉植委員 アノ櫻田門ノ所カラシテ司法省ノ前ニ來テ居ル電車ヲ、アレカラ新議院ノ前ニ眞ツ直ニ出テ、ソレカラ三宅坂ニ出ルト云フ風ナ線路トシテモ眞中ヲ通ツテ行カレル、サウスルト今ノヤウナ問題ガ無クナル、役所ハ宮城トハ違ツテ、人民ト離レタ所ニ持ツテ行ツテウルサイ者ハ寄セ付ケナイト云フヤウナコトハ避ケナケレバナラヌ、成ベク人民ノ便利ナヤウニシナケレバナラヌ、サウスルニハ今ノヤウナ苦シイ濠端ヲ、何デモカデモ通サナケレバナラヌト云フコトヨリモ、廣イ所ヲ通シテヤレル、モウ既ニ通ツテ居ルアレヲ新議院前ヲ通シタラ宜イノデアアル、其ノ方ガ都合ガ好イノデハナイカ

○橋本委員長 惡イト云フノハ埃ガ來ルト云フノデアリマスカ

○太田(嘉)委員 電車ガ通ルト非常ニ騒ガシイト云フノデアリマス

○黒田委員 交通機關ノ御説ハ私モ賛成デ、何カーツ位ハアツテ宜シイヤウニ思ヒマス

○佐野委員 交通ノコトデ私モ少シ申上ゲタイノデアリマスカ、此ノ中ヘ電車ヲ入レナイト云フ原則ヲ中央諸官衙ノ方ノ委員會デ定メタト云フ御話デアリマスカ、私段々御話ヲ承ツテ思出スノモ甚ダ迂遠ナコトデアリマスカ、中央諸官衙ノ時ノ様子モボツ／＼思出シテ參リマシタ、私ノ記憶デハ、別ニ原則ヲ定メタト云フヤウナ強イ意味デ決議ニナツタトモ考ヘテ居ラナイノデアリマス、入レタクナイト云フヤウナ説明ハアツタヤウニ思ツテ居ルケレドモ、地下鐵ガ中ヘ這入レバ路面ガ要ラナクナルト云フコトニハ考ヘテモ宜カリサウニ思フ、地下鐵道無キニ地上デアルカラ路面電車ハ入レナイト云フ譯ニモ言ヘナイト思フ、相當廣イ面積デアルカラ、一本位入レルコトハ、地下デアレ地上デアレ入レルコトガ適當デナイカト思フ、是ハ地域内ハ原則トシテ通サナイト云フコトニ決議メイタコトニシテ置キタクナイ、唯サウ云フヤウナ考モアツテ、現在中ニ入レルトハ考ヘテ居ラナイノダト云フ程度ノ今日ノ意見トシテ伺ツテ置キタイト思ヒマス、原則ト云フヤウナ決議メイタコトニシテ置カナイガ宜シイノデハナイカト斯ウ自分ハ考ヘマス、勿論ソレガ爲ニ四號路線ニ電車ヲ通サナイデモ濟ムトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレトハ別問題デ、四號路線ニ電車ヲ置クコトハ必要ト考ヘマス、他ノ所ニ對シテハ、例ヘバ溜池カラ櫻田門ニ出ル線ノ如キハ、絶對ニ電車ヲ通サナイト云フコトニシタクナイ、唯意見ニ止メテ置キタイ

○太田(嘉)委員 是ハ中央諸官衙準備委員會デ地下鐵道ハ通サナイト云フコトヲ定メタ譯デハナイノ

デアリマス、其ノ當時東京市電氣局ノ理事デアリマシタ曾山氏ノ意見ヲ徴シマシタ所ガ、先程申シ
タ溜池ノ所カラ議院ノ「ブラツツ」ノ所ニ出マシテ參謀本部ノ所ニ出マス間ニ百五十萬圓ヲ要スル
一基米アルカナイカノ所ニ百五十萬圓以上ノ金ヲ費スト云フコトハ、餘程實行困難デハナイカ、斯
ウ云フヤウナ意見モアリマシタデアリマス、ソレガ果シテ收支償フカドウカト云フ問題モアリマ
スノデ、ソレデ少クトモ今度ノ中央諸官衙ノ道路計畫トシマシテハ通サナイコトニナツタデアリ
マシテ、其ノ點ハ財政ノ都合其ノ他色々點カラ考慮スル必要ガアラウト思ヒマスガ、大體サウ云
フヤウナ譯デアリマス

○吉植委員 斯ウ云フ事ハ出來ナイノデスカ、赤坂御所ノ前ノ所ニ、下カラ上ツテ行ク所ハ、濠ノ方
ニ道路ノ外側ヲ電車ヲ通ス、ア、云フ風ニアレヲ何かモウ少シ持出シテ、其ノ上ダケ電車ヲ通スヤ
ウナ工夫ハナイモノデアリマセウカ

○武部計畫課長 濠ノ中ヘ電車ヲ持ツテ行クノハ尙更ドウデスカ

○吉植委員 濠ニ全部電車ヲ出サナクテモ少シ食ミ出サシテ……

○橋本委員長 太田サン、先程ノ市ト國トノ負擔ノ分擔ガ定マラナクテモ之ヲ決議シテモ宜イノデス
カ

○太田(嘉)委員 サウ云フコトニ願ヒタイ

○橋本委員長 兩方デ後ニナツテ喧嘩シテモ困ルガ……

○太田(嘉)委員 先ヅ議院ノ裏手ダケハ一應國ガ出シテ、後デ御相談スルコトニ……

○堀切委員代理 廣瀬東京市助役 ソレハ私ニハ荷ガ重過ギマスカラ、ドウゾ市長ガ出ラレマシタ時
ニ……

○佐野委員 事業トシテノ議案ガモウ一遍出ルコトト思ヒマスカラ、計畫トシテハ此ノ際御定メニナ
ツテモ宜イノデアリマセヌカ

○堀切委員代理 廣瀬東京市助役 マダ會議ヲ開カレルコト、思ヒマスカラ、今日ハ御決定ヲ願ハナ
イデ、此ノ位ノ程度デ……

○橋本委員長 ソレデハ今日ハ此ノ位ノ所デ止メマセウ、實地ヲ見ニ參ル日取ハ御相談ヲシテ定メマ
セウ

午後零時十五分 散會

中央官衙
建築地域内
街路及廣場ノ件實地視察

昭和四月六月十四日(金曜日)午前十時陸軍省正門前集合

出張者氏名

委員長

貴族院議員

橋本圭三郎君

委員

警視總監宮田光雄君
代理警視廳書記官

川村貞四郎君

内務次官

潮惠之輔君

東京府知事

平塚廣義君

東京市會議員

國枝捨次郎君

從四位勳三等

吉植庄一郎君

東京市長堀切善次郎
君代理東京市助役

廣瀬久忠君

幹事

大藏次官	黑田英雄君
從四位勳三等	佐野利器君
衆議院議員	太田信治郎君
營繕管財局理事	太田嘉太郎君
復興局部長	赤木朝治君
復興局書記官	武部六藏君
正六位勳六等	西村輝一君
復興局事務官	片野道藏君

視察個所

參謀本部下ヨリ三宅坂ニ至ル區間

午前十一時 解散

中央官衙
建築地域内
街路及廣場ノ件第二回特別委員會議事速記録

昭和四年六月二十四日(月曜日)復興局會議室ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

貴族院議員 橋本圭三郎君

委員

警視總監官田光雄君 代理 警視廳書記官	川村貞四郎君
東京府會議員	赤塚五郎君
內務次官	潮田惠之輔君
東京府知事	平塚廣義君
從四位勳三等	吉植庄一郎君
正三位勳三等子爵	大河内正敏君

幹事

關係職員

東京市長	堀切善次郎君
大藏次官	黒田英雄君
從四位勳三等	佐野利器君
衆議院議員	太田信治郎君
營繕管財局理事	太田嘉太郎君
復興局部長	赤木朝治君
正六位勳六等	西村輝一君
復興局事務官	片野道藏君
建築部長	笠原敏郎君
公園課長	折下吉延君
營繕管財局工務部長	大熊喜邦君
復興局技師	春藤眞三君

議事

午後二時二十七分開議

○橋本委員長 開會致シマス、コノ前ノ御相談ニ依リマシテ、此ノ四號路線ニ付テハ實地檢分ヲシヨウト云フコトデ、都合ノ出來ル者ガ皆一緒ニ參リマシタ、御承知ノヤウニ、一方ニ於テハ陸軍ノ敷地ガアリ、其ノ間ニ東京名所ノ樹木ガアルト云フ譯デアリマスカラ、其ノ樹木ニ傷ノ付カナイヤウニ、又歩道車道總テニ付テ、最モ都合ノ好イ道ハドウシタラ宜イカト云フコトニ付テ、各々意見ガ違ツテ居リマシタ、就テハ當局者ニ色々ノ案ガアル譯デアリマスカラ、ソレヲ一ツ拵ヘテ戴イテ、ソレヲ皆様ニ御披露シテ、其ノ中ニ於テ總テノ點ニ於テ「ベター」ト云フモノヲ選定シタラ宜カラウト云フコトデ、此處ニ御手許ニ參ツテ居ルヤウナ各種ノ案ヲ、當局者ノ方デ拵ヘテ下サイマシタカラ、先ヅ一應御説明ヲ願ツタラ宜カラウト思ヒマス

○春藤技師 (圖面ニ就キ説明)案ヲ五種ニ大別シマシテ、Aハ小規模デアリマスケレドモ、一般ノ道路ノ形式ニ做ツタモノデアリマス、ソレカラBハ電車ノ軌道ヲ陸軍省ノ構内ニ上ゲマシテ、是ハ歩道ヲ一側ニ纏メタモノト兩側ニ付ケタモノB₁ B₂ノ二ツノ案ニナツテ居リマス、Cハ電車ノ代リニ

自動車道ヲ陸軍省ノ構内ニ上ゲマシタ場合デアリマシテ是モ自動車道ヲ片方向ダケ上ゲマシタノト
 兩方向共上ゲマシタノトデ C_1C_2 ノ二ツノ案ニナツタノデアリマス、 D ハ歩道ヲ陸軍省ノ構内ニ上ゲ
 マス場合デアリマシテ、陸軍省側ノ歩道ヲ廢シテ濠側ニ纏メタモノト構内ニ上ゲマシタモノト D_1D_2
 ノ二ツニ分レタノデアリマス、 E ハ濠端ノ土堤ニ道路敷ヲ擴築致サナイモノデアリマス、ソレヲ言ヒ
 換ヘマスレバ E ハ濠端ノ土堤ノ一部ヲ道路敷ニ編入スル必要ノ無イ案デアリマス、今迄ニ申シマシ
 タ ABC D ハ四案ハ濠端ノ土堤ノ一部ヲ道路敷ニ編入スルコトノ必要ノアル案デアリマス、併シ縱
 斷勾配ノ關係上現道路敷ヲ四尺乃至七尺位盛土ヲ致ス爲ト、濠端ノ柳ノ樹ノ移植ノ爲ニ、 A カラ E マ
 デノ五案何レモ土堤ヲ道路敷ニ編入ノ有無ニ拘ラズ、濠端ノ土堤ニ多少ノ加工ト申シマスカ、盛土
 ヲ要スルコトハ皆共通ノ事項デアリマス、何レモ以上ノ幅員不足シマス場合ハ、陸軍省ノ側ノ方
 ヲ、擴築致スノデアリマス、此ノ案デ考ヘテ見マスルト、自動車道ヲ上ノ方ニ上ゲマス場合デモ、
 亦軌道ヲ上ゲマス場合デモ、道ガ二ツニ分レルト云フ風ナ關係上、三宅坂ノ方面ニ於テモ、參謀本
 部ノ下ノ所ニ於テモ交通ノ整理ガ大變困難ニナリハシナイカト云フヤウナ嫌ガアルノデアリマス、
 ソレデ先ヅ陸軍省側ニ、出來ルダケ現在ノ樹ヲ助ケルヤウニ擴築致シマシテ、サウシテ十分ナル幅
 員ヲ取ル爲ニハ濠側ノ方モ多少擴張致シマシテ、サウシテヤルト云ウヤウナコトニシナケレバナラ
 スノデハナイカト考ヘテ居リマス

○橋本委員長 貴方ノ今仰シヤルノハソレハ何レニ當リマスカ

○春藤技師 ソレハ此案デ申シマスルト、歩道ヲ先ヅ片側ニ纏メレバ濠側ノ方ガ九尺、ソレカラ車道
 ハ九尺ヲ四ツ取りマシテ、中二本ガ疾行車、外ノ二側ガ緩行車ト云フコトニシマシテ、十九米三分
 位、二十米位ノ「ゲーチ」ニナツテ居ルト思ヒマス

○橋本委員長 ドウゾ皆様、御質問ナリ議論ヲ闘ハシテ載キタイ——陸軍省ノ方ヘハ、彼處ニ隧道ヲ
 拵ヘルトカ道ヲ拵ヘルトカ、自動車道ヲ拵ヘルト云フヤウナ事ニ付テハ、未ダ公式ニ御交渉ハ無イ
 ノデスカ

○西村事務官 未ダ其ノ邊ニ付キマシテ當局トシマシテハ交渉シタコトハアリマセヌ

○太田(嘉)委員 其ノ後陸軍次官ニ會ヒマシタ時ニ、非公式ニ聽イテ見マシタ所ガ、陸軍次官ノ申シ
 マスニハ、只今デモ電車ガ通リマスノガ非常ニヤカマシイサウデアリマス、參謀本部デ會議ヲスル
 時ニハ窓ヲ締メテヤルト云フヤウナコトデアアルサウデアリマス、ソレヲ今度又陸軍ノ上ノ方ニ電車
 ガ通ルコトニナルト非常ニ困リハシナイカ、建築ノ方デ音ガ聞エナイヤウニシテ貫ヘレバ是ハ別問
 題デアリマスガ、建築ノ方デハソレハ難カシイサウデス、電車道ヲ上ゲルコトハ一寸陸軍省ノ同意
 ヲ得ルコトハ困難ノヤウニ考ヘマス

○橋本委員長 サウスルト、陸軍省ヲ説キ伏セルカ然ラザレバ駄目ダト云フコトニナリマスネ、自動

車ナレバヤカマシイコトハナイデセウネ

六一〇

○太田(信)委員 此ノAガ要スルニ最初ノ原案デアツタノデアリマスカ、是ハ今度現場へ行ツテ見タ結果作成シタ案デアリマスカ、若シサウダト云フト、原案トノ相違ハドウ云フ所ニアリマスカ

○西村事務官 只今ノ原案ハ幅員ガ二十七米ニナツテ居リマス、サウシテ濠ノ方ノ側ヲ現状ニ致シマシテ、濠ノ方ノ土堤ニハ入ラヌコトニ致シマシテ、全部陸軍ノ方ノ土堤ヲ利用スルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、二十七米取リマスルト、陸軍側ノ杜ガ殆ド皆要ルヤウナコトニナルノデアリマス

○橋本委員長 樹ヲ皆伐ツテシマハナケレバナラヌノデアリマスカ

○西村事務官 サウデス、ヤリ方ニ依ツテハ色々アリマセウガ、ア、云フモノヲ其ノ儘裏ノ方ニ、前ト同ジモノハ出来マセヌケレドモ……

○太田(信)委員 A案デモサウデスカ

○西村事務官 A案ハ陸軍省側ノ杜ハ使ハナイコトニナツテ居リマス、足ラヌ所ハ濠ノ方ヲ擴張スルコトニシタノデアリマス、現在ノ幅員ガ十五米カラ十六米アル、ソレデ二十米ト申シマスルト此ノ方ノ側ニ四米位ヲ加ヘルコトニナル、此ノ案ノ下ノD₂ノ二ツ目ノモノ、ソレカラE、是ハ兩方トモ少シモ取ラナイデ、現在ノ道路ヲ其ノ儘改造スル案デアリマス

○橋本委員長 太田サン、貴方が陸軍次官ニ御會ヒニナツタ時、自動車ヲ上ゲルコトハ御話ハナカッタノデスカ

○太田(嘉)委員 其ノ事ハ申上ゲマセヌノデアリマスガ、建築ノ方デウマク設計シテ貫ツテ、電車ガ傍ヲ通ツテモヤカマシクナイ方法ガアレバ宜イガ、ソレデナイト……

○吉植委員 Aノ方ハ歩道ハ陸軍省ノ方ニ附ケルノデスカ

○西村事務官 Aノ方ハ、一番左ニ七尺ト書イテアリマスガ、ソレガ歩道デス、陸軍省ノ方ニハ上ゲナイ、二十米デ全部ヤレルヤウニ、詰リ七尺ノ歩道、次ニ緩行車ガ六尺、疾行車ガ九尺、電車ガ十八尺五寸五分、次ガ疾行車ノ九尺、緩行車ノ六尺、濠端ノ歩道ガ十尺四寸五分、是デ二十米ニナリマス

○橋本委員長 此ノ十尺四寸五分ト云フノハ、宮内省ノ方ハヤカマシクハアリマセスカ

○西村事務官 ソレハ一寸考究ヲ要スル點デアリマスガ、實ハマダ宮内省ノ方ニ内交渉モ致シタコトハゴザイマセヌガ、唯御参考迄ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、舊市區改正ニ依リマスル設計ガ今現ニ在ルノデアリマス、明治二十三年頃ニ決定致シマシタ幅員ハ二十間ニナツテ居リマス、ソレヲ三十六年ノ改正計畫ニ依リマシテ十二間ニシマシテ、其ノ十二間ノ計畫ガ現存シテ居ルノデアリマスガ、想像シマスルニ、今日ト同ジヤウナ、風致上ノ問題等ガ起ツタモノト思ハレマスノデ、詰

六一一

リ計畫ガ其ノ儘ニナツテ居リマシテ、未執行ト云フコトニナツテ居マス、餘リ新シクナイノデアリマシテ、沿革等モハツキリ分リマセヌケレドモ、多少ハ陸軍省ノ方ヲ削リ取りマシタリ、ソレカラ電車ヲ敷設スルヤウナ關係デアリマセウガ、濠端ノ方ニ擴ゲタリシタコトガアリマスルケレドモ、計畫通りニハ未ダナツテ居リマセヌ、其十二間ノ計畫ニ依リマスルト、現在ノ濠端ノ土堤ハ、大體ニ於テ半分位充當シナイト難カシイコトニナツテ居リマス、デアリマスカラ、或ハ斯ウ云フ事モ言ヒ得ルノデナイカト思フ、現在ノ市區改正設計ニ依リマスルト、濠端ノ土堤ヲ約二分ノ一見當潰スコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、先刻技師カラ申シマシタ十九米程度ノ道路ニ致シマスルト濠ノ方ニ掛リマス敷地ハ非常ニ少ナクナル、ソレデ現在ノ市區改正ノ設計ニ比ベルト餘程濠ノ方ハ樂ニナルヤウニ思ヒマス

○佐野委員 此ノコト云フ案デアルト、現在ノ幅員デ行ケル譯デスナ

○西村事務官 サウデス大體ニ於テ現在ノ幅員デアリマス

○佐野委員 是デモ或ハ盛土ノ關係上濠ノ方ニカブルヤウニナルカモ知レナイガ、大體濠ノ方ニハ手ヲ着ケナイ位ノ程度デ行ケルノデスナ

○西村事務官 サウデス

○春藤技師 未ダ是ハ案トシテ出來テハ居リマセヌガ、或ハ最後ノ案トモ思ヒマスルノハ(圖面ニ就

キ説明)是デアリマシテ、陸軍省ノ方ニ、緩行車馬道ガ九尺、其ノ次ノ九尺ガ疾行車馬、中ニ電車軌道ガ十八尺五寸五分、ソレカラ片方ノ側ト「シンメトリー」ニ九尺ガ疾行車馬、九尺ガ緩行車馬、其ノ次ニ歩道ガ九尺、是ハ濠端一側ニ歩道ヲ取ルノデアリマシテ、土堤ノ先ニ道路敷デハアリマセヌガ柳ノ樹ヲ植エル植樹帯ガ五尺位、此ノ勾配ガ一割勾配デ下ツテ居リマス、斯ウ云フ案モアリマス

○平塚委員 ソレデ幅ハ幾ラ位デアリマスカ

○春藤技師 十九米三分位デアリマス

○橋本委員長 柳ハ人道ノ端ノ方ニ植エルノデアリマスカ

○春藤技師 人道ノ外ニ五尺位植樹帯ガ出來マシテ、道路敷以外ニ植エル譯デアリマス——今述べマシタ十九米三分ノ案ニ依リマスルト、現在ノ道路敷デ、濠ノ方ニ少シモ擴張致シマセヌ場合ニ、現場ヲ實測致シテ見マシテ、ドノ位、十九米三分ヲ取リマス爲ニ現在ノ樹ガ伐ラレルカト云フコトヲ見マシタ、大キナ樹デ七本バカリゴザイマス、其ノ中デ直徑三尺以上ノ樹ガ一本デアリマス、ソレカラ二尺以上ガ一本、一尺五寸以上ガ三本、一尺五寸以下ノガ二本、其ノ他極ク小サナ樹ヲ入レマシテ合計デ二十三本バカリゴザイマス、是ハ濠端ノ方ニ擴張致シマセヌノデアリマス

○潮委員 濠端ヲ使フトシテドウナリマスカ

○橋本委員長 最後ノ案ナレバ一本モ伐ラナクテモ宜イノデセウ

○春藤技師 此ノ案ニ致シマスルト、大キナ樹ハ殆ドゴザイマセヌ、一尺五寸以上ノ樹ハ殆ドゴザイマセヌ、極ク小サナモノヲ十四五本バカリ伐ラナケレバナリマセヌ

○平塚委員 伐ラレナイ大キナ樹ノ根ハ……

○春藤技師 一寸其ノ根ノ關係ハ……

○折下技師 樹ニ付テ申上ゲマス、コノ現場ヲ御覽下サイマシタ方ハ御承知デゴザイマセウガ、參謀本部ノ入口ノ所ニ、後ニ參謀本部ノ入口ヲ修繕スル時分ニ植エタ小松ガアリマス、ソレカラ椎ガ二三本アリマス、斯ウ云フモノハ此處ノ風致ニ少シモ影響ガアリマセヌカラ、ソレハ伐ツテモ宜イト思フノデアリマス、此ノ邊モ大體風景ニハ關係ノ無イ樹木デスカラ、伐ツテモ伐ラナクテモ問題ニナリマセヌガ、此處ヲ是ダケ伐リマスルト風致ガ餘程壞レテ參リマス、オ濠ノ方、世傳御料地ノ方ニ道路ヲ掛ケナイデ參リマスルト、所謂「ワルトアンテル」ト申シマスルカ、樹幹ノ被サツテ非常ニ善事ニ出來テ居ル全部ヲ壞シテシマウノデ、裸ノ樹ガ露出シテ一寸回復シナイ、此ノ「ワルトマンテル」ヲ壞サナイ案トシテアノ案ハ拵ヘタノデアリマス

○太田(信)委員 オ濠ヲ埋メルコトハ宮内省ハイケナイノデスカ

○西村事務官 ソレハ先刻申上ゲタ通り、復興局トシテハ宮内省ニ内交渉ハ致シテ居リマセヌ、唯市區改正ノ關係カラ申シマスルト、市區改正ノ設計ニ比ベルト、此ノ案ノ方ハ餘程濠ノ方ガ樂ニナル、ソレデ大體ニ於テ残りマス濠ノ土堤ヲ一割勾配ニ、極ク狭イ所ハ一割ヨリ少シ急ニナルカト思ヒマスケレドモ、ソレヲ一割ニ維持シヤウト思ヒマスルト、多少ハ積石ナンカラシナケレバナラヌカト思ヒマスガ、大體ニ於テ一割ニ濠ノ方ヲ致シマスルト、陸軍省ノ側モ惜シイ樹ヲ伐ラナイデ行ケルト思フ、ソレデ濠ハ埋メマセヌノデアリマス、濠ノ中ヘハ入りマセヌノデ、唯勾配ガ少シ急ニナリマス

○赤塚委員 一寸御伺ヒシタイノデアリマスガ、前回ニ缺席シテ事情ガ能ク分リマセヌガ、ア、云フヤウナ人ノ通ラナイ所ヲ、サウ云フ苦心ヲシテ、又東京市ノ經濟トシテヤラナケレバナラヌ所ハ山程アリマスガ、特ニソレヲ苦心シテヤル必要ノアル理由ヲ一ツ承リタイ、ドウ云フ關係カラオヤリニナルノデアリマスカ、一寸御方針ヲ承リタイ

○西村事務官 現在ハ十六米デゴザイマスカラ、八間カラ九間位ノ幅員デアリマシテ、サウシテ新宿ト都心トヲ連結シマスル唯一ノ道路デアリマス、八間乃至九間ト申シマスルト、電車ヲ敷設スル最低度ノ幅員デアリマス、ソレデアリマスカラ決シテ現在ノ道路ハ十分ナモノデハナイノデアリマス、市區改正ノ十二間ニシヤウト云フノモ至當ノ計畫ダト思フノデアリマス、サウシテ歩道ノ關係ハ、商店ガアル譯デハアリマセズ、人家ガアル譯デモアリマセヌ、彼處ハ濠端ヲ遊歩的ニ散歩スル者ガ

アルダケデアリマス、唯今度中央官衙ノ全體ノ道路網ガ定マリマスルト、例ノ貴族院ノ正門ノ方ニ
 參リマス道路ガ一ツ出來マスルノデ、幾ラカ緩和スルコトニナルダラウト思ヒマスケレドモ、出來
 ルコトナラバ、現在ノ九間デハ餘リ十分デアルトハ考ヘラレナイ、ソレデ原案ハ二十七米ニナツテ
 居リマスケレドモ、併シ風致ノ關係ガアリマスルノデ、之ヲ十九米位ニ致シマスルト、原案比ベマ
 シテ約八米狭クナルノデアリマス、サウシマスレバ先ヅ風致モ壞サズ大體ニ於テ交通ノ便ガ良クナ
 ル案カトモ思ヒマス、御承知ノ通り決シテ現在ノ狀態ガ交通上或ハ風致其ノ他ノ點ニ付キマシテ滿
 足スベキモノデハナイノデアリマス

○太田(嘉)委員 是ガ修正ニナリマシテ決定シマスルト、宮内省ノ方デ其ノ手續ヲスルニハ大分手間
 ガ掛ルノデアリマスガ、サウ致シマスルト、私共ノ方トシマシテ、議院裏ノ方ノ道ヲ改修シマスコ
 トハ議院工事ノ促進上非常ニ急イテ居リマスルノデ、其ノ點ハ非常ニ困ルノデアリマスガ、此ノ四
 號路線ダケヲ省イテ他ノ部分ダケデモ成ベク速ニ御決定ヲ願フコトガ出來マシタナラバ仕合ト考ヘ
 マス

○橋本委員長 サウスルト太田サンノ希望ハ、此ノ問題ヲ別ニシテ他ノ部分ヲ決議シテ置ク、今度本
 會議ノ報告モ、第四號道路ハ調査委員ノ手ニアツテ未ダ決定シナイ、斯ウ云フ報告デ總會モ濟マシ
 テ置カウ、斯ウ云フ譯デアリマスカ

○太田(嘉)委員 今ノヤウナ案デアリマスレバ私共宜シイト思ヒマスガ、ソレガ手間ガ掛リマスマヤウ
 デハ困リマスカラ、手間ガ掛ルヤウデアリマスレバ其ノ方ハ後廻シニシテ戴イテ、他ノ部分ダケヲ
 御決定ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、併シ此ノ方ガ早く濟ミマスレバ一向差支アリマセヌガ……

○西村事務官 是ハ世傳御料ニ關係シマスノデ、若シ十九米案ガ良イトシマシテモ、樞密院ニ行ツテ
 ソレガ決スル迄ニハ相當ノ日數ガ掛ルノデアリマス、若シ此ノ案ガ、大體ニ於テ良イト云フコトニ
 ナリマスレバ、宮内省ダケノ意嚮ヲ尋ネテ見ルコトハ餘リ日數ハ掛ラヌト思ヒマス、ソレハ難カシ
 イト云フ宮内省ノ意嚮デアレバ實行ハ非常ニ困難ト云ヒマスガ、宮内省トシテモ最後ノ確定的ノ回
 答ハ、種々ノ關係ガアリマスカラ直グニハ出來ヌトシマシテモ、若シ此ノ案ガ宜シイトナリマスレ
 バ、一應宮内省ノ内意位ハ聽イテ見タラドウカト思ヒマス

○太田(信)委員 如何デセウ、宮内省ノ御意嚮ヲ伺フトシテモ、此ノ案ガ決シナケレバ方針ガ立タヌ
 譯デアリマスカラ、又此ノ案ガ決定シタ所ガ、宮内省ノ御意嚮ヲ伺ハナイト此ノ案ハ確定出來ナイ
 何レニシテモ此ノ案ヲ確定スルト云フコトハ困難ト云ヒマスガ、大體此ノ十九米案ヲ、此ノ會デ先
 ズ假ニ、是ナラ宜カラウト云フ程度ニ定メテ置イテ、其ノ先ノ交渉ハ復興局ニ任シテ、其ノ交渉ノ
 結果會議ヲ更ニ開クコト、シテ、此ノ分ヲ保留シテ、サウシテ他ノ部分ハ議論ガナイノデアリマス
 カラソレヲ先ヅ御確定ニナツテ、案ガ二ツニナリマスガ、幸ニシテ本會ヲ開ク前ニ決定ヲ見ラル、

ヤウナラバ、急遽委員會ヲ御召集下サツテ差支ナイト思ヒマスガ、今日ハ此ノ程度ニシテ、先ヅ是ナラバ宜カラウト云フコトニシテ、他ノ部分ハ御決定ヲ願ツタラ宜カラウト思ヒマスガ……

○橋本委員長 只今ノ太田サンノ御説デ如何デスカ、若シ他ニ支障ガナケレバ此ノ案デ皆様ノ御同意ヲ得ルガ、宮内省デ駄目ダト云フコトニナレバ仕方ガナイ、又宮内省デ宜シイト言ツテモ樞密院ガ駄目ダト言ヘバ仕方ガナイ

○赤塚委員 今ノ太田サンノ御意見結構ダト思ヒマス

○橋本委員長 今ノ太田サンノ御話ノヤウニ、此ノ委員會デハ、他ニ支障ガ無イナラバ今ノ案ヲ「ベスト」デナイカ知ラスガ「ベター」デアルト思フ、併ナガラ宮内省、樞密院デ惡イト云フコトデアレバ其ノ時ニハ再考スル、斯ウ云フコトデ此ノ會ハ通過シテ置イテハドウカト云フ御話デアリマスカ、如何デセウ

○潮委員 サウスルトモウ一度委員會ヲ開カナケレバナラヌノデスカ

○太田(信)委員 異議ガナケレバ開カナクテモ宜イ、若シ支障ガアレバ開ク

○橋本委員長 一寸皆サンニ御相談致シマスガ、今ノ此ノ案ハ未ダ十分當局者ノ方ニ於テ、精密ナル測量ヲ爲シスツカリ定マツタ譯デハナイノデアリマスカラ、今後十分ナル調査ヲシテ、サウシテ宮内省ノ方ヘ交渉ラスル、ソレガ今申上ゲタ事ト非常ニ相違ガアレバ再ビ皆様ヲ煩スケレドモ、若シ

サウデナカッタナラバ、委員長ガ御相談ヲ受ケテ、僅ノ事デアルナラバ皆様ヲ煩サナイデ、即チモウ一度會ヲ開クコトヲ省略シテ進ムコトニシテハドウカト云フ御話ガアルノデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマセウカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○赤塚委員 總テ委員長ニ一任致シマス

○橋本委員長 ソレデハ「コンモンセンス」デ考ヘテ、餘リ變ツタモノガアリマシタラ皆様ニ御相談シマス、サウ致シマスルト、他ノ點ニ付テハ、未ダ質問應答ガアツタダケデ其ノ儘ニナツテ居ツテ、今ノ第四號道路ガ問題ニナツテ今ノヤウナ經過ヲ取ツテ來タノデアリマスガ、其ノ他ノ路線等ニ付テ何カ御發議ガアリマシタナラバ、此ノ際ドウカ御述ベヲ願ヒマス——今ノ外務省ノ脇カラ新議院ノ方ニ行クアノ立派ナ道モドウシテモ狭イノデスカ、今ノ所デハ宜イヤウデスガ今度二十七米ニナルノデアリマスガ、兩方壞スノデアリマスカ

○西村事務官 大臣官邸ノ前ハ三十三米デ、大臣官邸ノ前ヲ擴ゲマス

○橋本委員長 何ダカ惜シイヤウナ氣ガシマスネ

○西村事務官 アレハ沿革カラ申シマスルト、櫻田門カラ議院前ニ至ル路線ガ三十間ニナツテ居リマシタ、ソレヲ色々ノ關係デ十間狭クシマシテ、コチラノ方ヲ廣クシマシタ、詰リ兩方廣クシヤウ、其

ノ代リニ一方ノ計畫ヲ前ノヨリ狭クスルコトニナツタノデアリマス

六三〇

○宮田委員代理 川村保安部長 一號線ノ幹線トクツ付ク所、アノ場所ハモウ少シウマク出來ルト、交通整理ノ巡查ガ二人要ルカ要ラヌカト云フ問題ニナルノデ、ア、云フ風デアリマスルト兩方ニ要リマス、大藏省ノ圖デアリマスルト圓クナツテ居ルカラ見透シガ附クヤウデアリマスガ……

○大熊營繕管財局技師 此處ニ内閣ガ建ツノデアリマスガ、參謀本部ガ引込ンデ建チマスカラ、トツ鼻マデ持ツテ來マスルト建物ガ凸出スルコトニナリマスカラ、内閣ノ方デハ配置上幾ラカ餘裕ヲ取リマシテ配置シタイト思ヒマスカラ、サウスルトモウ少シ圓クシテモ差支ナイト思ヒマス

○宮田委員代理 川村保安部長 サウシテ戴ケバ結構ダト云ヒマス

○春藤技師 此ノ所ハ九號線ガ降ツテ參リマスカラ、勾配ノ途中ニ是ガ出會フコトニナリマス、勾配ノ途中デアリマスカラ、角切りヲ餘計ニシマシテモ廻ハリマスニハドウカト思ヒマスガ……

○橋本委員長 サウ云フ頭ヲ以テヤレバウマク出來マセウ

○西村事務官 川村サンノ御話ハ、ドノ位ノ圓サデ宜シイノデアリマスカ

○宮田委員代理 川村保安部長 現場ヲ見ナケレバ分リマセヌガ、見透シガ出來レバ宜イノデアリマス

○大熊營繕管財局技師 建物ガ少シ下ツテ、前庭ニ背ノ低イ樹ヲ植エレバ見透シガ付クト思ヒマス

○橋本委員長 他ニ何か御質問ハゴザイマセヌカ——先程會議ニ入ル前ニ、市長カラ議院ノ裏ノ道路ニ付テ何か御希望ガアリマシタヤウデアリマスガ……

○堀切委員 一寸申上ゲテ置キマセウ、今ノ事業ヲヤル道路ノ終點ノ所ト總理ノ官邸トノ間ニ三角形ノモノガ殘ルヤウデスガ、アレヲ一緒ニ此ノ際取拂フヤウナ方法ヲヤツテ戴クガ宜イト思ヒマスガ、事業ノ中ニ、其ノ街路ノ長サヲ長クシマスルカドウ云フ風ニシマスカ、其ノ手續ハ分リマセヌガ、ソレヲ考ヘテ戴キタイト思フ——今ノ問題ハ金額ヤ事業ノ方ニ觸レテ戴カナクテモ、其ノ積リデ營繕管財局ノ方ニ考ヘテ戴クカ、或ハ市ト營繕管財局ト御協議スルコトニシテモ宜イ事デナイカト思ヒマスカラ、一寸申上ゲテ置キマス、モウ一ツ之ニ關スル經費ハ、事業ヲヤリマス方ダケハ全部營繕管財局カラ市ガ戴クコトニナルノデアリマスガ、其ノ他ノ道路ニ付キマシテハ今ハツキリ大藏省ノ方カラ御伺ヒハ出來ナイト思ヒマスガ、市ト致シマシテハ、各方面ニヤラナケレバナラヌ道路ガ非常ニ澤山アリマシテ、財政甚ダ窮乏ノ際デアリマスカラ、ドウゾ成ベク此ノ線路ノヤウニオヤリ下サルコトヲ第一ニ希望シマス、若シ萬一ソレガ不可能デアルナラバ、成ベク澤山營繕管財局ニ持ツテ戴キマシテ、市ノ負擔ヲ輕減スルト云フ御考デ御進行ヲ願ヒタイト思ヒマスノデ、希望トシテ其ノ事ヲ申上ゲテ置キマス、ドウゾ十分御考慮ヲ御願ヒ申上ゲタイト思ヒマス

○太田(嘉)委員 全體ノ道路ノ負擔ヲドウスルカト云フコトニ付テハ、復興局長官トシテ御承知ノ通

六三一

リ、色々御幹旋下サイマシタ點モアリマシテ、國ノ方ニ於テモ相當負擔スル積リデアリマスガ、市ノ方ニ於テモ相當ノ負擔ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、併シ此ノ問題トナツテ居リマスル線ニ付テハ、取敢ヘズ國デ全部出シテ置キマスガ、將來ノ分 併セテ御相談ヲシタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○橋本委員長 皆様別ニ御發議モ御異存モナケレバ、此ノ付議ニナツテ居リマス二案ハ、先程御決議ニナツタ以外ノ事ハ、全部無條件デ御可決ニナツタモノト見テ宜シウゴザイマスカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○橋本委員長 ソレデハ左様ニ決シマス、今日ハ是デ會ヲ閉ヂマス
午後三時二十四分 散會

中央官衙
建築地域内
街路及廣場ノ件第三回特別委員會議事速記録

昭和四年七月二十四日(水曜日)復興局會議室ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

貴族院議員

橋本圭三郎君

委員

警視總監丸山鶴吉君
代理 警視廳書記官

古川 靜 夫君

内務次官

潮 惠之輔君

東京府知事
中川健藏君代理 地方技師

來 島 良 亮君

東京市會議員

國 枝 捨 次郎君

東京市會議員

中 塚 榮 次郎君

東京市長堀切善次郎君代理 東京市技師

福 田 重 義君

幹事

衆議院議員 太田信治郎君
 管轄管財局理事 太田嘉太郎君
 復興局部長 赤木朝治君
 復興局長官 望君

復興局書記官 武部六藏君

正六位勳六等 西村一平

關係職員

建築部長 笠原敏原君

議事

午前十時 開議

○橋本委員長 是カラ開會致シマス、今日ハオ暑イトコロヲ御集リヲ願ヒマシテ、至急皆サンノ御會

議ヲ願ハナケレバナラスコトガゴザイマスノデ、詳細ハ幹事カラ御説明ヲ申上ゲマスガ、此前ニ第
 四號路線即チ三宅坂カラ濠端ノ陸軍省ノ下側ノ道路ノコトニ就テ宮内省ノ方ヘ照會ヲ致シマシテ、
 コチラノ意見ニ同意ヲシテ吳レルレバ、多少ノ變更クラキハ議長ニ任セルト云フ御決議ニナツテ
 居リマシタガ、ソレガサウ云フヤウニ計ラウコトガ出來ナイ場合ニ到ツタノデアリマス、ソレデ此
 會ヲ開クコトニナリマシタ次第デアリマス

○武部計畫課長 私カラ其後ノ經過ヲ概略申上ゲマス、前回ノ會議デ十九米三分ノ道路ニシテ、成ル
 ベク參謀本部側ノ樹木ヲ伐ラナイ設計デ進ンデ貫ヒタイト云フ御希望デゴザイマシタガ、其後實地
 ニ就テ調査ヲ致シマシタカラ、其結果ヲ圖面ニ依ツテ申上ゲタイト思ヒマス、(壁上ニ掲出セル圖面
 指摘)、コツチガ三宅坂、コツチガ參謀本部デアリマス、原案ニ依リマスト二十七米デ此處迄道路ガ
 來ルノデアリマシテ、隨ツテ此處ノ木ヲ伐ラナケレバナラス、ソレデ今度十九米三分ニナリマシテ
 木ヲ伐ラナイデヤル計畫ニナリマシタ結果、コツチノ路線ヲ先ヅ選ンダノデアリマス、尤モ此邊ハ
 凹凸ガアリマスノデ、少シ崖ニ懸ルノデアリマスガ、是カラ先キハ又現在ノ道路ノ境界線ニ附イテ
 行クノデアリマスガ、計畫ニ依リマスト約五本計リ木ヲ伐ラナケレバナリマセヌガ、僅カノ數デア
 リマ、カラ、全體ノ風致ヲ害スルコトハナイト思ツテ居リマス、ソレデ前回ノ會議ノトキニ七本ト
 申シマシタガ、其後實測致シマスト五本デアリマシタ、ソレカラ十九米三分ノ幅ヲ向側ニ取ツテ見

タノデアリマス、現在ノ道路ノ計畫ハ赤イ方ノ、コツチ側ニナツテ居リマスガ、ソレガ御料地ニ色ノ塗ツテアル所丈ケ掛カルノデアリマス、是丈ケオ濠ノ土堤ノ上ニハミ出スノデアリマス、ソレガ三百三十二坪若干ニナリマス、坪數トシテハサウ大シタ坪數デナイト思ヒマス、幅モ極ク廣イ所デ二間半位ノ程度デアリマス、サウシテ是丈ハミ出シタ結果、崖ガ急ニ成ル譯デアリマス、此圖面(別ノ圖面ヲ指摘)ハ青寫真デ色ガ薄ウゴザイマスガ、下ノ細イノガ現在ノ道路ト崖デアリマス、ソレガ急ニ成ルノデアリマス、上ニ在ルノガ三宅坂デ、真中頃ニ急ナ所ガ少シ出來マス、一番急ナ所デ、所謂一割ト申シマスノデ、此角度ガ四十五度ニナリマス、其部分ガ少シ出ルノデアリマス、圖面ニ描キマストコンナ程度ニナリマス(別ノ圖面指摘)、芝ヲ張ツタ丈ケ崖崩レノ虞ハ先ヅ大丈夫ト考ヘテ居リマス、尤モ若シ幾ラカ心配ガアルトスレバ外ニ見エナイヤウニ、中ニ混凝土デ塊メル設備ヲシテ、絶對安全ニスルコトガ出來ルノデアリマス、十九米三分ノ道路ハ斯ウ云フ風ニナリマス(圖面指摘)、斯ウ云フ計畫デ宮内省ノ方ヘ御話ヲ申上ゲタノデアリマス、而シテ林野局ノ御所管ニナツテ居リマスノデ、復興局ト大藏省カラ御話ヲ申上ゲテ御内諾ヲ得タイト云フコトヲ御話申シタノデスガ、世傳御料地ノコトデアリマスカラ、將來地上權ヲ設定シテ戴ク場合ニハ樞密院ニモ御諮詢ニナラナケレバナラヌ問題デアリマスノデ、差當リ宮内省トシテモ直ゲニオ返事ガ出來兼ネルト云フ御話デゴザイマシタ、樞密院ニ掛ケル前デモ、大體御差支ガナケレバ御内諾ノオ返事ガ戴ケ

ルノデアリマスガ、内部ノ意見ヲ御纏メニナル丈ケデモ關係者ガ非常ニ多イノデ、ソレ等ノ方々ガ或ハ御旅行中デアツタリ、色々ノ關係上、來月ニナラナケレバ御話合ヒガ附カナイト云フコトデアリマス、隨ツテサウナリマスレバ、此委員會デ御極メヲ願フノモ秋ニナツテシマウノデアリマス、然ルニ一面ニ於テ仕事ヲ非常ニ急ガナケレバナリマセヌノデ、殊ニ總理大臣ノ官舎ノ前ニ通ツテ居リマス道路ノ中デ、獨逸大使館カラ此部分ニ掛ケマシテ(地圖指摘)、本年度ニ事業ヲ執行スル豫定ニナツテ居リマス、政府ニ於テモ約三十萬圓ノ豫算ガ取ツテアリマスノデ、ソレヲ東京市ニ交付シテ市デ本年度中ニ事業ヲ執行シタイト思フノデアリマス、サウシテソレガ又議院建築ヲ進メル關係上必要ナノデアリマス、議院建築ハ本年度豫算デモ大體御觸レニナラナイヤウナ御内定ニナツテ居リマス、隨ツテ此道路ヲ是非共本年度内ニ竣工シタイト希望デ居リマスノデ、宮内省ノオ返事ヲオ待チシテ全體ノ事業ガ遅レルヤウニナツテモ如何ト存ジマシテ、此際第一街路中第四號路線丈ケ削除ヲシテ、外ノモノ丈ケノ御決議ヲ願ツタラドウカト私共ノ方デ考ヘテアルノデアリマス、先ニナリマシテ宮内省ノ御意嚮ガハツキリ分リマシタナラバ、コチヲノ御希望通り提案致シタイト思ヒマス、ソレガ又別ノ結果ニナリマスレバ更ニ考慮致シマシテ、適當ノ案ヲ提出致シタイト考ヘテ居リマス、ソレデ本日ハ成ルベクナラバ第四號路線丈ケ一應削ルコトニシテ、將來更ニ適當ノ提案ヲ待ツト云フ意味デ外ノ部分ニ付テ御決議ヲ願ツテ置クト云フノガ、當局ノ希望デゴザイマス

○橋本委員長 只今幹事カラ詳細御説明ニナツタヤウナ次第デアリマス、私モ先達御相談ヲ受ケマシテ至極適當ノ處置デアルト思ツタノデアリマス、今之ヲ待ツテ居ルト云フコトモ、イツノコトダカ分リマセズ、一方ニ於テハ急ヲ要スルコトガアルノデアリマスカラ、今ノ三宅坂ノ所ハ先達モ或ル委員カラオ説ノアリマシタヤウニ、今ノ儘デモ良クハナイカト仰セラレタ位ノ處デアリマスカラ、彼處ハ「セバレート」シテモ外ノ方ニ差障リモナイト思ヒマスノデ、アノ路線丈ケハ後廻シニシテ削除ト謂ヒマスカ、今日ノ問題カラハ離シテ、サウシテ其外ノモノニ付テハ過日來段々御相談ガアリマシテ、殆ド皆サン別ニ御異存モナカツタヤウデアリマスカラ、其ノ方ヲ御決議下サツテ、本月中クラキニ總會ニ付議シテ、豫算ノ取レタモノハ直グニ執行スルヤウニ致シタラドウカト思フノデアリマシテ、オ暑イトコロヲ御集リヲ願ツタ次第デアリマス

○太田(信)委員 私ハ「議第一〇九號議案第一街路中第四號路線ヲ削ル」ト云フ修正案ヲ提出致シマス、其理由ハ第四號路線ニ付キマシテハ各方面ノ御諒解ヲ得ル事柄ガアリマスノデ、殊ニ宮内省ノ御關係ニ屬シテ居ル事ニ付キマシテハ、勿論慎重ヲ要スル次第デアリマス、ソレ等ノ御諒解ヲ得ルニハ、只今直ニ決定ヲ見ル運ビニ參リ兼ネルノデアリマス、左様致シマシテ此議案ニ含まレテ居ル中ニハ、非常ニ急速ヲ要スルモノモアリマス、而モ一部保留ヲ致スト云フコトハ不可分ノモノデアリマスカラ、此際第四號路線丈ケヲ削ツテ、他ノモノヲ通過セシメテ、而シテ本會議ヲ成ルベク早

ク御開キヲ願ヒ、此ノ工事ノ施行ニ支障ナカラシムルコトガ最モ適當ナリト云フ考ノ下ニ、此修正案ヲ提出シタ次第デアリマス

「賛成」ト呼フ者アリ」

○橋本委員長 別段皆サン御異議モゴザイマセヌケレバ、サウ云フコトニ決定致シタイト思ヒマス、甚ダオ暑イトコロヲ御苦勞デゴザイマシタ、是ニテ散會致シマス

午前十一時 散會

古川改修事業及
道路新設擴張事業

受益者負擔ノ件特別委員會

古川改修事業及
道路新設擴張事業

受益者負擔ノ件第一回特別委員會議事速記録

昭和四年六月十一日(火曜日)復興局會議室ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

從四位勳四等 渡邊 鐵藏君

委員

內務書記官平田紀一君代
理內務事務官 大村 清一君

東京市會議員 古島 宮次郎君

內務次官 潮 惠之輔君

東京府知事 平塚 廣義君

東京府會議員 朝倉 虎治郎君

東京市會議員 新甫 寬實君

- 東京市會議員 中塚榮次郎君
- 東京市長堀切善次郎君代 廣瀬久忠君
- 東京市助役 佐上信一君
- 内務省地方局長 太田信治郎君
- 衆議院議員 前田多門君
- 正五位勳四等
- 復興局書記官 武部六藏君
- 正六位勳六等 西村輝一君
- 復興局事務官 片野道藏君

幹事

議事

午前十時三十分開議

○渡邊委員長 是カラ開會致シマス、議第一二一號東京都市計畫事業古川改修受益者負擔ニ關スル件ノ方カラ先ニ御審議ヲ願フコトニ致シマス、一應御當局ノ説明ヲ願ヒマス

○武部計畫課長 古川ノ改修計畫ハ大正十四年ニ都市計畫事業トシテ決定致シタノデアリマス、謄寫版デ「古川改修計畫概要」ト云フモノヲ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ、ソレニ極ク大體ノ事ヲ記シテアリマスガ、市郡界ノ天現寺橋カラ一ノ橋ニ至ル古川筋ヲ改修セントスルモノデアリマス、コノ區間ハ河底ガ埋沒致シマシテ、毎年出水ノ度ニ氾濫ガ激シイノデ、被害ガ尠クアリマセヌ、ソコデ現在河幅ガ三間八分乃至四間デアリマスノヲ、河底十二尺ノ高サノ線デ八間ノ幅ニ擴メルノデアリマス、尙ホ兩側ニ護岸ヲ築造致シマス、河底ハ三尺四寸乃至六尺五寸ノ程度ニ浚渫ヲ致シマスノデアリマス、之ニ依ツテ三ノ橋以下ニ於キマシテハ、極ク僅カデアリマスガ舟運ノ便ガ開ケルコトニナルノデアリマス、本事業ハ大正十四年度カラ昭和六年度ニ至ル七箇年ノ繼續事業トシテ目下執行中ニ屬スルモノデアリマス、其ノ費用ノ總額ハ二百八十七萬圓デ、之ヲ受益者負擔ト土地賣拂代ト一般市歲入等ヲ以テ支辨セントスル財政計畫ニナツテ居ルノデアリマス、今回提案ニナツテ居リマスル受益者負擔規程ニ依リマスト、其ノ事業費ノ百分ノ四十ヲ、此事業ノ受益者負擔區ノ總面積ニ割當テル、尤モ其中ニハ道路其ノ他免租地等デ受益者負擔ガ實際上カカラナイ部分ガアリマスケレドモ、ソレ等モ一應括メテ事業費ノ百分ノ四十ヲ全面積ニ割當テ、サウシテ受益者負擔ヲカケルノデアリマス、其百分ノ四十ヲ更ニ二分シマシテ、百分ノ二十八ハ從來カラアリマス受益者負擔ノ法令ニ依ツテ其負擔區ノ内ノ土地所有者、尤モ土地所有者ノ外ニ質權者ガアリマシタリ、或ハ十年

ヨリ長い期間ノ存スル借地権者等ガアリマス場合ニハ其方ニカケルノデアリマス、其残りノ百分ノ十二ハ、是ハ主トシテ護岸ノ費用ノ歩合ヲ見タノデアリマスガ、是ハ護岸カラ幅六間ノ程度ニ於テ負擔區ヲ定メマシテ、其内ニ土地ヲ所有シテ居ル者、借地権ノ有無ニ拘ラズ土地ノ所有者ニ對シテ課スルト云フ規定ニナツテ居ルノデアリマス、全體ノ事業費ノ百分ノ四十ヲカケルノデアリマスガ、免租地、道路其他ノ關係ガアリマスノデ、實際ノ收入ハ事業費ノ約四分ノ一、七十一萬餘圓ニ上ル見込デアリマス、此問題ニ付テハ東京市長ガ事業ノ執行者ニナツテ居リマス、尤モ受益者負擔ノ負擔區ノ關係スル範圍ハ東京市ノ外尙ホ澁谷町ノ極ク一部分ガカ、ルノデアリマス、其意味ニ於テ東京市長ノ外ニ尙ホ澁谷町長ノ意見ヲモ徵シタノデアリマスガ、孰レモ此原案ニ對シテ異存ガナイト云フ答申ガアツタノデアリマス、大要以上デアリマス、尙ホ細カイ事ニ付キマシテハ御質問ニ應ジテ申述ベタイト考ヘマス

○中塚委員 此事業ハ只今進行中ト云フコトデアリマスガ、何處カラ何處マデ出來テ居リマスカ

○永井東京市河港課長 私カラ御説明致シマス、一ノ橋カラ天現寺橋マデヲ改修スル計畫デアリマスガ、其内今日マデ出來マシタノハ一ノ橋カラ三ノ橋マデハ略々出來上リマシタ、唯三ノ橋カラ下流ノ左岸ノ方ニ一部分家ノ取毀シヲ今ヤツテ居リマスノデ、僅カダケ残ツテ居リマス、三ノ橋カラ上流ハマダ手ヲ着ケテ居ラヌト申上ゲテ宜シイ、唯四ノ橋ノ上流ノ方ニ於テ一箇所右岸ノ方デ約百十七間ノ間ハ改修ガ出來テ居リマス、是ハ下流ノ方カラ段々上流ニ進ンデ行クノデアリマスガ、家屋移轉ノ關係デ其方ノ解決ノ容易デアツタ所ヲ先以テ着手シタヤウナ關係デアリマス、大體ニ於テ三ノ橋カラ下流ガ出來上ツタト申シテ宜シイト思ヒマス、全體ノ工程ノ約四割ノ進行デアリマス

○中塚委員 イツ頃完成スルノデスカ

○永井東京市河港課長 昭和六年度ニ完成スル豫定ニナツテ居リマス

○朝倉委員 天現寺橋カラ上流ノ澁谷川ノ方ノ東京府ガ執行シテ居リマス分ハ明年度デ出來上ルノデ、市ノ方ガ一年遅レル譯デスカ、上流ガ出來テサウシテ又下流ノ方ガ四分ノ一出來テ、其真中ノ所ガ出來ナイ、而モ天現寺附近ガイツモ一番氾濫ノヒドイ所デス、澁谷川ノ改修ガ出來レバ倍々トコニ水ガ集注致ス譯デアリマスカラ、何等カ是ハ御考慮ガアツテ、東京府ノ執行スル改修ト一緒ニ出來上ルヤウナコトニナレバ、非常ニ災害ヲ免レルコトニナリマス、是等ハ何カ東京市ノヤウナ大キナ世帯デ御ヤリニナルノデスカラ、何トカ一ツ救済ノ途ヲ御講ジ下サルコトハ御考慮ニアリマセヌデセウカ

○永井東京市河港課長 私カラ御答シマス、今計畫ノキマツテ居ル事ニ付テダケ私カラ申上ゲマス、只今御話ノ通り成ベク早クヤリタイト云フ考ハ私共トシテモ持ツテ居リマス、唯現在ノ豫算ハ、東京市ノ財政カ苦シイト云フ方面カラ、割合ニ永イ年限ニ仕上ゲルコトニナツテ居リマスガ、若シ東

京府ノ方ガ豫定ノ如ク一年早く出来上ルモノトシテ、ソレニ對シテ現在ノ東京市ノ定マツテ居ル豫算ニ對シテドウ云フ風ニ實際ヤツテ行クカト云フ方針ニ付キマシテハ、上流カラ來ル水ヲ吞ムコトヲ先ニシヨウ、ツマリ河幅ヲ擴ゲル事ヲ早クヤラウ、家ノ買收、取毀シヲ先ニヤツテ河ヲ擴ゲルコトヲ先ニシテ、護岸トカ或ハ底ヲ掘ルトカ云フ事ハ幾分後ニ延ビマシテモ、上流カラ來ル水ヲ吞ムハ豫定ノ深サマデ達シテ居リマセヌ、併シアノ程度マデ擴ガツテ居ルト普通ノ洪水ニハ氾濫スル事ハナイ積リデアリマス、現ニ先月ノ雨量ハ五、六月ニハ珍シイ雨量デアリマシタガ、三ノ橋カラ下流ハ被害ガナカツタノデアリマス、掘ルト云フ方ハ豫定計畫通り十分出来上ラナイデモ、先ヅ普通ノ洪水ハ吞ミ得ルト考ヘテ、私共局ニ當ツテ居ル者ハ進ンデ居リマス、是レ以外ノ事ハ私カラ一寸御答致シ兼ネマス

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 東京市ト致シマシテハ、之ガ完成ヲ一年間繰上ゲテ貫ヒタイト云フ地元ノ希望デ、最近ニモ數回陳情ガアリマシタガ、之ニ付テハ矢張東京市ノ今日ノ財政關係カラ相當ニ研究シナケレバナラスノデ、其點ハ地元ノ速成ノ希望ハ十分私モ聞キマシテ研究ハ致シテ居リマスガ、一年繰上ゲルカドウカト云フコトハ未ダ確定シテ居リマセヌ、現在ノ財政計畫デ行クトスレバ今河港課長カラ申上ゲタヤウニ、技術上ノ方面カラ行ツテ水ヲ吞ンデ行クト云フ方面ニ主トシ

テカヲ入レルヨリ、現在ノ狀況デハ致シ方ガナイノデアリマス

○中塚委員 此財政計畫ノ收入ニナツテ居ル土地賣拂代ノ七十二萬八千五百圓ト云フノハドウ云フ内容デアリマスカ

○永井東京市河港課長 ソレハ古川改修工事ニ伴ヒマシテ掘鑿シタ土砂ガ出テ來マス、其土砂ノ捨場ガ埋立地ニナリマスカラ、其埋立地ヲ賣ツタ豫定金額ヲ計上シテアリマス、其面積ハ四千八百五十六坪坪當リ約百五十圓ノ見込デアリマス

○中塚委員 是ハ何處ニ埋立地ガ出来テ居リマスカ

○永井東京市河港課長 是ハ芝離宮ノ丁度裏ニナツテ居リマス、竹芝町ト離宮ノ間ノ入堀ノヤウナ所ニナツテ居リマスガ、古川ノ下流ニナリマス

○中塚委員 私ハ東京市會ノ大正十四年ノ決議ト云フモノヲ能ク心得テ居リマセヌケレドモ、此七十二萬八千五百圓ト云フモノハ、此埋立地ノ賣上代金デアルカ、ソレトモ東京市有ノ他ノ地所デモ賣ツテ市ノ收入トシテ、是ハ代償トシテ市ノ財産ニスル、ツマリ此地所ハ賣ルト賣ラナイトニ關係シナイト云フコトニナツテ居リマスカ

○永井東京市河港課長 當初ノ計畫ハサウナツテ居リマス

○中塚委員 サウスルト若シ此地所ガモウ少シ高ク賣レルナラバ、此受者益負擔金ト云フモノハソレ

ダケ減ラシテ宜イ譯デスナ——之ヲ私ガ質問スルノハ、此七十一萬七千五百圓ト云フモノヲ、麻布十五箇町、芝ノ少シノ所、カナリ疲弊シテ居ル所デ負擔スルト云フコトハ、其當時ドウ云フ勢デ市會デ決議サレタカ知リマセヌケレドモ、現狀ニ於テ實ニ此負擔ニ堪ヘルカ堪ヘナイカハ心配デアリマス、ソレデ此地所ノ方デモ高ク賣レマシタラ、受益者ノ負擔ガ輕減サレルト云フ事ハ御考ノ中ニナイノデセウカ

○永井東京市河港課長 當初ノ市會ニ出タ當時ノ事情ハ私モ能ク存ジマセヌガ、今申上ゲタヤウナ計畫ニ決マツテ居リマスカラ、其決マツテ居ル受益者負擔金ヲ如何様ニカケテ行クノガ適當デアラウカト云フコトヲ、此會デ御決メ下サルコト、考ヘテ居リマス

○前田委員 受益者ノ負擔金百分ノ四十ヲ二ツニ分ケテ、其二十八ヲ第四條ノ規定ニ依ツテ課シ、十二ヲ第五條ニ依ツテ課スル、此御規定ノ精神ハ略々推測ガ出來ルノデアリマスガ、百分ノ四十トカ二十八トカ十二ト云フヤウナ數字ノ算出ニ何カ根據ガアリマスカ

○武部計畫課長 古川改修ニ要シマス全體ノ事業費ガ二百八十七萬圓デアリマシテ、其内護岸ニ要スル費用ガ約八十四萬圓、残りノ二百三萬圓バカリガ護岸以外ノ一般ノ事業費ニナルノデアリマスガ、其割合ガ大體ニ於テ三ト七ノ割合ニナツテ居リマス、其割合ニ依ツテ百分ノ四十ト云フモノヲ三ト七ノ割合ニ分ケマス、二十八ト十二ト云フコトニナルノデアリマス、斯ウ云フ根據カラ二十八ト

十二ニ分ケタノデアリマス。

○前田委員 百分ノ四十ト云フ方ノ根據ハ……、事實上ハ四分ノ一ホドニナルトカ云フ御話デシタガ……

○武部計畫課長 ソレハ財政計畫ノ方カラ考ヘマシテ、七十數萬圓ノ財源ヲ受益者負擔金ニ求ムルコトヲ必要ト致シマス、サウシマスドウシテモ百分ノ四十ト云フ數字ヲ立テナケレバナラヌノデアリマス、尤モ一面實際ノ受益ガドノ位アルカト云フコトガ問題ニナツテ來ルノデアリマスガ、ソレト比較致シマシテ百分ノ四十ハソレヲ超過致シマセヌ、寧ロズツト低イノデアリマスカラ、財源關係ト併セ考ヘマシテ百分ノ四十ガ適當デハナイカト云フ風ニ考ヘタノデアリマス

○前田委員 サウシマス主ニ市ノ財政ノ財源ノ可能性ノ方ガ主タル理由ノヤウデスガ、先例其他參考ニナルモノハアリマセヌカ

○武部計畫課長 運河ノ受益者負擔ノ例ハ甚ダ少イノデ、先達テ都市計畫委員會デ御可決ニナリマシタ目黒川ノ受益者負擔ハ是ヨリ少イノデアリマシテ百分ノ二十五デアリマス、其外名古屋ノ中川ノ運河ノ例ガアリマス、ソレハ是ト同様ニ百分ノ四十二ナツテ居リマス、ソレ以外ニハ今ノ所運河ニ付テハマダ受益者負擔ノ例ハゴザイマセヌ

○太田委員 第二條ニ河幅ニ對シテ三十間ト云フ事ガアリマスガ、是ハ目黒川ノ時ニモ大分負擔區域

ニ付テ議論ガアツタノデアリマスガ、私共ハ成ルベク多數ノ人が輕イ負擔ヲシタ方が宜イト云フ考
ノ立テ前カライツモ議論ヲシテ居リマスガ、此ノ河幅ニ對シテ三十間以内トシタノハ何カ理由ガア
リマスカ

○武部計畫課長 目黒川ノ時ニハ當局ノ原案ガ三倍ニナツテ居リマシタノヲ、五倍ニ修正サレテ決定
ニナリマシタ、是ハ河幅ガ八間デアリマスカラ、三十間ト申シマスト四倍ニ一寸足りナイ位デアリ
マス、實際ノ模様カラ申シマスト浸水區域ガ、此圖面デ御覽ヲ願ヒマス(圖面ニ就キ説明)中央
ノ白線ガ今度ノ改修計畫ノ八間ノ幅デアリマシテ此ノ赤ク塗ツテアリマスノガ大體毎年水ノ出ルヤ
ウナ區域デアリマス、其外少シ大キイ水ガアリマスト尙ホ外ノ方マデ水ガ來マスガ、大體三十間ヲ
標準ニ致シマスレバ、普通ノ浸水區域ヲ「カヴァー」出來ルト云フヤウニ考ヘテ三十間ニ致シタノ
デアリマス、尤モ場所ニ依リマシテ浸水區域ガソレヨリ廣イ所モアリマスシ、狭イ所モアルノデア
リマス、ソレハ又別ニ例外的ノ規定ニ依ツテ斟酌増減ガ出來ルヤウニナツテ居リマス、大體三十間
ガ平均シテ適當ダト考ヘテ居ルノデアリマス

○太田委員 大體三十間ハ水害區域ヲ基本トシタノデセウガ、併シ此水害ノ區域ノ外ニ、マダ接續シ
テ居ル地域ニ色々ナ利益ヲ受ケル方面ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、若シサウスレバ或ハ此間
ノ目黒川ノ例ノヤウニ、此川モ多少負擔區域ヲ擴張シテモ差支ナイカト云フヤウナ考ガアリマスガ

ソレニ對スル御考ハドウデスカ

○武部計畫課長 目黒川ノ方ハ主ニ運河トシテノ用ニ供スル部分ガ非常ニ多イノデアリマスガ、此古
川ノ方ハ、三ノ橋マデガ幾ラカ舟楫ノ便ガ開ケルヤウニナリマスガ、目黒川ニ比ベルト餘程趣ヲ異
ニシテ居リマス、浸水區域ノ方カラ言ツテモアレ程ニ幅ガ廣クアリマセヌ、又運河ノ舟楫ト云フ方
面カラ申シマシテモ稍、事情ヲ異ニシ、殊ニ目黒川ノ方ハ幾ラカ工業的ノ色彩ノアル所モアリマス
ガ、其意味デモ古川ノ方ハ範圍ガ狭イノデハナイカト思ヒマス

○太田委員 運河トシテノ便利ヲ受ケル所ハドノ邊マデノ區域デスカ

○武部計畫課長 三ノ橋マデノ區域デアリマス、尤モ幅員ハ同ジク全部八間ニナリマス

○永井東京市河港課長 舟楫ノ便ト申シマシテモドウカ斯ウカ舟ガ行キ得ルト云フ位デアリマシテ、
全ク氾濫ヲ防グト云フ目的ノ爲ニ改修サレテ居ルノデアリマスカラ、運河ト云フホドノモノニハナ
ラナイノデアリマス

○太田委員 私ハ常ニ東京市ニ於テ利水ト云フ事ヲ考ヘナイデ、川ノ水ヲ治メルト云フ所謂治水ニノ
ミ重キヲ置カレテ居ルト云フコトヲ、イツモ遺憾ニ考ヘテ居リマス、等シク八間ノ運河ガ出來ルト
シタナラバ、河底ヲモウ少シ深クシテ、水ヲ利用シテ舟ヲモウ少シ上流マデ上レルヤウニスルト云
フ事ニシタラ、費用ハ多少掛ツテモ、ソレガ爲ニ兩岸ノ商工業者ガ利益ヲ得ルコトガ多イダラウト

思ヒマスガ、併シサウ云フ設計ヲスルト餘程ノ費用ガ掛ル爲ニ其事ガ出來ナイノデスカ、又此川ハサウ云フ必要ガナイト云フヤウナ御考デスカ

○永井東京市河港課長 全ク御意見ノ通り御同感デアリマスケレドモ、此川ノ歴史ヲ考ヘテ見マスト一ノ橋カラ下流ノ方ハ前カラ東京市ノ所屬デアリマシテ、其上流ノ方ノ今度改修致シマス方面ハ、明治四十五年頃ニ東京府ノ方カラ市ノ方ニ移ツテ來タノデアリマス、前ニ一ノ橋カラ下流ヲ幅八間、現在ノ勾配デ改修シテアルモノデアリマスカラ、ソレニ取付ケル爲ニハドウシテモ餘リ深ク上流ヲ掘ル譯ニイカヌノデアリマシテ、下ノ方ヲ更ニ改修シナホス時機ガ來ナイト一寸出來兼ネルノデアリマス、當時ドウカスウカ舟ガ通ルト云フノハ一ノ橋迄デアリマシタガ、之ヲ段々切下ゲマス結果三ノ橋マデドウカスウカ舟ガ行ケルト云フ位ノ程度デアリマス、更ニ上流マデ舟ヲ通スヤウニ深ク掘ル爲ニハ、ソレニ伴ウテ下流ノ方ヲ全部改修シナケレバナラスノデアリマス、將來矢張り護岸ノ根ヲ繼グナリ何カシテヤレバ出來得ル時機ガ來ラウト思ヒマス

○太田委員 廣瀬サンドウデスカ、此川ヲモウ少シ舟楫ノ便利ヲ圖ルヤウナ方法ヲ御考ヘニナルト云フ思召ハアリマセヌカ、八間ノ幅ガアレバ相當ノ舟ガ通ル、ソコニ舟ニ依ツテ荷物ノ積卸シガ出來ルト云フコトニナレバ非常ナ利益ガアル、唯雨ガ降ツタ時ニ水害ヲ防グト云フ方面バカリ考ヘナイデ、所謂經濟的方面ニモウ少シ發展ヲ圖ルト云フ御考ハアリマセヌカ

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 サウ云フ事ニナレバ結構ハ結構デスガ、金モ非常ニ掛リマスシ、チヨット難カシイト思ヒマス、併シ此近邊ハ本所、深川方面トハ餘程又事情ガ違ヒマシテ、工場ナドノ關係ナドモ少イ所デス、小サイモノハアリマスケレドモ……

○中塚委員 朝倉サンニ一寸御尋シタイノデスガ、澁谷町ノ方ハ明年度ニ完成スルトカ云フ御話デスカ、ソレハ受益者負擔ナドハドウ云フ事ニナツテ居リマスカ

○朝倉委員 澁谷町ノ方ハ矢張り東京府ガ施行サレマスノデ、此規定ガ出來レバ之ガ一ツノ標準ニナル事ニナルノデハナイカト思ヒマス、ソレデ私モ矢張り太田サンノヤウナ考ヲ持ツテ居リマス、目黒川ノ方ハ四分ノ一デサウシテ河幅ノ五倍、此方ハ幅ガ狭クテ歩合ガ多イノデスカラ、一坪當リノ金額ト云フモノハ相當大キクナリハシナイカト思ヒマス、サウ云フ事ニナルト徴税ノ上カラモ非常ニ困難ナ結果ヲ生ジヤシナイカト思ヒマス、併シ東京市ノ方デナサル事業ニ私共郡部ノ方カラ餘リ申上ゲテモ差出ガマシイト思ツテ差控ヘマシタガ、之ガ標準ニナツテ澁谷川ノ方ニモ及ブ譯デアリマスカラ、後デ私ハ矢張り一ツ太田サンノヤウナ御意見ガアレバ、是非サウ云フ方法ヲ考究シテ戴キタイト思ツテ居リマス

○中塚委員 サウスルト東京府ハ現在ノ財政計畫デハ斯ウ云フモノナシニ、仕事ヲ始メテ居ルノデスカ

○朝倉委員 サウデス

○中塚委員 第九條ニ依リマス、第四條第五條ノ坪當リノ金額ハ市長ガ之ヲ告示スルコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、凡ソ坪當リガドンナ風ニナルカト云フ御計算ハアルモノデセウカ、參考ニ伺ヒタイ

○武部計畫課長 全體ノ坪數ガ八萬五千四百十二坪アリマス、其内デ受益者負擔金ヲ實際ニカケラレマス有租地ト云フモノガ五萬三千九百四十一坪、残りガ無租地デ三萬千四百七十一坪トナリマス、此ノ事業費總額ヲ總面積ノ八萬餘坪デ除シマス全體ノ一坪當リ平均額ガ出ル譯デアリマスガ、其金額ハ、百分ノ二十八ト十二ノ分ヲ區別シテ申上ゲマス、事業費總額ノ百分ノ二十八ト云フノガ約七十八萬圓ニナリマス、サウスルト其一坪當リガ九圓十七錢ニナリマス、ソレカラ所謂護岸負擔ト稱スル百分ノ十二ノ方ガ、約三十三萬五千圓バカリニナリマス、ソレヲ一坪當リニシマス約二十二圓五十錢、是ハ六間幅ノ部分ダケニカケル護岸ノ費用デアリマス、デアリマスカラ六間幅ノ所ハ一般負擔ト護岸負擔ト兩方カカルコトニナリマス、其方ノ平均ハ約三十一圓六十七錢程ニナリマス、之ヲ二十回ニ均分シテ十年間ニ納メサセル譯デアリマス

○朝倉委員 是ハ橋梁ノ費用ハ工費ノ中カラ除イテアリマスカ

○永井東京市河港課長 橋梁費ハ含ンデ居リマス、總事業費ノ四分ノ一ガ受益者負擔金ニナリマス

○武部計畫課長 是ハ目黒川ト違ヒマシテサウ大キイ橋ハアリマセヌ、道路ノ方デヤルコトニナツテ居リマス分ハ含ミマセヌ

○中塚委員 是ガ東京市ニ於テハ河川改修ノ受益者負擔ノ最初ノ例デスナ——サウスルト三十間トカ六間トカ云フ區域ノ事ニ付テハ前例ニモナルコトト思ヒマスガ、誰方カ御尋ガアリマシタカ、一寸私中座シテ居リマシタガ……

○渡邊委員長 三十間ノ方ニ付テハ今太田サンカラ御尋ガアリマシテ、大體ソレハ水害區域ヲ標準ニシタト云フ御答ガアリマシタ

○武部計畫課長 別ニ此川ガ先例ニナルトモ考ヘラレマセヌ、幅ヲ何間ニスルカト云フヤウナ事ハ矢張り其川ノ性質、其周圍ノ狀況ニ依ツテ違ヒマスノデ、此川ガ三十間ニナツタカラ此次ノモ三十間デナケレバナラヌト云フヤウナ事ハ全然考ヘラレナイト思ヒマス

○渡邊委員長 御質問ハ大體宜シウゴザイマスカー——ソレデハ御意見ヲ御交換願フ前ニ一寸御參考ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、今朝開會前ニ此古川改修ニ關係スル地方ノ方ガ陳情ニ見エマシタ私會ツテ置キマシタ、二組見エマシテ、一方ハ區會ノ代表者七、八名、一方ハ一般區民代表ト云フ意味デ、市會議員ノ八太氏ガ先達ニナツテ見エマシタ、兩者ノ主張ハ大體同ジデアリマス、簡單ニ申上ゲマス、區會ノ方デハ負擔ノ歩合ガ高過ギル、百分ノ四十ト云フ金額デアレバ百萬圓位ニナ

ルノデハナイカト思フガ、ソレハ到底古川沿岸ノ住民ノ實力カラ負擔シキレナイ、歩合トシテモ他ノ例カラ見テモ多イヤウニ思フト云フ趣旨デ、負擔歩合ヲウント輕クシテ呉レト云フ趣旨ノ陳情デアリマシタ、理由トシテハ古川ノ改修ハ運河ノヤウニ積極的ノ利益デナクシテ、水害ヲ防止スルト云フ消極的ノ利益デアル、而モ此水害モ大正七、八年頃カラ他ノ地方ノ發展ニ依ツテ起ツテ來タノデ、他所ノ事情ノ爲ニ沿岸ノ者ガ困難ヲ感ズルノデアルカラ、ソレヲ改修シテ貫ツテモ消極的ノ利益ニ過ギナイト云フヤウナ一方ノ陳情デアリマシタ、ソレカラ一般區民トシテ陳情ニ見エタ方ハ、是ハ元來ノ主張ハモウ少シ強イノダサウデアリマス、今日ハ非常ニ穩カニ言フノダガ、吾々ノ方ノ意氣込ハ中々強イトカ言ツテ居ラレマシタ、ソレハ今申シタヤウニ特別ノ利益ヲ受ケルト云フノデナクシテ、他ノ方面カラノ事情デ斯ウ云フ損害ヲ受ケルノガ、ソレガ救済ナレルト云フ問題ニ過ギナイカラ、年々損害ヲ被ツテ居ル事實等ヲ返返ツテ考ヘテ見ルト、寧ロ負擔ドコロノ騒ギデハナイト云フ風ナ事ヲ言ツテ居リマシタ、デアルカラ此方ハ負擔ヲ無クシテ呉レト云フ議論ノヤウデス、兩方ノ趣旨デ陳情ガアリマシタガ、併シ之ニ對シテ區會ノ方ハ、今強チ自分達ガ全然負擔ヲシナイト云フ事モ言ヒニクイト思フガ、兎モ角緩和シテ貫ヒタイ、デスカラ一方ハ結局緩和シテ呉レ、一方ハ全然負擔ヲ無クシテ呉レト云フ陳情ガアリマシタ、御取次ヲシテ置キマス——ソレデハ御意見ヲ御發表ヲ願ヒマス、是ハ逐條ニ致シマセウカ

○太田委員 此程度ニ止メテ實地視察ヲシタラ如何カト思ヒマスガ……

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 ドウデセウカ、新シイ御方モアル譯デスカラ、實際ノ負擔ハ斯ウ云フ工合ニナルモノダト云フコトヲ、四條、五條アタリニ付テモウ少シ説明ヲスルヤウニ、懇談會ニシテ戴イテ、新シイ方トカ特ニ研究シタイト云フ方ニ、モウ少シ條文ニ依ツテヤツテ行ツタラドウカト思ヒマスガ……

○中塚委員 賛成デス

○太田委員 モウ少シ條文ニ付テ御説明ニナツタラドウデスカ

○渡邊委員長 ソレデハ會議ハ是デ中止致シマシテ、懇談會ニ移リマス

〔此間懇談會〕

○渡邊委員長 今日ハ此程度ニ會議ヲ止メマシテ、來ル十七日月曜日ノ午前十時カラ現場ヲ視察スルコトニ致シマス、十時迄ニ復興局ヘ御集リヲ願ヒマス、是デ閉會致シマス

午後零時十分閉會

古川改修事業及
道路新設擴張事業
受益者負擔ノ件第一回實地視察

昭和四年六月十七日(月曜日)午前十時復興局集合

出張者氏名

委員長

委員

從四位勳四等	渡邊鐵藏君
內務書記官	平田紀一君
東京市會議員	古島宮次郎君
東京府知事平塚廣義君代 理東京府書記官	菊池慎三君
東京府會議員	朝倉虎治郎君
東京市會議員	新甫寬實君
東京市會議員	中塚榮次郎君
東京市長堀切善次郎君代 理東京市局長	近新三郎君
正五位勳四等	前田多門君

幹事

復興局書記官 武部六藏君
正六位勳六等 西村輝一君

視察箇所

午前十時半 復興局出發

- 1 三ノ橋附近
 - 2 古川橋附近
 - 3 青山橋附近
 - 4 天現寺橋附近
 - 5 一ノ橋附近
- 正午 解散

古川改修事業及
道路新設擴張事業
受益者負擔ノ件第二回特別委員會議事速記録

昭和四年六月二十五日(火曜日)復興局會議室ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

從四位勳四等 渡邊鐵藏君

委員

貴族院議員 永田秀次郎君
 內務書記官平田紀一君代
 理內務事務官 大村清一君
 東京市會議員 古島宮次郎君
 內務次官 潮惠之輔君
 東京府知事 平塚廣義君
 東京市會議員 新甫寬實君
 東京市會議員 中塚榮次郎君

幹事

職員

東京市長堀切善次郎君代	廣瀬久忠君
内務省地方局長佐上信一君代理	岡田周造君
内務書記官	太田信治郎君
衆議院議員	前田多門君
正五位勳四等	
正六位勳六等	西村輝一君
復興局事務官	片野道藏君
經理部長	赤木朝治君

議事

午前十時五十分開議

○渡邊委員長 是カラ開會致シマス、此前ニ前田委員カラ、古川改修ノ沿革ニ付テ參考ノ爲ニ何カ話

ヲ聞キタイト云フ御話ガアリマシタガ、其ノ御話ヲ願ツタラドウカト思ヒマス

○西村幹事 私カラ極ク概略申上ゲマシテ、尙ホ詳シイ事ハ、市ノ御當局ノ方カラ御話ヲ願フコトニ致シマス、古川改修計畫ハ震災前カラ都市計畫事業ニ編入スルト云フコトニ付キマシテ、東京市カラ申出ノアツタコトデアリマスガ、震災前ニハ決定ノ運ビニ至リマセヌデシタ、震災後帝都復興ニ關スル意見書ト云フモノガ、市會議長カラ、内閣總理大臣、内務大臣、大藏大臣、帝都復興院總裁ニ宛テ、出タコトガアリマシタガ、其中ニ古川改修ヲ帝都復興事業ニ加ヘテ貫ヒタイト云フコトモ書イテアリマシタ、尙ホ少シク前後致シマスケレドモ、大正十年十二月ニ東京市會ニ於キマシテ村松恒一郎、河合榮三郎外四名ヨリ、古川筋改修ニ關スル質問主意書ヲ出シマシテ質問サレタコトガアリマシタ、色々古川沿岸ノ水災ノ爲ニ困ツテ居ル事情、昔河幅ガ廣カッタケレドモ、或ル人々ノ爲ニ河身整理ト稱シテ埋立ヲ實行サレタ、ソレデ河幅ガ非常ニ狹マツタト云フヤウナ關係ヲ述ベマシテ、改修計畫ノ促進ニ付テ當局ノ意見ヲ聽カレタコトガアリマシタ、之ニ對シテ當時ノ番外ノ丹羽氏ガ答辯サレテ居リマスガ、是モ只今都市計畫事業トシテ執行スルコトニソレノ手續中デアルト云フヤウナ要旨ノ御答辯ガアリマシタ、ソレカラ只今御手許ニ配付致シマシタノハ、明治四十一年頃カラ大正十三年ニ亘リマシテ約九回位ニナリマスガ、請願書ヤ意見書ノヤウナモノヲ纏メテ印刷シテ差上ゲタノデアリマス、之ヲ見マスト其趣旨ハ大同小異デアリマシテ、古川沿岸ノ困ツテ

居ルコトヲ書イテアリマスガ、此中ノ芝、麻布、赤坂三區會議長連署トシテ、明治四十四年十二月東京市長宛ニ出シマシタ河川竝下水改良ニ關スル意見書ト云フモノ、中ノ一節ニ斯ウ云フ事ガアリマス「偶々同川沿岸ノ地主ニ於テ川幅ヲ擴ムル際其所有土地ヲ寄附セントスル内意アリト聞ク果シテ然リトセバ本市ハ其ノ寄附ヲ受ケテ幅員ヲ擴メ河底ヲ浚渫シタル土砂ト併セテ兩岸ノ地盤ヲ改善セバ其ノ工事難キニアラザルモノト思料ス云々」トアリマス、是ハ沿岸ノ地主ニ於テ費用ノ一部ヲ負擔シテモ宜シイト云フヤウナ相當ノ覺悟ガアツタト云フコトガ窺ハレルノデアリマス、是ダケ申上ゲマシテ尙ホ詳シイ事ハ市ノ當局カラ御質問ニ依ツテ申上ゲルコト、致シマス、ソレカラ此前同ニ地主ノ數トカ戸數等ニ付テ御質問ガアリマシタガ、概略取調ベテ置キマシタカラ申上ゲマス、地主ノ數ハ百五十三名デアリマス、内護岸地帯即チ河川ノ境界カラ六間ノ區域ノ地帯ニ於テ二十一名アリマス、家屋ノ棟數ガ千二百四十六棟、戸數ハ麻布區デ千四百六十三戸、芝區デ六百三十二戸、合計二千九十五戸デアリマス、ソレカラ序デニ澤山ノ土地ヲ持ツテ居ル地主ヲ二、三名御參考マデニ申上ゲマス、約五千五百五十坪ガ青山八郎右衛門ト云フ人、約四千七百坪ガ北村鐵五郎、二千九百坪ガ大森矯次、マダ他ニモアリマスガ、一番大地主ト認ムベキモノハ此三名デアリマス、大體是ダケ申上ゲマス

○中塚委員 今配付サレタ陳情書ニ、會長村松恒一郎、委員長櫻内辰郎ト云フノダケガ年月日ガアリマセヌガ、是ハイツ頃デスカ

○西村幹事 ソレハ大正十三年十一月デアリマス

○中塚委員 前ニ東京市デ二ノ橋ニ「メガネ橋」ト云フノヲ架ケタ時ニ、ドノ位金ガ掛ツテ居リマスカ

○永井東京市河港課長 橋梁ダケノ費用ハ一寸分リ兼ネマスガ、二ノ橋上下流間ヲ併セマシラ六萬三千六百四十六圓ト云フコトニナツテ居リマス

○中塚委員 此時ニ麻布、芝ノ人々ハ、其計畫ニ依ツテ水ガ氾濫スルカラ困ルト云フ事ヲ市ノ當局ニ向ツテ陳情書ヲ出シテアリマスガ、詰リ水ガ出タ時ニ家ナドガ壞レテアノ小サイ「メガネ」ニ引懸ツテ、ソレカラ水ガ通ラナクナツテ氾濫スルヤウニナツタト思ヒマスガ……

○永井東京市河港課長 御承知ノ通り「メガネ」橋デアリマス、水ノ通ル所ガ決マツテ居リマスシ、ソコニ上流カラ家ノヤウナモノガ來マスト丁度水ヲ塞グコトニナリマス、自然ソレガ爲ニ、一般ノ改修ガ出來テ居リマセヌノデ、ソコダケ幅ガ廣クナリマシテモ、上流ノ方ニ水ガ溢レルヤウニナリマス、ソレガ爲ニ除イテ貫ハスト困ルト云フ陳情ガアツテ除イタト思ヒマス

○中塚委員 此青山八郎右衛門ト云フ人ハ大變金儲ケヲシテ居リマスガ、此人ノ負擔額ハ、此原案ノ通り通過スルナラバ大凡ドレ位ニナリマスカ

○萱場東京市收納課長 第一地帯ニ於ケル土地所有者トシテ九萬千四百四十一圓ノ負擔ニナリマス、其他第二地帯、第三地帯ニ於テ借地權等ヲ有スルガ故ニ負擔スルト云フ分ハ、今調査ガ出來テ居リマセヌ

○中塚委員 參考ノ爲ニ伺ツテ置キマスガ、青山八郎右衛門ガ彼ノ土地ヲ拂下ヲ出願シタ時ニ、八間幅ヨリハ埋メナイト云フコトデ許可シタト云フコトデアル、ソレヲ三間位マデ埋メテシマツテ其地所ヲ賣ツタト云フヤウニ聞イテ居リマスガ、サウ云フ事實ガアツタノデスカ

○永井東京市河港課長 極クハツキリシタ坪數ヲドウ云フ工合ニ賣ツタカト云フコトハ分リマセヌガ明治二十四年頃カラ青山八郎右衛門外二名ガ東京府ニ願出テ、一ノ橋カラ天現寺橋ノ間ノ改修ヲ出願シタ譯デアリマス、其邊ノ事情ハ比較的陳情書ニ方々ニ散見シテ居リマス、ソレガ途中デ段々設計變更ノヤウナ事ガアツテ、漸ク豫定ノ如ク出來上ツタト稱スルノハ明治四十五年ノヤウデアリマス、ソレヲ出來上ツタ後ニ、從來東京府ノ管理デアリマシタモノヲ、明治四十五年七月三日ニ東京市ノ方ニ、一ノ橋上流ヲ引繼イダコトニナツテ居リマス、當初其改修ヲ出願シタ計畫ハ、四間乃至八間ノ幅ニスル、斯ウ云フコトデ出願シテアルヤウデアリマス、實際出來上リマシタノハ其通りニハ行ツテ居ナカツタ、斯ウ云フ事實ノヤウデアリマス

○古島委員 此青山八郎右衛門ト云フ人ガ東京府ニ出願シテ拂下ゲマシタ時分ノ臺帳面積ノ坪數其他

其拂下當時ノ價格ト云フモノハ御調ガアリマセウカ

○永井東京市河港課長 ソレガ舊イ事デ能ク分リマセヌ、唯明治二十四年二月五日ニ北村鐵五郎、青山八郎右衛門、高島嘉右衛門ノ三名カラ東京府知事宛ニ、一ノ橋カラ天現寺橋ノ間ノ河川ノ整理ヲシタイト云フ出願ガアツタト云フコトデアリマス、其當時ノ坪數ハ分リ兼ネマス

○古島委員 ソレガ只今中塚君ノ御尋ネニナツタ問題ニ絡ンデ居ヤシナイカト考ヘル、其ノ時ニ八間ナラ八間ノ河幅ハ殘シテ置カナケレバナラヌト云フコトニ依ツテ拂下ゲタモノヲ、段々ニ埋メテ行ツテ川ヲ狭クシテ、ソレガ爲ニ今日ノ水害ヲ及ボスヤウニナツテ來タ、更ニ今度ノ計畫ノ護岸ニ依ツテ其通水ヲ完全ナラシムルト云フコトニナレバ、ソコニ地坪ヲ——何ト言フカ、只デ貫ツタヤウナ事ニナツタモノガアリハセヌカト思フ、ソレ等ノ坪數ガアルトスレバ、之ニ對シテハ相當ナル負擔ヲ課シテモ宜イデハナイカト思ヒマスガ、其邊ノ事ヲ御調べニナル方法ハナイデアリマセウカ

○太田委員 ソレハ當時ノ記録ヲ調べレバ分ルデセウ

○中塚委員 此受益者負擔金七十一萬餘圓ニ對シテ、麻布、芝ノ人々ハ其負擔ニ堪ヘナイト言ツテ度々會合ヲシタリ陳情ヲシタリ、カナリ民衆的ノ運動ヲシテ居リマスガ、實際此負擔額ハ多イヤウニ思ヒマスガ、若シ此負擔ヲ減ラスヤウナ事ニナルト、他ニ財源モナイヤウニ見エマスガ、殊ニ國庫補助金ノ九十五萬圓モ貫ヘナイヤウナ譯デアリマスト、何カ茲ニ財源ヲ捻出スル方法ハナイモノデ

○萱場東京市收納課長 今日考へテ居リマス所デハ、之ニ代ル適當ノ財源ヲ直ニ得ルト云フコトハ難カシイト思ヒマス、デアリマスカラ前回ニモ申上ゲマシタ通り、國庫補助金ノ豫定通り得ラレナイ部分ハ餘儀ナク一般市民ノ負擔ニ變ルコトニナルヨリ外、仕方ガナイト考へテ居リマス

○太田委員 此工費ノ中約八十萬圓ガ護岸工費ノヤウデアリマス、其護岸ノ延長ハ芝區デ何間、麻布區デ何間ト云フコトガ御分リニナリマスカ

○永井東京市河港課長 數字ヲ分ケテノ調査ハ一寸アリマセヌガ、總延長ハ二千四百八十八間ニナツテ居リマス

○太田委員 現在ノ豫算デ此工費ハ間口當リドノ位ニナリマスカ

○永井東京市河港課長 護岸工事ニ關スル費用ヲ延長ニ割ルト約三百五十圓程ニナリマス

○太田委員 其ノ中ニ地主ノ負擔スルモノガドノ位アリマスカ

○永井東京市河港課長 三百五十圓ニ對シテ約三分ノ一弱、百二十圓バカリヲ地主ガ負擔スルコトニナリマス

○太田委員 此上流ノ東京府ニ屬シテ居ル部分ニ對シテハ工事設計ガ出來テ居ルノデアリマスカ、若シ出來テ居ルトスレバドノ位ノ工費ヲ要スルコトニナツテ居リマスカ、其東京府ニ屬スル工費ノ負

擔方法ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○西村幹事 東京府ノ方ノ事業ハ古川ト同ジヤウニ決定シテ既ニ着手シテ居リマス、其一部ハ矢張り受益者負擔ニ依ツテ一部ノ財源ヲ見出シタイト云フ東京府ノ方ノ御意見ハアルサウデアリマスガ、マダ公ニ其申請ガ出テ居リマセヌ、此事業ノ計畫ノ決定當時ニ於キマシテハ受益者負擔ニ依ルカドウカト云フ事ハ尙ホ東京府モ御考慮中デアツタ、併シ今日デハ取りタイト云フコトハ稍、確實ニナツテ居リマス、其ノ規定ヲ如何ニシマスカ、或ハ歩合ヲドノ位ニスルカト云フコトハマダ決定シテ居リマセヌ

○太田委員 既ニ一部着手ニナツテ居ルトスレバ、ソレニ對シテ大凡ドレ位金ガ要ル、其財源ハドウスルト云フ御腹案ガアリマセウ、ソレヲ御示シテ願ヘレバ大變結構デスガ……

○西村幹事 費用ハ約百十五萬圓、其財源ハ都市計畫法ニ依リマス特別稅デ六十四萬圓バカリ、其他五十萬圓餘ハ起債ト云フコトニナツテ居リマス、是ガ計畫當時ノ財源デアリマス、其折ニ目黒川及古川ト同様、事業費ノ四分ノ一位ヲ受益者負擔トシテ取りタイト云フコトニ付テ考慮中デアルト云フヤウナ御申出ガアリマシタ、其位ノ程度デアリマシテ、果シテ四分ノ一ト云フコトニ立案サレテ來マスカ、知事ノ内申ヲ俟ツテ復興局ノ方デハ相當證議ヲシタイト思ツテ居リマス、ソレ以上ニハ今ノ所進展シテ居リマセヌ

○太田委員 モウ一ツ伺ヒタイ、一體此古川ノ改修工事ニハ護岸工事が多數含マレテ居ル、其護岸工事ノ施設ヲ受ケル所ハ多ク私有地ニ屬シテ居ル、此私有地ニ對スル護岸工事ト云フモノハ、將來河川ノ改修ト密接ナル關係ヲ持ツテ居ル、將來東京全市ノ河川ニ對シテ、護岸工事ノ方針ハドウ云フ風ニ御考ヘニナリマスカ、將來私有地ニ接續シテ居ル護岸工事ハ、地主ニ何分ノ一ヲ分擔サセルト云フ御方針デアリマスカ、或ハ又地主ガ最モ利益ヲ餘計受ケル譯デアルカラ、地主ガ全額ヲ負擔スル方針デ御進ミニナリマスカ、是ハ芝區、麻布區バカリノ問題デナク、東京全市ニ將來影響ヲ及ボス問題ダト思ヒマス、此點ニ付テ若シ將來起ル護岸工事ノ費用ハ地主ニ一部ヲ負擔サセテ、東京市ガ或ル部分ヲ負擔スルト云フ御方針ナラバ、ソレモ亦一ツノ方法トシテ考ヘナケレバナラヌ、甲ノ場所ハ地主ガ負擔シ、乙ノ場所ハ市ガ大部分負擔スルト云フコトニナルト、等シク東京市民デ居リナガラ頗ル不公平ノモノガ出來ヤシナイカト考ヘマスガ、將來ドウ云フ風ニ御考ヘニナリマスカ、一應伺ツテ置キタイ

○西村幹事 將來ノ方針ニ付キマシテハ私カラ申上ゲ兼ネマスガ、併シ著シイ例ヲ申上ゲヨウト思ヒマス、著シイ例ト云フノハ江戸川デアリマス、江戸川ヲ改修シマシタノハ大分前ノコトデアリマスケレドモ、其護岸ハ市ノ方デ全部負擔ヲシテ、サウシテ沿岸地主ニ所有權ヲ與レテシマツタ、詰リ護岸敷ノ大部分ハ私有地ノ上ニアルコトニナツテ居リマス、ソレカラ古川ノ分ハ矢張り市ノ方ノ御考デハ、間口三百六十圓位掛ル護岸ヲ築キマシテ、ソレガ又大部分私有地ノ上ニアル、サウシテ出來上リマシタナラバ其所有權ヲ地主ニ與レテシマフ、斯ウ云フ計畫ニナツテ居リマス、護岸敷トシテハ買收ハ全然ナイコトニナツテ居ル、地主ノ方カラ申シマス、間口ニ付テ百二十圓位ノ負擔ヲシテ、サウシテ三百六十圓位掛ル護岸ヲ、其土地ト一體ヲ成シテ所有權ヲ獲得スルコトニナツテ居リマス、尤モ六間迄ノ區域ニ筆ガ切レテ居ツタリスルトサウ云フ譯ニ行キマセヌガ、一筆ト見テサウ云フ風ニナリマス、其他ノ河川ニ付テノ方針ハ私カラ申上ゲ兼ネマス、東京市ノ助役モ居ラレマスカラ……

○太田委員 モウ少シ伺ツテカラ助役サンノ御答辯ヲ得タイト思ヒマスガ、今ノ江戸川ノ改修當時ハ護岸敷ノ一部ガ地主ノ私有デアツタ、私有ノ土地ニ護岸ヲ建設シテ、尙且ツ其護岸ノ外ニ多少出テ居ル所ノ私有地ハ今日河川敷ニナツテシマツテ居ル、サウ記憶シテ居リマス、ソレカラ今度ノ古川ノ沿岸ニ於ケル護岸敷ハ、私有地ト河川トノ境界ノ所ニ護岸ヲ築クノデアリマスカ、私有地ヲ削ツテ私有地ノ内ニ護岸ヲ建設スルノデスカ、若シ私有地ノ内ニ護岸ヲ建設スルコトニナルト、護岸カラ外ニ飛出シタ所ハ地主ハ無償提供シナケレバナラヌコトニナル、ドウ云フコトニナリマスカ

○永井東京市河港課長 東京市ノ護岸ノ取扱ハ斯ウ云フ工合ニナツテ居リマス、市ガ有ツテ居ル土地若クハ公共用ニ使ハレテ居ル道路ニ沿ウテ居ルヤウナ護岸デアラナラバ、是ハ市費ヲ以テヤル、私

有地ニ沿ウテ居ル護岸デアラナラバ大體ニ於テハ個人ガソレヲ拵ヘルト云フノガ從來ノ習慣ニナツテ居リマス、ソレデ今古川ノ場合ハドウナルカト云フト、河川敷ガ敷地ノ境ニナリマスカラ、ソレカラ内側ノ方ノ宅地ノ内ニ入ツテ居ル方ハ、其護岸ナルモノハ個人ノ土地ヲ侵シテ居ルヤウナ形ニナリマス、又天端カラ川ノ敷地ヲ侵シテ居ル方ハ川ヲ侵シテ居ルヤウナ形ニナツテ居リマス、併シ先程申上ゲマシタヤウニ、私有地ニ沿ウテ居ル場合ニハ護岸其モノヲ個人ノ所有ト認メテ居ルノハ東京市ノ護岸ノ取扱方デアリマスカラ、自然其個人ノ有ツテ居ル護岸ガ河川敷ヲ幾分侵シテ居ル形ニナリマス、ソレハ個人ノモノデアリマスケレドモ、河川法ニ依ツテ市ハ之ヲ河川ノ附屬物ト認定スルコトニ大體ノ方針ヲ定メテ居リマス、デアリマスカラ個人ハ勝手ニ其ノ護岸ヲ取毀ストカ何トカスルコトハ出來ナイコトニナツテ居リマス

○太田委員 ソコデ助役サンニ伺ヒタイト思フノハ、私有地ガ公道ニ面シテ居ル河川ニ接續シテ居ル所ナラバ、其公道ニ沿ウテ居ル所ハ市費ヲ以テ護岸ヲ築ク、全然個人ノ利益ヲ得テ居ル所ノ護岸ハ私費ヲ以テスルト云フ原則ガアルトスルト、古川ノ分ダケハ特ニ私有地ノ護岸デアル、若シ東京市ガ護岸ヲ築イテ呉レナケレバ其處ハ崩レテシマフ、何間カ引込メナケレバ家ヲ建テルコトガ出來ナイ、ソコニ鐵筋「コンクリート」ノ護岸ガ出來ル爲ニ其利益ヲ受ケルコトハ非常ナモノデアル、若シ東京市ガシナイデモ個人ハシナケレバナラヌト云フ立場ニ在ルト思フノデアリマス、併シ一面河川ト云フモノヲ保存シテ行ク上カラ言ヘバ、個人ニ委セテ置イテハ工事が出來ナイカラ、ソコデ市費ヲ以テ、幾分カ個人ニモ負擔ヲサセテヤラセルト云フ事デアラナラバ、廣ク東京市ノ他ノ工事ノ場合ニソレヲ適用ナサツテ、市費ヲ以テサウ云フ河川ノ護岸工事ハ、地主ニ幾分ノ負擔ヲサセテヤラセルト云フ御方針ナラバ、ソレヲ以テ之ニ適用スルコトガ出來ルト思フ、其點ニ付テハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ

○永井東京市河港課長 先程申上ゲマシタヤウニ從來ノ河幅ヲ全部取擴ゲルト云フ場合ニ於テハ、江戸川ノ場合モサウデアッタノデアリマスガ、市費ヲ以テスルコトニナツテ居リマス、古川モ今回市費ヲ以テヤツテ居リマス、其以外ノ從來アル河川ニ對シテハ、是ハマダ實際ニヤツタ例ハアリマセヌガ、大體斯ウ云フ方針ヲ定メタ事ハアルヤウデアリマス、約三分ノ一ヲ個人ニ負擔セシメテ改修シテ行カウト云フ大體方針ヲ定メタコトガアリマス、併シマダ其方法ニ依ツテヤツタ例ハアリマセヌ

○太田委員 市長ノ代理トシテ助役サンニ伺ヒタイ、將來サウ云フ方針デ御進ミニナルカ否ヤ、サウスレバ吾々ノ方カラモ續々出願シテ、三分ノ一ノ負擔デ護岸工事ヲヤツテ貰フ積リデス

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 マダソレハ研究致シテ居リマセヌカラ、將來ノ方針ヲ御答スルコトニナツテ居リマセヌ、今迄ノ所デ御判斷ヲ願フヨリ仕方ガナカラウト思ヒマス

○太田委員 併シ之ヲ一ツノ例ト見ルコトハ出来マスカー——尤モ江戸川ノ方ハ少シ違フト思フ、江戸川ノ場合ハ自分ノ所有地ヲ幾分カ削ツテ擴張シテ茲ニ護岸ヲ築イタ、幾分カ自分ノ地所ヲ提供シテ居ル、古川ノ方ハ公共地ト私有地ト毛抜合セニナツテ居ル、之ヲヤルニハ私有地ニ護岸ヲヤラナケレバ川ハ維持出来ナイ、是ハ已ムヲ得ナイ、併シソレガ爲ニ私有地ヲ提供スルトハ認メラレナイ、ソレカラ江戸川ノ方ハ河川敷ニ斜メニ出テ居ル所ヲ切ツ立ニシテ護岸ヲ造ツタ、是モ一面カラ言ヘバ地主ガ斜メノ地所ハ利用ガ出来ナイカラ、眞直ニ切ツタカラト云ツテ損ハナイヤウニモ思ハレルケレドモ、多少ノ所有權ヲ犠牲ニ供シテ居ルト云フコトハ明カデアル、古川ノ場合ハサウデナイカラ、是ハ一寸見様ガ違フダラウト思フ、他ノ隅田川ニシテモ或ハ神田川ニシテモ、川敷ト私有地ト接續シテ居ル所ハ幾ラモアル、是ガ從來ノ例デハ個人ニヤラセテ居ル、ソレガ私ハ大體間違ツテ居ルト思フ、個人ガヤラナイ時ニハ川ガ埋ツテモ放任シテ置クト云フ譯ニハイカナイ、個人ニ幾分ノ負擔ヲセシメテ市費ヲ以テヤルノガ適當ダラウト思ツテ、其事ヲ私ハ言ツタコトモアリマスガ、併シ議論ハサウデアツテモ實行ノ時ニハ所謂豫算關係デソレハ出来ナイト云フ譯デアツタ、今度此古川ノ例ニ依ツテ、三分ノ一ノ負擔デ立派ナ護岸ガ出来ルト云フコトデアツタナラバ、將來ノ河川ノ改修ニ付テ若シ果シテ此例デ行クナラバ非常ニ良イコトデアルト思フ、併シサウナツタラ東京市ハ又ソレガ爲ニ財政上非常ナ迷惑ヲ來シハシナイカトモ思ハレル、殊ニ又古川ノ如キハ此川ヲ利用シテ附

近ノ住民ガ利益ヲ受ケルト云フ點カラ言ヘバ頗ル狭イ範圍ノモノデアル、其狭イ範圍ノモノニ對シテ東京市ガ百五十萬圓ヲ負擔スルト云フナラバ、公共的ニ利用シテ居ル河川ニ面シタ護岸ノ如キハ市費ガ半分モ負擔シテ宜カラウ、斯ウ云フ問題モ起キハシナイカト思フ、ソレハ餘程考ヘナケレバナラヌ、之ヲ前例トシテ見ルコトガ出来ルト仰シヤルナラバ、賛否ヲ決スル時分ニサウ云フ條件ヲ保留スルコトモ一ツノ必要デハナイカト思フ、併シ是ハ東京市ノ立場カラ考ヘルト、東京市ガ廣イ全市ニ河川ヲ有ツテ居ル、ソレハ私有地ハ矢張り原則トシテハ個人ニヤラセルト云フ事ガ宜イノデハナイカト思フ、現ニ私自身モ今護岸工事ニ着手シテ居リマスガ、自分ト云フ個人ヲ捨テ、考ヘルニ、私有地ノ工事ハドウモ個人ガ持ツト云フ方ガ、誰ニ聞エテモ宜イノデハナイカト思ツテ居ル、其點カラ見ルト個人ニ餘リ恩惠ヲ與ヘルト云フコトモ一寸考ヘナケレバナラヌト思フ、併シソレハ今御答辯ヲ願ハナイデモ宜シウゴザイマスカラ一ツ御熟考ヲ願ヒタイト思ヒマス

○渡邊委員長 先程カラ沿革ノ事ニ付テ一應御説明ヲ承ツテ、ソレニ關聯シテ色々御質問ガアツタノデアリマスガ、前回ニハ第三條マデ逐條的ニ質問ヲ致シテ居ツタノデアリマス、從ツテ今丁度御話ガ自カラ四條、五條ニ亘ツテノ御質問ガ多クツタヤウデアリマスカラ、此問題ノ中心タル第四條、第五條ニ關シテ御質問ガアツタラ御問ヒヲ願ヒタイ、若シナケレバ先へ進ンデ行キタイト思ヒマス——御質問ハモウアリマセヌカー——ソレデハ六條ニ進ミマス

第六條 負擔金ハ之ヲ均等ニ二十分シ毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシ

ム

事業着手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル土地ニ付テハ其地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者ト看做ス

同一ノ土地ニ付大正九年九月内務省令第二十八號及前項ノ權利（所有權ヲ除ク）ニ以上存スルトキハ最後ニ設定シタルモノノ權利者ヲ以テ受益者ト看做ス

前二項ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ負擔金ヲ負擔セシムル場合ニ之ヲ適用セズ

○渡邊委員長 別段御質問ガナケレバ第七條ニ移リマス

第七條 負擔金ハ前年度ノ事業費精算額（負擔金ノ第一回ノ計算ニ付テハ前年度以前ノ事業費精算合計額）ニ依リ之ヲ算出ス

○渡邊委員長 御質問ハアリマセヌカ——第八條

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額又ハ工費額ヲ超ユルコトヲ得ズ

- 一 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ
- 二 古川改修ニ要スル費用ヲ補足スル爲メ土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認

ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シタルトキ

○太田委員 土地ノ狀況ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキトアリマセヌカ、此地域内ニハ非常ニ高低ガ甚シクテ、常ニ浸水ヲスル區域ト、ソレカラ川ニ沿ウテ居ツテモ全ク浸水關係ノナイヤウナ所ガアルヤウデスガ、サウ云フ所ハドウ云フ風ニ負擔ヲ區分スル御考デセウカ

○西村幹事 河川ノ境界カラ三十間ト云フモノヲ一應負擔區劃ト定メマシテ、ソレカラ第二條ノ第二項ニ基イテ、浸水ノ狀況ニ依ツテハ其三十間内ニ入レルコトモ外ニ出スコトモ出來ルコトニナツテ居リマス、非常ニ土地ノ高イヤウナ所ハ三十間以内デモ負擔區劃ニ非ズト致シマス、又低イ所ハ三十間以外デモ負擔區劃ニ加ヘルコトガ出來マス、ソレガ第二條ノ二項ノ規定デアリマス、ソレカラ第八條ノ土地ノ狀況ニ依リト云フノハ、負擔區劃ト定メラレテ居リマシテモ、或ハ特ニ其内ノ高イ部分デアルトカ、同ジク浸水ハアリマシテモ非常ニ洪水デナカツタラ浸水シナイトカ、サウ云フ模様ニ依ツテ負擔ヲ或ル程度マデ減ジテ行カウ、斯ウ云フノデアリマス、土地ノ狀況ニ依リト書キマシタノハ、地形ノ高低ト云フヤウナ事ガ主タルモノデアリマス、モウ一ツハ現在アル護岸ガ其儘役立ツヤウナ所ガアルノデアリマス、ソレモ矢張り護岸負擔ヲ少シ免ジテ行カネバナラヌヤウナ所ガアリマスカラ、ソレヲ併セテ土地ノ狀況ト稱シタノデアリマス

○太田委員 サウ云フ事ヲ決メルノハ一體何處デ決メマスカ

○西村幹事 第二條ノ方ハ内務大臣之ヲ定ムト云フコトニナツテ居リマス、此省令ヲ決メマスノト同ジ形式ハ用ヒマセスケレドモ、内務大臣ガ省令ナリ告示ナリヲ出シテ決メマス、併シソレニハ勿論市ノ方カラノ申出ヲ尊重シマス、ソレカラ第八條ノ方ハ市長ニ御委セヲスル積リデアリマス

○太田委員 第二條ノ内務大臣ガ決定スル原案ハ都市計畫委員會等ニ附スルコトナク、内務大臣ノ專斷ヲ以テ決メテシマフ、又東京市長ノヤル方モ市長ノ專斷ヲ以テヤルノデスナ

○西村幹事 負擔區劃ノ決定ト云フ事ニ付キマシテハ内務省令二十八號ニ、内務大臣ノ定ムル區劃内ニ於テト云フ文字ガアリマスカラ、嚴確ニ申シマスト第二條ノ負擔區劃ヲ定ムル規定ハ、委員會ノ審議事項デナイトモ考ヘラレマス、唯負擔方法トシテ相互ニ關聯ヲ持ツテ居リマスノデ、同ジ省令案ニ書イタモノデアリマスカラ審議ノ範圍外トハ申シマセスガ、サウ云フ規定モアリマス、デスカラ是ハ内務大臣ガ、太田サンノ仰シヤル專斷ヲ以テ決メルコトニナリマス、ソレカラ第八條ノ方ハ是モ矢張り一ツノ國ノ事務ト見テ居リマス、國ノ事務デアリマスカラ市會ノ決議等ハ要シナイモノト私共解釋シテ居リマス

○渡邊委員長 第八條ニ付テ一寸御尋シタイ、目黒川ノ受益者負擔ノ規定ノ方ニハ、他ノ都市計畫事業——實際ハ道路ノ鋪裝デアツタヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ事業ノ爲ニ受益者負擔ガアルトキハ目黒川ノ方ノ負擔ヲ減免スルト云フ風ナ規定ガアルヤウデアリマス、即チ同一ノ土地デ重複シテ負

擔ヲスルコトニナルガ故ニソレヲ減免スルト云フコトニナツテ居リマシタガ、古川ノ方ニハソレガ無イヤウデスガ、ソレハドウ云フ譯デスカ

○西村幹事 仰セノ通り規定ダケデ申シマス目黒川ト權衡ヲ失シテ居ルヤウニモ思ハレルノデアリマスガ、此規定ヲ作りマスニ付テハ市ノ御意見ヲ非常ニ尊重シテアリマス、市ノ御意見トシマシテハ非常ニ苦シイ財源ヲ以テ古川改修ト云フ大キナ仕事ヲ解決サレルニ付テ、財源ニ乏シイト云フ所カラ四分ノ一ノ收入ハドウシテモ得タイト云フ事ガ一番ノ骨子ニナツテ居リマスカラ、ソレデ道路工事ト重複シタヤウナ場合ニ於テモ減免ノ規定ハ置カナイ方針デ進ミタイト云フ御希望ガアツテ、ソレニ依ツタノデアリマス

○渡邊委員長 第八條ハ宜シウゴザイマスカ——次ニ第九條、第十條

第九條 左ニ掲グル事項ハ市長之ヲ告示ス

一 第三條ノ地帯及負擔歩合

二 第四條及第五條ノ一坪當金額

三 事業著手ノ日

四 第六條第一項ノ期日

第十條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○渡邊委員長 サウシマスト是デ逐條ノ御質問ハ一應終了シタ譯デアリマスガ、初メニ歸リマシテ第一條カラ御審議ヲ願ヒマセウカ、ソレトモ重要ナ問題ノ焦點ニナルヤウナ部分ノ審議ヲ豫メ願フコトニ致シマセウカ、ドチラノ方針デ進行致シマセウカ

○中塚委員 私モウ少シ御尋シタイ事ガアリマス、先程御讀ミニナリマシタ芝、麻布、赤坂ノ三區會議長連署デ出シタ意見書ノ中ニ、其ノ設備ヲ完全ニシ水害ノ豫防方法ヲ講ゼラレタク偶々同川沿岸ノ地主ニ於テ河幅ヲ擴グルトキハ其ノ所有地ヲ寄附スル内意アリト云フヤウナ事ガアリマシタガ、ソレハ此時ニ寄附ヲスルコトヲ勸誘シタノデセウカ、或ハ勸誘セズニ全部其土地ヲ買收シテ行ツタノデセウカ

○永井東京市河港課長 ソレハ明治四十四年十二月ニ芝、麻布、赤坂 三區會議長カラ斯ウ云フ意見書ガ出テ居ツタト云フノデアリマシテ、當時此河川ハ東京府ノ管理ニ屬シテ居ツテ市ノ管理ニナリマセヌノデ、斯ウ云フ意嚮ガ見エルト云フコトヲ御説明シタニ止マルト思ヒマス、又此文章カラ見マストサウ云フ意嚮モアツタト云フコトヲ察シ得ルト云フ程度ノモノデアリマス

○中塚委員 サウ致シマスト此改修ニ付テノ寄附ト云フモノハ何モ受ケテ居リマセヌカ

○永井東京市河港課長 受ケテ居リマセヌ

○中塚委員 モウ一ツ河港課長ニ伺ヒタイ、此七十一萬七千圓ノ受益者負擔金ヲ輕減スル爲ニハ、芝浦ニ埋立地ガ四千八百五十六坪アルト云フコトデスガ、彼處ニハ最近ニ臨港鐵道ガ敷カレマス、八月カ十月頃カラハ汽車ガ動クヤウニナルサウデスガ、サウスルト此地價ハモウ少シ高ク賣レルノデハナイデセウカ、其邊ドウ云フ御考デセウカ

○永井東京市河港課長 土地ヲ賣ルノデスカラドウモ豫想ハ出來マセヌガ、或ハ高ク賣レルカモ知レマセヌ、場所ハ宜シイ所デスカラ……

○中塚委員 四千八百五十六坪ヲ埋立テルト云フコトデスガ、古川改修ノ土砂ヲ以テ此面積ヲ擴ゲルコトハ出來マセヌカ

○永井東京市河港課長 其處ハ隅田川口改修工事デ埋立テタ土地ト芝離宮ノアル所トノ間ニ介在シテ居ル入堀デアリマシテ、ソレヲ擴ゲル餘地ハゴザイマセヌ

○中塚委員 サウスルト此土地賣却代トシテハ、此土地ノ一坪百五十圓ト云フ豫定ガ二百圓トカ二百五十圓ニ賣レルト云フヨリ外ニ財源ヲ捻出スル方法ハナイデスナ

○永井東京市河港課長 今ノ所デハゴザイマセヌ

○中塚委員 如何デセウカ、此土地ガサウ云フ場所ニ在ルトスルナラバ、此場所モ矢張り實地踏査ヲ

スル必要ガアルト私ハ思ヒマスガ……

○太田委員 ソレモアリマスネ、ソレガ高ク賣レ、バソレダケ受益者負擔ガ輕クナル

○渡邊委員長 ソレデハ此問題ハドウセ今日ハ濟ムマイト思フ、サウスルトモウ一回ハドウシテモヤラナケレバナラヌト思ヒマスカラ、其間ニ、全部ノ方ニ御出デヲ願ヘレバ結構デスガ、出來ルダケ多數ノ方デ視テ戴クコトニ致シマセウ

○古島委員 六條ニ付テモウ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス、事業着手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權、永小作權及賃借權ガ設定セラレタル土地ニ付テハ其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者ト看做スレトアリマスガ、是ハ土地ノ所有者ト云フモノハ關係ハナイノデスカ

○西村幹事 ソレハ斯ウ云フ風ニナリマス、内務省令第二十八號ニ依リマシテ、受益者ト云フモノハ無論土地ノ所有者ガ第一ノ受益者デアリマス、但シ質權ヲ設定シタ場合ニハ質權者ガ代ツテ受益者ニナル、ソレカラ地上權、永小作權等ガアル場合ハソレガ又地主ニ代ツテ受益者ニナル、唯省令第二十八號ニ規定シテアリマスノハ、事業着手ノ日カラ計算ヲシテ十年ヨリ長イ賃借權者ト書イテアリマシテ、結局事業着手前ニ設定シタ賃借權者ト云フコトニナリマス、所ガ同ジク十年ヨリ長イ期間ヲ有ツテ居ルヤウナ權利者ハ、事業着手後ニ出來タモノデモ矢張り受益者ト見テ負擔金ヲカケテ行クコトガ適當デアルト云フ見地カラ、特ニ第二十八號ノ規定ノ外ニ此規定ヲ加ヘタノデアリマス、

事業着手ノ前後ニ拘ラズ、十年ヨリ長イ期間ノ存スル借地權者ハ地主ニ代ツテ受益者ニナル、其代リニ地主ハ其場合ニ於テハ受益者デナイノデアリマス、但シ古川ニ付キマシテハ——今ノハ所謂一般負擔ト稱シテ居リマスガ、護岸負擔ノ方ハ飽マデモ所有權者ダケヲ受益者ト見テ居リマス、ソレハ第六條ノ末項ニ、護岸負擔ノ場合ニハ今ノ條項ヲ適用シナイト云フコトガ書イテアリマス

○古島委員 サウ致シマスト地主ガ地所ヲ持ツテ居ツテ、借主ガ地代トカ其他ノ契約ヲ履行セヌガ爲ニ地主ガ此地所ヲ取上グルト云フコトニナツテ來マスト、地上權者ハ負擔ハシテ居ルケレドモ、之ヲ地主ニ持ツテ行ツテ、斯ウ云フ負擔ヲシテ居ルカラ此處置ヲシテ吳レト云フヤウナコトハ、裁判ヲシナケレバ出來ナイヤウナ工合ニナリハシマセヌカ

○西村幹事 實際ノ取扱ニ付キマシテハ賃借權ガ設定シテアルカナイカト云フコトハ、地主ト賃借權者ト連署シテ届出テ貰フコトニシマス、其届出ガナケレバ事實借地權ガアリマシテモ、一應ハ所有者ノ方ニ課シテ差支ナイト思ヒマス、若シ其邊ニ付テ異議ガアレバ後日訂正スルノモ宜カラウト思ヒマス、既ニ兩關係者ガサウ云フ風ニ届ケタコトニナリマシタ以上ハ、市役所トシテハ其届出ヲ正當ナモノト看做シテ借地權者ニカケマスカラ、其借地契約ノ解除デアルトカ、當事者間ニ於ケル紛争ハ市役所ノ方デハ知ラナイコトニナリマス、或ハ裁判ノ方ニ訴ヘナケレバナラヌヤウニナルカト思ヒマス

○太田委員 委員長ニ御相談デスガ、今日ハモウ少シ繼續ナサル御考デスカ

○渡邊委員長 實ハ今日ハ斯ウ云フ所マデ行ツテ置イタラドウカト思ツテ居リマス、一應質問ガ濟ンダラ逐條デ行ク形式デアリマスガ、二條ト四條ト五條ヲ一括シテ、ソレニ對スル大體ノ意見ヲ御互ニ吐露シ合フト云フ所マデヤツタラドウカト思フ、サウセスト此次ノ會議ガ有意義ニ進行シニクイダラウト思フ

○太田委員 私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘマス、是ハモウ少シ懇談的ニ御相談ヲシテ、サウシテ東京市ノ當局モ御在デデスカラ、是ハ中々市費ヲ負擔スルト云フコトモ大變デス、議論デ行ツタラ中々急ニ結了シナイダラウト思フ、モウ少シ懇談的ニ意見ヲ交換シテ、ソレカラ總括シテ決議ニ入ツタラ宜イダラウト思ヒマスガ如何デスカ

○渡邊委員長 ソレデハ最早ヤ時刻モ過ギテ居リマスカラ、食事後ニ懇談會ヲ開クコトニ致シマシテ一時休憩ヲ致シマセウ、其前ニ今朝ホド此問題ニ付テ色々陳情ノアリマシタ事ヲ簡單ニ御取次ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、一ツハ古川改修受益者負擔金反對期成同盟會委員長友野直二、其他多數見エマシタ、非常ニ澤山署名捺印シタ陳情書ヲ持ツテ來ラレマシタ、是ハ麻布ノミナラズ芝區ノ人モ入ツテ居リマス、結論トシテハ過重ナル負擔デ堪ヘ難イカラ負擔ヲ免除セラレンコトヲ熱望スル、尙ホ現在道路鋪裝工事費ノ支拂中デアツテ二重ノ負擔ヲ課セラレルノハ、餘裕ノナイ吾々ニハ困難

デアルカラ其點モ考慮シテ呉レ、斯ウ云フノガ趣旨デアリマス、其次ニハ麻布區會議長河合榮三郎氏ヨリ内務大臣宛デ、一ノ橋天現寺橋間約二十四町ノ短距離ノ間ニ七十萬圓ト云フ巨額ノ負擔ヲスルコトハ困難デアルカラ減免ヲシテ貫ヒタイト云フ趣旨ノ陳情、今一ツハ芝區會議長今付太平次、古川改修受益者負擔金ニ關スル調査及實行委員長愛澤信公氏ノ陳情書デアリマス、是ハ實際調査ヲ致シタ所ガ受益者負擔額ハ頗ル過重デアル、殊ニ芝區ノ地形ハ高地デ被害ノ程度ハ極メテ輕微ナ實情ダカラ之ヲ十分ニ御洞察ノ上負擔金ヲ免除サレタイ、右區會ノ決議ヲ經テ陳情スルト云フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ芝區長高川宅次氏ガ、古川改修工事受益者負擔金免除ニ關スル大塚榮吉外十六名ノ陳情書ヲ進達サレタモノデ、其陳情ノ趣旨ハ沿岸ニ近接シタ三田小山町、三田綱町、三田豊岡町、白金志田町、三田松坂町、白金三光町等ノ一部ノ有租地所有者ガ主デアリマスガ、矢張り古川ノ改修場所ハ河幅二十間乃至三十間ノ餘地ガアツタモノヲ當局者ガ治水ノ施政方針ヲ誤ツテ河幅ヲ狭メ、不用地トシテ民間ニ拂下ゲタカラスウ云フ風ニナツタノデ、此禍根ヲ醸成シタ點ガアルカラドウゾソレヲ考ヘテ貫ヒタイ、吾々ハ何等特ニ利益ヲ受ケルモノデナイカラ負擔金ヲ免除シテ呉レト云フ意味デス、ソレカラ麻布區會議長河合榮三郎氏ト全ク同ジヤウナ意味ノモノガ、麻布區會ノ此問題ノ古川改修受益者負擔金ニ關スル意見書起草並實行委員長津田龍丸氏カラモ出テ居リマス、ソレダケ御報告申上ゲテ置キマス、是デ休憩致シマス

午後零時三十分休憩

午後一時二十分開議

○渡邊委員長

ソレデハ是カラ懇談的ニ意見ノ御交換ヲ願フコトニ致シマス

〔此間懇談會〕

○渡邊委員長

ソレデハ來ル二十九日午前十時ヨリ芝浦ノ埋立地ノ實地視察ヲスルコトニ致シマス、

矢張り復興局ノ方へ御集リヲ願ヒマス、尙ホ次ノ委員會ノ日取ハ其時ニ御相談ヲ願フコトニ致シマ

ス、本日ハ是デ散會致シマス

午後二時散會

古川改修事業及
道路新設擴張事業 受益者負擔ノ件第二回實地視察

昭和四年六月二十九日(土曜日)午前十時復興局集合

出張者氏名

委員長

從四位勳四等

渡邊鐵藏君

委員

東京府知事平塚廣義君代
理地方法技師

來島良亮君

東京府會議員

朝倉虎治郎君

東京市會議員

中塚榮次郎君

東京市長堀切善次郎君代
理東京市助役

廣瀬久忠君

正五位勳四等

前田多門君

復興局部長

赤木朝治君

幹事

六八八

復興局書記官	武部六藏君
正六位勳六等	西村輝一君
復興局事務官	片野道藏君

視察個所

午前十時半復興局出發

芝浦方面埋立地

午前十一時四十分解散

古川改修事業及
道路新設擴張事業

受益者負擔ノ件第三回特別委員會

昭和四年七月五日(金曜日)復興局會議室ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

從四位勳四等 渡邊 鐵藏君

委員

內務書記官平田紀一君代 理內務事務官	大村清一君
東京市會議員	古島宮次郎君
內務次官	潮 惠之輔君
東京府知事	平塚廣義君
東京府會議員	朝倉虎治郎君
東京市會議員	中塚榮次郎君
東京市長堀切善次郎君代 理東京市助役	廣瀬久忠君

幹事

- 衆議院議員 太田信治郎君
- 正五位勳四等 前田多門君
- 復興局部長 赤木朝治君
- 復興局書記官 武部六藏君
- 正六位勳六等 西村輝一君
- 復興局事務官 片野道藏君

議事

午前十時開議

○渡邊委員長 是ヨリ開會致シマス、此前ハ古川改修受益者負擔ニ關スル件、之ヲ逐條ニ質問ヲ了ツタノデアリマスガ、其後芝浦ニ古川ノ土デ以テ埋立タ所ノ視察ヲ致シタノデアリマシタ、ソレデ今日ノ委員會デハ、ドウゾ皆様カラ御意見ヲ述ベテ戴キタイト思ヒマス——此機會ニ御報告致シマスガ、イツモノ委員會ノトキト同ジヤウニ今朝モ多勢陳情ノオ方が見エテ居リマシテ、イツモ同ジヤ

ウナ趣旨デアリマスガ、今日ハ少シ變ツタコトヲ言ハレタノデアリマス、ソレハ古川ノ上流ハ數里ノ間ニ涉ツテ居ルシ、其水ノ流レテ來ル流域ハ數平方哩ニ亘ツテ居ルト云フ話モアリマシテ、結局サウ云フ廣イ範圍ニ亘ル水ヲ流ス場所デアルカラ、其工事費ハ府ニ於テヤツテ戴キタイ性質ノモノデアル、ソレデ目下負擔金ヲ課セラル、者ニ課セナイヤウニシテ吳レト云フ趣旨デアリマシタカラ、此事ヲ御取次ヲ致シマス、尙ホ種々ノオ方ヨリ陳情ガアリマシタガ、ソレニ對シマシテ、委員會デハ御陳情ノ趣旨ヲ能ク考慮シテ置キマスガ、又委員ノ方々モ充分ニ考慮シテ居ラレマセウカラ、慎重ニ討議スルコトニ致シマスト云フコトヲ返答シテ置キマシタ、是丈ケヲ御報告致シマス

○太田委員 前回ニ於テ質問應答ハ略ボ完了シテ居リハシナイカト思ヒマス、主モナル條項ハ要スルニ此財政計畫ト申シマセウカ、其計畫ガ基礎ニナツテ第二條、第四條、第五條ノ條文ガ起ツテ來ルノデアリマス、此財政計畫ニ付テ先般懇談會ヲ願ヒ、尙ホ委員長カラ當局ニ御交渉ヲモ願フコトニナツテ居ツタノデアリマス、其後實地ヲ御調査ニナリマシテ、財源ノ一ナル土地賣拂代金ノ如キモ、果シテ増加ノ餘地ガアルヤ否ヤト云フヤウナコトモ御調査ニナリマシタノデアリマスカラ、先ヅ此財政計畫ニ付テ質問應答ヲ、モウ少シ致シマシタナラバ如何カト考ヘマス、サウ致シマスレバ自然逐條ノ方モ此問題ガ了解ガ致シ、又此問題ガ疏通致シマシタナラバ、却テ進行ニ便利デナイカト思フノデアリマス、第一條ノ如キハ最早議論ハナイ、ソレカラ第二條ヨリ五條ニ至ル迄ハ財政計畫ニ

伴ツテ居ル問題デアリマスカラ、私ハ左様ニ致シタラドウカト考ヘマス、如何デアリマセウカ

○渡邊委員長 ソレデハ太田サンカラ御意見デモアリマスレバ、此際御出シ下サイマスマウニ

○太田委員 私ハ少シ申譯ガアリマセヌデシタガ、埋立地ノ狀況ニ付キマシテ實地視察ノトキニ御供
ヲ致シマセヌデゴザイマシタガ、承リマス所ニ依リマス、相當有望ノ土地デアツテ、此土地賣拂
代金ノ豫算ハマダ相當増加ノ餘地ガアルト云フヤウニ承ツテ居リマスガ、當局ノ御見込ハ如何ナモ
ノデアリマセウカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 此間尙ホ實地踏査ヲ致シマシタノデスガ、是ハ矢張見込ノ問題デア
リマセウガ、相當ニ良イ土地デゴザイマス、現在ノ見込ハ坪百五十圓ト見込ンデ居リマスガ、是
ヨリハ高ク賣レルダラウト云フ見込ハ持ツテ居リマス、然ラバ是ガ幾ラニナルカト云フコトヲ申ス
ノハ少シ早計デハナイカ、殊ニ御承知ノヤウニ豫算ノ上ニモ明ニ百五十圓ト云フコトニナツテ居リ
マスカラ、之ヲ百八十圓ニ見ルトカ二百圓ニ見ルトカ云フコトヲ今茲ニ言明致スコトハドウカト思
ヒマスガ、兎ニ角現狀ヨリハ高ク見テ良カラウト思ヒマス

○渡邊委員長 私共視察ニ參リマシタカラ其感想ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、御當局ハ數字ヲハッ
キリ仰シヤルコトハ困難デアラウト思ヒマスガ、中塚サンノ御主張デ參ツテ見マシテ善イ事ヲシタ
ト思ヒマシタ、机上デ考ヘテ居タ想像以上ニ良イ土地デ、十五間道路ガ新設サレテ、其交叉シタル角

ニアリマス、殊ニ芝浦ノ岸壁ニ直面シテ居リマシテ、繫船岸三百間位ノモノガ一町程先ニ在リマシ
テ、倉庫ガ建ツテ居リマス、現在ノ入船ノ模様ハ三百五十何噸カノ船ガ内ニ這入ツテ居リマス、貨
物ガ二百七八十萬噸這入リマシテ、出ルノハ割合ニ少ナイノデスガ一年ノ間ニ五十萬噸位ヅ、出ル
ノガ殖エテ居ルト云フコトデアリマシテ、非常ニ好望デアリマス、三百間ノ岸壁ノ隣リニ五百間ノ
岸壁ガ計畫サレテ居リマス、五、六百萬噸ノ貨物ガ這入ルト云フコトハ遠キ將來デハナイ、サウ云
フコトカラ考ヘマスト、彼處ノ土地ガ、餘リハツキリ申スコトハ出來マセヌガ、尤モ自分ハ大凡ソ
ノ見當ハ附ケテ居リマスガ、數百圓ノ土地ニナルト云フコトハ將來サウ遠クナイヤウナ感ジガスル
ノデアリマス、言葉ハ不正確デアリマスガ岸壁ニ直面シテハ居リマセヌ——岸壁カラ離レテ居リマ
スガ、岸壁ノ近クニ繫船壁ガアンナニ近クニ在ルトハ思ハナカツタ、五町モ十町モ離レテ居ルト思
ツテ居リマシタガ、直グ傍デアリマシタ

○太田委員 土地ノ賣拂代金ナドハ豫算デアリマスカラ、必ズシモドウ云フ風ナ方法デ御賣リニナル
カ、賣ル方法ニ付テモ分リマセヌ、併シナガラ之ヲ賣ルト云フ點カラユキマスト、豫算ヲ強ヒテ安
ク見テ置ク必要ハナイノデアリマシテ、矢張賣ルノニ豫算ヲ安ク見テ置クヨリモ、高ク賣ラナイ迄
モ相當ノ價格ニ見テ置ク方宜シイノデ、豫算ガ安イト賣却ノ障害ニナツテモ利益ニハナラナイ、
ソレ故ニ相當ノ價格ニ見テ置イテ宜シイモノデナイカト思フノデアリマス、但シ實地御覽ニナツタ

方々ノ御意見モアリマセウカラ、茲ニ私ハハッキリ何百圓トハ申シマセヌガ、私ハ唯人ニ聞イタノデアリマスガ、現在デモコンナ安イ値ナレバ、今カラ豫約シテ置イテモヨイト言フ人ガアルト云フコトヲ聞イタノデアリマス、非常ニ安イト云フコトヲ私ハ聞イテ居リマス、ソレデ實ハ御尋ヲ致シタ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツハ陳情書ニモアリマスシ、又私ハ今日ハ逢ヒマセヌガ、委員長カラ御傳ヘニナツタ通り、上流ノ水ガ下流ニ來ルノデアアルガ、是ハ自然ノ力デ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、其跡始末ヲ下流ノ者バカリガ引受ケルト云フコトハ困難ナコトデアアル、而モ下流ノ少數ノ地主ガ其負擔ヲ多ク持ツト云フコトハ不合理デアアル、之ニ對シテ國家ハ相當補助スルコトガ必要デナイカ、若シ國家ガ補助ヲシナイトスレバ、他ニ方法ヲ設ケテ受益者負擔ヲ輕減シテ貰ヒタイト云フコトガ陳情ノ趣旨ニモアリマスシ、又陳情者モサウ云フ意見ヲ持ツテ居リマス、勿論國家ノ財政ノ窮乏ノ折柄デアリマスカラ、ソレハ出來ナイト云フ御話ハ此間伺ヒマシタガ、國庫ノ補助ガドウシテモ出來ナイト云フコトニナリマス、宜シク市ガ負擔ヲスルカ、受益者ガ負擔ヲスルカ、二ツノ中ニナルノデアリマス、ソレデ茲ニ御考慮ヲ願ヒタイノハ、國庫ニ於テ之ニ對シテ補助ガアルト云フヤウナコトニハ、何等カノ方法ヲ變ヘマシテモ今日ハ出來ナイノデアリマス、定メシ市ノ當局ハ御話ニナツタト思ヒマスガ、此間委員會デモ之ヲ一ツノ下水ト見ルト云フ意見モ出タノデアリマスガ、上流ノ水ガ流レテ來ルノデ川ノ如キ感ジモ致シマスガ、舟楫ノ便ガナイノデアリマスカ

ラ、下水ノ捌ケ口ト見テモ宜シイノデアリマス、併シ今日ハソレガ絶對ニ不可能デアルト云フコトデアリマスレバ已ムヲ得マセヌガ、此豫算ノ範圍デ事ヲ決定シナケレバナラヌ前提トシテ、念ノ爲ニ一遍承ツテ置キタイト思ヒマス

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 下水道トナリマスレバ下水道法ニ依リマシテ、内務省トシテハ三分ノ一カノ補助ヲシテ下サイマスガ、是ハ出發ニ於テ都市計畫事業トシテ下水道トセズニ矢張河川ト云フコトニシテ遂ニ委員會ノ議モ經、内閣ノ認可モ得テ居リマスカラ、之ヲ今日變更スルコトハムツカシイ事ト思ツテ居リマス、ソレニ付キマシテ都市計畫事業トシテ補助ハ貰ヘスト云フコトデアリマスガ、古川ノ改修ニ付キマシテハ東京市ト致シマシテ内務省ノ補助ヲ願ヒマシタ所ガ、詮議相成ラズト決定サレテ居リマスノデ、之ヲ今更覆ヘスコトハ非常ニ困難デアルト思ヒマス

○太田委員 東京府ノ方ハ此川ノ上流ノ立場ニ御出デニナルノデアリマスガ、下流ノ受益者ノ負擔ガ困難デアルト云フコトガ茲ニ起ツテ居ルニ對シテ、國庫ノ補助ハ出來ナイノデアリマス、何等カ御考ヲ及ボシ下サルコトハ是亦困難ナ次第デアリマセウカ、一ツ伺ヒマス

○平塚委員 只今太田サンカラノ御質問ノ點デアリマスガ、上流ノ方ノ改修ニ付キマシテハ府トシテ受益者負擔ト云フコトハ計畫ノ中ニ入レナイデ決議ニナツテ居ル譯デアリマス、併シ目黒川ノ關係モアリマサウナ譯デアリマス、又此問題モ色々御意見モアリ、市ノ財政状態トシテ受益者負擔ヲ

命ズルコトニ相成ツテ居リマスノデ、多少將來考慮スル必要ガアリハシナイカト云フ考ハ持つテ居リマスガ、今日ノ府ノ改修計畫ハ之ヲ包含致シテ居ラナイノデアリマス、隨ツテ又一面カラ考ヘマシテ市ノ事業ニ向ツテ上流カラ經費ヲ取ツテ下流ノ市ニ向ツテ之ヲ提供スルコトハ、法規ノ上ニ於テモドウカト考ヘマスシ、又之ニ向ツテ補助ヲスルト云フヤウナ點ニ付キマシテモ、府モ近來財政困難ニ陥ツテ居リマスノデ、ソレ等ノコトニ付キマシテ茲ニ斯ウシヨウト云フ具體的ノ考ヲ申上ゲルコトハ出來ナイ状態ニナツテ居リマス、隨ツテ私ト致シマシテハ矢張太田サンノ御意見ノ如ク、埋立地ヲ賣却スルコトニ豫算等ハ見積ツテアリマスルシ、又府ノ參事會ニ於テモ色々考究ヲ致シタコトガアリマスノデ、其際ニ於キマシテモ百五十圓以上ニ賣却ガ出來ルト云フ觀測ヲ實ハ致シテ居タノデアリマス、隨ヒマシテ矢張此計畫ニ依ツテ此等ノ財政状態ヲモ考ヘマシテ、此埋立ノ場所ガモウ少シ高く見積ルコトガ出來得ルノデナイカト思ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、府ト致シマシテハ、サウ云フ程度ニ今考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレデ或ハ國ノ補助ガ困難デアルト云フコト、同様ニ、府ニ於キマシテモ困難デアリマシテ、一定ノ支出ヲ致スト云フヤウナコトハ、只今ト致シマシテハ如何共致方ガナイト云フ状態ニナツテ居リマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○太田委員 左様致シマスルト東京市トシテハ國ニ向ツテ補助ヲ受ケル途ハ先ヅ今ノ所無イ、又東京府トシテモ考慮ハシテ見ルガ差向キ之ニ補助ヲ與ヘルコトニ付テハ困難デアル、又規定モナイト云フコトデアリマス、サウ致シマスト結論ハドウシテモ東京市ト受益者ト土地賣渡代金ノ三ツヲ以テ此事業ヲ遂行スルノ外ハナイ、所デ土地賣拂代金ハ相當餘地ノアルト云フコトヲ御認メニナツテ居ルヤウデアリマスカラ、其價格ハ何レ又後ニ御相談ガ出ラウト思ヒマスガ、大體受益者ノ負擔ガ目黒川ノ土地モ屢々議論ガ出タノデアリマシタガ、之ニ對シテハ私共ハ、目黒川ノヤウナ廣イ區域ノ場所デ非常ニ多勢ノ者デ負擔シテ往クト、重イ物デモ多勢デ擔ゲバ輕クナルノト同ジ事デ、私ハ成ルベク輕ク擔ガセルヤウニ多勢デ擔ガセルト良イト云フ考ヲ持つテ居リマスガ、併シ此川ニハ特殊ノ事情ガアツテ非常ニ利益ヲ餘計受ケル人ト、サウデモナイ人トアリマスカラ、サウ云フ狀況ニハ往カナイト思ツテ居リマス、兎モ角モ最初ノ計畫ノ四分ノ一ト云フ金額ハ是ハ土地賣拂代金其他ニ依ツテ補足ヲセラル、ト云フコトニナレバ、相當減額ヲスルコトガ出來ルヤウニ私ハ思フノデアリマスガ、東京市ノ當局ガ其邊ニ付テ委員長トモ御協議ニナツタカドウカ知リマセヌガ、土地ニ付テハドウ云フ御考ガゴザイマセウカ、アリマスナラバ承リタイト存ジマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 古川ノ改修ニ關係致シマス受益者ノ負擔金ハ、相當ニ重イ負擔デアルト云フコトハ、原案ヲ提出スル當時カラ思ツテ居リマシタノデアリマス、ケレドモ東京市ト致シマシテハ一定ノ財政計畫ノ下ニ仕事ヲ致シテ居ル譯デアリマスカラ、少シ重イト云フコトハ思ヒナガラ、七十一萬圓ヲ受益者負擔金デ取ルト云フ原案ヲ内務當局ニ御願ヒシタノデアリマスガ、其後尙

ホ慎重ニ研究ヲ致シマシテ、ドウモ是ハ重過ギルヤウデアアルカラ何トカ負擔輕減ノ途ヲ圖リタイト苦心致シマシテ、色々研究ノ結果、此程度ノ修正ナラバ已ムヲ得ナイト云フ考ニ到達シタノデアリマス、兎ニ角當局者ト致シマシテハ全般的ニ財政上ノ困難ナ時機ニ際會シテ居リマスシ、又此古川改修事業時代ノ財政計畫ガ受益者負擔ノ七十一萬圓ヲ見込ンデ居リマスシ、此二點カラ詰リ全體ノ財政上東京市ノ困難ノ狀況ト、前デハアリマスガ古川改修ノ受益者負擔ノ七十一萬圓ヲ見込ンダト云フ事實ガアリマスカラ、此二ツノ問題ニ付テ吾々ハ負擔ヲ輕減スルト致シマシテモ非常ニ注意ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ立場ニ在リマスノデ、結局何等カ理窟ノアル標準ヲ他ニ求メラレナイカト色々苦心致シマシテ、其結果ハ前ニ誰方カノ御意見トシテ參考的ニ出シテ戴キマシタ計算ノ受益者負擔、即チ百分ノ三十三ニ持ツテ往クコトナラバ、是ハ此際已ムヲ得ナイノデハナイカ、殊ニ土地ノ値上ガリノ問題モ多少見込ミ得ル譯デアリマスカラ、ソレデ百分ノ三十三ニシタラドウデアラウカ、尤モソレニシテモ下水道ノ場合ト違ツテ負擔區域ガ狭イト云フ問題モアリマスガ、唯下水道ノ場合ト違ヒマスノハ、護岸負擔ト申シマシテ、立派ナ護岸ヲ作ツテ護岸ニ直接關係アル者ニハ相當重イ負擔ヲサセルコト、シテ、一般負擔ハ下水道ヨリモ稍、重イケレドモ相當ノ緩和ガ出來マスカラ、大體ニ於テ百分ノ三十三デ往ツテ貫ヒタイ、斯ウ致シマスナラバ東京市ノ財政關係カラ見マシテモ、又前ノ七十一萬圓ト云フ原案ニ對シマシテモ、サウ非常ナ不足ニモナルコトモナク、又財

政關係カラ言ツテモ非常ニ困難ナ問題ト云フノデナク、先ハ妥當ナ所ニ落着クノデナイカト云フコトヲ、東京市ノ理事者トシテハ意見ヲ極メテ居ルノデアリマス

○前田委員 何カ計算ガ出來テ居リマセウカ、賣拂代ヲ上ゲテ七十一萬圓ガ幾ラニナル、其護岸負擔ガ幾ラニナルト云フコトガ分ツテ居リマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 其案ハ此前委員長カラ御話ガアリマシテ作ツタモノガアリマスカラ差上ゲルコトニ致シマス

○朝倉委員 小石川ノ植物園ノ下ノ千川、アレハ東京市デ御取リニナルノデアリマスカ、御取リニナルノデアリマセヌカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 アレハ下水道負擔デ

○朝倉委員 河川デアリマセヌカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 河川デアリマセヌ

○朝倉委員 ソレカラモウ一ツ——受益者負擔ハ一般ノ目黒川ガ始リデ、更ニ又茲ニ出タノデアリマスガ、目黒川ト古川ト對照シテ見マスルト、ドウモ當局ノ御方針ガ一定シテ居ラナイヤウナ點ガアリハシナイカ、今後郡部ニ於キマシテモ亦市部ニ於キマシテモ、屢々斯ウ云フ事業ガ計畫サレルト思ヒマスカラ、私共ハ豫メ根本ノ方針ハ大體一定シテ置クコトノ御考慮ガアツテ然ル可クト思フノ

デアリマス、例へば目黒川ノ改修デ見マスレバ橋梁ハ受益者負擔、詰リサウ云フ方面カラ除イテ居ル、之ニ反シテ古川ハ都市計畫デ架ケル橋ハ除イテアルガ、其他ノ橋ハ十何萬圓ト云フモノヲ計上シテ除イテアリマセヌ、又目黒川ハ運河デアツテ、上流ノ一部ハ四分ノ一ノ負擔トナツテ居リマシガ、コチラハ比較的從來カラ公用ニ關係ノナイ治水丈ケノコトデアアル、而モ負擔ノ及ボス區域ガ狭イコトニナツテ居ル、私ハ負擔ヲ掛ケル範圍ヲ、ソレノ其狀況ニ應ジテ、工事ト對照シテ見テ之ヲ或ハ廣クシ、或ハ狭クスルト云フコトハ已ムヲ得ナイトハ思ヒマスガ、併シ大體ノ率ハ大凡ソ一定シテ置ク方法ニシタ方ガ宜シクアルマイカ、又此説明ヲ承リマス、市トシテ豫算ガ出來テ居ツテ、其豫算ニ基イテ總テヲ決定シナケレバナラヌコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此豫算ヲ東京市ガ計上サレル時分ニハ、マダ斯ウ云フコトハ初メテアツテ、私共察スルニ今日之ヲ斯ウ云フコトニナツテ居ルカラ此豫算ヲ固執シテ、サウシテ總テノ割合ヲソレニ當儀メルト云フコトデナク、將來根本的ニ大體ノ方針ヲ極メテ、適當ナ率ヲ割出シテ、豫算ノ御都合モアルコトデアリマセウガ、此際ハソレヲ踏襲シナイデ、私ハ目黒川ガ一ツ極マツタ以上ハ、アレヲ標準ニシテ、アレヨリモツト重クシナケレバナラヌカ、或ハ輕クシナケレバナラヌカ、或ハ運河ト治水トハ、ドウシテモ運河ノ方ヲ負擔ヲ重クシナケレバナラヌカ、或ハ輕クシナケレバナラヌカ、若クハ同一デ良イカト云フヤウナ點ヲ考ヘ先以テ極メナイト云フト、ナカ／＼工事ヲ一箇所毎ニ就テ一々負擔歩合マデ

極メテ往クト云フコトハ、非常ニ不徹底デアルト思ヒマス、是ハ先ヅ橋ナドハ私ノ考デハ目黒川ガサウナツテ居ル以上ハ、工事ノ性質カラ言ツテモ別ニシテ取除クベキモノデナイト思フノデアリマス、ソレカラ歩合モ目黒川ガ四分ノ一トアル以上ハ、將來モ斯ウ云フモノハ屢々出ルト思ヒマスガ、斯ウ云フコトモ標準ヲ大體御定メニナツテ置クコトガ必要デアルマイカト思ヒマスガ、將來モ或ハ四分ノ一トシ、或ハ三十三トシ或ハ二十トスルト云フヤウニ、一ツ／＼ニ歩合ヲ御極メニナルコトデアリマスガ、今度ハ私共察シマスルニ餘リ經驗ノナイコトデアリマスカラ、目黒川ノ場合、詰リ東京府ノ執行スル場合ト、市ガ執行スル場合ト、豫算ノ立前ノ時ニ一致シナイコトガアツタノデハナイト思ヒマスガ、此際標準ヲ定メテ置クコトガ必要デナイト思ヒマス、ソレニ付テ當局ノ御考ハ如何デアリマスカ

○武部計畫課長 只今朝倉サンカラ受益者負擔ノ根本原則ガ極マラナイノハ宜シクナカラウト云フ御話ガアリマシタ、洵ニ御尤ノ御話ト思ヒマス、實際問題トシテハ河川ニ依ツテ矢張事情ガ違ヒマスノデ、目黒川ハ四分ノ一トナリマスガ、例へば過日モ一寸申シマシタ名古屋ノ中川ノ如キハ是ハ百分ノ四十ヲ取ツテ居リマス、是ハ重クナツテ居リマスガ、目黒川ト事情ノ異ナルモノガアルカラデアリマシテ、即チ中川ハ郡部ノマダ家ノナイヤウナ所デアリマシテ、受益ノ範圍モ廣ク程度モ高イ隨ツテ百分ノ四十ヲ取リマシテモ割合ニ困難デナク、又異議モナカッタノデアリマス、斯ウ云フ譯

デ場所ニ依リ、又周圍ノ發展ノ狀況ニモ因ルコト、思ヒマス、尙ホ治水ノ關係カラ申シマスレバ、從來浸水ノ被害ノ程度モアリマシテ、尤モ中川ハ百分ノ四十デ今回ノ古川モ百分ノ四十デハ均衡ヲ失スルヤウデ、古川ハ少シ高過ギルヤウナ感ジモ致シマスケレドモ、併シ運河ニ付キマシテハ、受益者負擔ハ一定ノ率ヲ極メルコトハ困難デナイカト存ジマス、尤モ財政計畫カラ考ヘテ五十萬圓欲シイカラ五十萬圓掛ケルト云フコトハ穩カデナイ點ガアルト思ヒマスガ、併シ是モ全然無視スルコトハ出來ナイカト思ヒマス、非常ニ金ノアル公共團體ハ受益者負擔ヲ掛ケナイデモ宜シイ場合モ出テ參リマスシ、負擔ノ衡平ト云フ方面カラ受益者負擔ヲ掛ケルコトハ財政計畫ヲ離レマシテモ非常ニ必要ナ場合ガ多イト思ヒマス、又財政計畫計リカラ受益者負擔ヲ出スコトハ御説ノヤウニイケナイト思ヒマスガ、財政困難ノ公共團體デハ其點ヲ無視スルコトハ出來ナイト考ヘマス、兩方面カラ觀察シマシテ、具體的ニ適當ナ歩合ヲ極メルヨリ仕方ガナイト考ヘテ居リマス

○前田委員 一寸伺ヒマスガ、今ノ表デ「計」トアリマスノハ、實收見込額トアリマシテ色々差ガアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○武部計畫課長 「計」ハ所謂負擔區域ノ中ニ這入ツテ居リマス土地全部ガ有租地デアルト假定シタ場合ニ、斯ウ云フ金ニナルト云フノデアリマス——「計」ノ方ハ一般ノ原則ニ基イテ受益者負擔ヲ掛ケタ金デアリマス、ソレ以外ニ例外ノ規定ニ依ツテ減免ヲスル場合ガアリマスノデ、ソレニ基イテ約

二割ヲ減少シテアルノデアリマス

○前田委員 尙ホ伺ヒマスガ、是ハ土地ノ賣拂代金ナドヲ相當増シテ、サウシテソレヲ控除シタ結果ヲ割當テタノデアリマスカ、「計」ニシテモ六十四萬圓カラ六十七萬八千圓ニ變ツテ居リマスガ、財政計畫トシテハドウ云フコトニナリマスカ

○武部計畫課長 終リノ方ハ段々多クナツテ居リマスガ、一般負擔ト護岸負擔トナツテ居リマス、一般負擔ヲ掛ケル區域ト護岸負擔ヲ掛ケル區域トハ違ヒマスカラ、其中ニ在ル免租地ト有租地トノ割合ガ異ツテ居リマス、隨ヒマシテ百分ノ三十三ヲ割リマシテ二十一ト十二トスル場合ト、十三ト二十ニスル場合ニハ、ソコニ差額ガ出テ參リマス、サウ云フ關係デ少シ數字ガ狂ツテ參リマス

○前田委員 實際上ノ御見込ハドウナリマスカ、賣拂代金ノ坪當リノ單價ガ増スト最初ノ七十一萬圓ノ負擔ガ結局ドウナリマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 中塚サンカラ御説明ガアリマスサウデス

○中塚委員 先程太田サンカラ大變結構ナ御質問ガアリ、又理事者カラソレニ對スル御答辯モアリ、尙ホ渡邊委員長カラノ御説明モアリマシテ、ソレデ殆ド委曲ヲ盡クシテ居ルヤウデアリマスケレドモ、アノ土地ニ就テ一寸御參考ノ爲ニ申上ゲテ見タイコトハ、百五十圓ニ見積ツテアルコトデスガ太田サンガ多分委員長ニナツテ居ラレタトキニ、芝浦ノ土地ヲ昭和三年ノ、普通豫算會議ト申シマ

スガ、竹芝町賣却ノ案ガ出マシタ、其時東京市ノ見積ハ百三十圓デアリマシタ、私ハ評價ガ少ナイト云フノデ委員會ニ於テ最後迄闘ヒマシタガ負ケマシタ、ケレドモ本會議デ覆ヘシテ百三十圓ニ見積ルコトハ不當ダト云フコトニナリマシタ、私ハ其時モ二百圓以上ニ見積ルベキデアルト主張シマシタ、サウシテ現ニ六月二十八日ニ東京市外ノ或ル良イ場所デアリマスガ、兎ニ角坪二百圓デ鐵道省ニ十四萬何千圓デ賣ツテアリマス、ソレハ最近ニ決議致シタノデアリマス、ソレカラ私ハ瓦斯會社ニ結局動イテ貫ヒタイノデス、瓦斯會社ガ動クトスレバ埋立テ、居ル地所ヲ坪當リ二百二十五六圓デモ買ハウトシテ居ル者モアリマス、古川受益者負擔金ヲ取ルニハ、瓦斯會社ニ對シテハ渡邊委員長ニ骨ヲ折ツテ戴イテ、彼處ヲ船ガ通ホルヤウニシテ貫ハナケレバナラヌ問題デアリマスガ、ソレカラ實際ヲ見マスト道路ハ更ニ二千何百坪カ餘計ニ埋立テラレテアリマス、之ヲ吾々ハ可ナリ高ク見積リタイノデアリマス、土地ヲ高ク見積ツテ置クコトハ、芝浦發展ノ上ニモ便利デアリマス、ソレカラ將來賣ルニモ利益デアリマス、尤モ市ノ理事者トシテハソレガ現金ニナルモノデモナシ、又理事者ノ御考モ私ハ同情シナケレバナラナイト思ヒマシテ、昨日其事ニ付テ二時間以上ニ涉ツテ考究シタノデスガ、私共ハモウ五十圓位ノ見積デ折合ハウデハナイカ、併シ土地ヲ上ゲルカラ一方ヲ下ゲルト云フ意味デナク折合ツタノデスガ、ケレドモ私トシテハ彼處ハ値打ノアル地所ト思ツテ居リマス、ソレデ百五十圓ト云フモノハ、大正十四年アタリニ二十七萬五千圓ヲ投ジテ芝浦ト汐留

ノ後方聯絡ヲ現實ニスルコト、即チソレヲ夢想シナカツタ時代ニ見積ツタノデアリマス、ソレガ狀勢ガ變ツテ後方聯絡ガ附キ、此十月ニ芝浦ト汐留トノ間ニ汽車ガ通ヒ、サウシテアノ邊一體ノ地面ガ値打ノアルモノニナリマスカラ、市トシテモ損ハナイト思ツテ居リマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 前田サンノ御質問ハ結局見込ミデ増額ハドンナモノカト云フコトデアリマシタガ、假ニ之ヲ二百圓ト見込ダト致シマス、二十四萬圓計リノ値上ガリガアル譯デアリマス、サウ致シマスト七十一萬圓ノ受益者負擔金ノ中カラ之ヲ引クトスレバ、四十七八萬圓トナルノデアリマス、併シ尙ホ申上ゲマスガ、今中塚サンカラ御話ガアリマシタヤウニ、其理由デ之ヲ減ラサレルコトハドウカト思ヒマス、土地ノ値上ガリガ是丈ケアルカラ、受益者負擔ヲソレ丈ケ減ラスト云フコトハ——表面ノ理窟ヲサウ云フヤウニ往クノハドウカト思ヒマス、肚ツモリハソレデモ良カラウト思ヒマスガ、表面ノ理窟トシテコツチガ高イカラ、コツチヲ安クスルト云フコトハドウカト思ヒマス

○中塚委員 假ニ二十圓上ガッタトシテモ二十萬圓計リ出ルノデアリマス、古川橋ガ十萬圓計リ掛カルコトニナツテ居リマスガ、其ノ三分ノ一ヲ減ラスコトニナリマスカラ二十三萬七千八百三十圓ト云フモノヲ今計上サレタモノカラ引キマス、四十七萬九千幾ラト云フモノガ出ル譯デアリマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 橋梁ノコトハ、今一ノ橋ト三ノ橋ト四ノ橋ハ、負擔ヲ掛ケマス基本

金額ノ中ニ入レテ居リマセヌ、ソレカラ古川橋モ抜キマセウ、非常ニ小サイ地方的ノ橋ハ入レテ置キマセウ

○太田委員 一ノ橋、三ノ橋、四ノ橋トソレカラ古川橋ハ豫算カラ除クコトニシヨウト云フコトデスガ、土地賣拂ト收支豫算トハ關聯シテ居リマスカラ、是ハ別ニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、サウシテ之ヲ百分ノ二十五トスルトドウナリマスカ

○中塚委員 裏ノ方ニ出テ居リマス

○太田委員 財源ノ方ハサウ云フ具合ニ捻出スルコトガ出來ルトシテ、負擔ヲ百分ノ三十三ニスルカ百分ノ二十五ニスルカト云フコトト、ソレカラ其中ノ分擔割ト云フコトニナリマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 サウ云フコトニナリマス

○中塚委員 百分ノ三十三ト云フト負擔金ガ重クナルヤウデスナ、私共ノハ四十七萬九千幾ラト云フノデスカラ百分ノ三十三ヨリハ少クナツテ居リマス、百分ノ三十三ノ場合ハ五十一萬二千四百七十二圓トナツテ居リマスカラ、只今私共ノ言ツタノハ百分ノ三十三ヨリ輕イノデアリマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 三十三ト二十五ノ間クラキデスナ

○朝倉委員 私共ハ二十クラキニシタイト思フ

○太田委員 護岸工事ニ費用ガ掛カルコトト免租地ガ多イト云フコトハ受益者ノ不利ニナリマス、併

シ護岸工事ノ負擔ハ氣ノ毒デアルケレドモ護岸ニ接續シテ居ル私有地ノ地主ハ餘計ニ負擔シナケレバナリマセヌ、原則トシテハ二十五ガ適當デアルカ二十ガ適當デアルカト云フコトヲ決メテ置ク必要ガアリマス

○前田委員 三十三ハ純理論カラ言ヘバ重過ギルヤウデアリマス、三十カ二十五クラキガ適當デアリマセヌカ、受益者負擔「プラス」財政上ノ負擔ト云フヤウニ見エマス

○古島委員 只今百分ノ二十ト二十五ノ御話ガアリマシタガ、私ハ昨日市ノ方ニ往ツテ色々研究シマシタ、國庫ノ負擔ガアレバ結構デアリマスガ、之ヲ市ノ負擔ト致シマス、餘リ地主ノ負擔ガ重イカラ、ト言ツテ地主ノ負擔ヲ輕減シマス、足りナイ部分ハ十五區ガ世話ヲシナケレバナラヌヤウニナル、上ノ方ノ郡部カラ來ル水ノ爲ニ他ノ區ガ其負擔ヲスルト云フコトハ迷惑ニ考ヘマス、ソレデ先程中塚君カラ御話ガアリマシタガ、地所ノ値段ヲ二百圓トシ、ソレカラ橋ノ残りヲ引イテ結局四十七萬九千六百七十圓ト云フモノデ御決定ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ考デ居リマス、又現在ノ土地ノ賃貸價格ヲ調べマス、青山サンノ地所ハ二十錢ト云フコトデアリマス、安イモノデス、一般人民ガ一人々々ニ持ツテ居レバ愈々困ルトキニハ自分ノ金デヤラナケレバナラナイノデアリマスガ、サリトテ地主ノ方ニモ負擔ガ重クナツテハ氣ノ毒デアリマスカラ、ソコヲ充分ニ御考慮ヲ願フコトニシタイト思ヒマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 古川橋ノ橋梁費ハ十萬圓デス、ソレヲ此表ハ引イテナイノデス

○渡邊委員長 四十七萬圓ト云フコトニナレバ百分ノ二十五ノ場合ノ負擔ニ似通ツテ來ル譯デス、ソレカラ百分ノ二十ノ所ハズツト落ちマス

○太田委員 是ハ頗ル「デリケート」ノ問題デ、此受益者ノ負擔金ヲ非常ニ輕減スルコトニシタ結果市民ノ一般ノ負擔ヲ増加セシムルコトハ市民トシテ迷惑ナ話デアアル、ソレデ斯ウ云フ問題ハ私ガ曩ニ言ツタヤウニ廣イ區域ノ上流カラシテ被害ガ下ニ及ブノデアリマスカラ、國若ハ東京府デ補助スルノガ合理的デアリマス、併シ今日ハソレガ出來得ナイト云フコトニナルト、其輕減ヲ圖ルト云フコトニスルニハ他ニ賣拂フ物件其他ヲ此ノ補填ニスルヨリ外ニ仕方ガナイ、ソレデ此賣拂フ物ヲドウ見積ルカト云フコトガ、是カラ議論ガ出テ來ル、受益者負擔ヲ輕減スルガ爲ニ財源ノ賣拂物ヲ高ク見ルト云フコトハ或ハ不合理カモ知レマセヌガ、或ル適當ナ價格ニマデ引上ゲルコトハ決シテ不合理デナイト思フ、ソコデ今度ハ負擔ノ振合ヒカラ往クト、斯ウ云フ問題ガ出テ來ル、此負擔ノ歩合ガドウナルカト云フト、是ハ護岸ノ關係ガ非常ニアルノデアアル、護岸ガ工事費ノ多額ヲ占メテ居ルノデアアルカラ、護岸費ノ負擔如何ト云フコトニ依ツテ亦此問題ガ變ツテ來ル、百分ノ三十三ガ二十五トナツテモ、其内容ノ一般負擔ト護岸費ノ負擔ニ付テ是カラ問題ガ起ツテ來ルト思フ、ソレデ私ハ護岸費ノ負擔ト一般負擔ヲ合セテ此處デ質問應答ヲシテ了ツタ方ガ、却テ良クハアリマスマイ

カト思フノデアリマスガ、皆サンノ御考ハ如何デゴザイマセウカ、ソレカラモウ一ツハ負擔ガ重クトモ其負擔ガ短期ニ亘ルカ長期ニ亘ルカト云フコトニ因ツテ、又負擔スル者ノ立前ガ違ツテ來ルト思ヒマス、幸ニ中塚サンハ此事ニ就テ御調べニナツテ居リマスカラ、之ニ對シテドウ云フ邊マデ御調ガ進ンデ居リマスガ、茲ニ出テ居ル百分ノ三十三ノ割合ハ十通り出テ居リマスガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中塚委員 年限ニ付キマシテハ、二十年ニ延バスト云フコトハ餘リ長過ギルノデ、十五年ト云フ考ヲ持ツテ居リマシタガ、昨日又能ク當局ト相談ヲ致シマシタ所ガ、今年トシテモ既ニ十三年ニナツテ居ル、三年前カラ取立テナケレバナラヌヲ取立テナイデ居ル、ソレヲ是カラ又十五年ト云フコトニナルト、殆ド二十年ニ近いモノニナル、サウ云フコトハ市ノ立場カラ困ルト云フ事情ヲ承ツタノデアリマス、ソレカラ百分ノ三十三ハ受益者負擔ノ方デ是位ニシテハト云フコトデヤツテ見マシタガ、是デモ多イ、多イケレドモ實ハ私共埋立地ノ方ハ茲ニ現ハスコトハ兎ニ角、モツト高ク見積ツテ置イテ貰ヒタイト思ヒマスコトハ、東京市ノ河港課長ノ御説明デハ、四千八百五十六坪ヲ坪百五十圓ト見テ七十二萬八千五百圓ニ計上シテ居ツタト云フ御話デアリマシタ、所ガ實際ニ就テ見マスト埋立ガ完成スレバ六千九百坪ニナラウトシテ居ル、假ニ三割ヲ道路ニ取ツテモ、モウ五十圓見積ルナラバ茲ニ五千坪トシテ二十五萬圓ハ勘定ニ入レテ良イト思ツテ居リマス、ケレドモサウ見

テ右カラ左ニ直グ賣ルコトモ出來ナイシ、市ノ財政ヲ益々困ラセル立場ニナリマスカラ、先ヅ二十萬圓位ニ見テ貫ヒタイ、ソレカラ古川橋ハ十萬圓掛カルノデアリマスガ、之ヲ三分ノ一ヲ引クト云フヤウナ所デ百分ノ三十三ヲ三十クラキニシテ折合ハナイデアラウカ、ソレカラ十五年案ハ私ハ能ク考ヘテ見マセウト云フコトデ別レタノデアリマス、出來ルナラバ私ハ負擔ハ可ナリ重イト思ヒマスカラ、十五年クラキニシテ貫ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○前田委員 受益者負擔デ十年以上ノ例ガアリマスカ

○武部計畫課長 ゴザイマセヌ、道路ニ付キマシテハ三年五年ト云フノガ多イヤウデアリマス

○中塚委員 受益者負擔ヲシテ工事ヲスレバ、三ノ橋迄滿潮ノトキハ船ガ往クト云フ御話デアリマシタガ、本當ニ船ガソコニ這入ルコトニ依ツテ受益者負擔ヲ掛ケルト云フ意味ガ含マレテ居ルナラバ今後瓦斯會社ガ鐵管ヲ置イテ船ガ這入レナイヤアニナツテ居ル瓦斯會社ヲ、取除ケニナルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイ

○太田委員 四十七萬圓ヲ基礎ニシテ、百分ノ三十ト云フモノヲ一般負擔ガ十、護岸負擔ガ二十ト云フコトニシテ、ソレデ算盤ガ追ツ付クカドウデスカ

○渡邊委員長 此程度デ食事ニシマスガ、懇談スルコトニ致シマセウ——是デ休憩致シマス
午後零時二十分 休憩

午後一時十分 開議

○渡邊委員長 午前ニ引續キ開會致シマス——懇談會ノ形デ續ケタイト思ヒマスガ如何デスカ

「賛成」「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○渡邊委員長 ソレデハ懇談會ニ致シマシテ、各位ノ御相談ヲ願フコトニ致シマス

午後一時十一分 懇談會ニ移ル

午後二時五分 開議

○渡邊委員長 是ヨリ引續キ開會致シマス、午前中カラ負擔金ノ割合ニ付テ色々議論ガアリマシタガ原案ノ通りデハ餘リニ重イト云フ御意見モアリマシタ、是ハ御當局ニ於テモ認メテ居ラレマシテ低クシテ良イト云フ譯デ、段々率ニ付テ種々御協議ヲ遂ゲラレタノデアリマスガ、色々ノ案ガ提出サレマシテ、或ハ百分ノ三十三ト云フ案モアリマシタガ、尙ホソレヨリ低イ案モ出タ次等デアリマシタ、ソコデ此機會ニ於テ市ノ方面ノ御考ヲ承ツタラ好都合デアルト思ヒマスガ如何デセウカ

「賛成」「賛成」ト呼フ者アリ」

○渡邊委員長 ソレデハ左様ニ願ヒマス

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 午前中申上ゲマシタヤウニ、大體下水道ト同ジヤウナ具合ニ百分ノ三十三クラキ迄ハ良カラウカト云フ意見デアリマシタガ、目黒川トノ關係上、モウ少シ下グラレナ

イカト云フ皆サンノ御意見モアリマシタガ、又隅田川ノ河口改良ノ關係デ土地ノ改良ノ餘地モアルカラト云フ皆サンノ御意見モアルヤウデアリマスカラ、市ノ理事者トシテハ百分ノ三十迄ハ仕方ガナカラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○中塚委員 百分ノ三十デ金額ハ幾ラニナツタノデスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 ソレハ百分ノ三十ノ内容ノ取方デアリマスガ、假ニ今出テ居ル數字ヲ申シマスガ、十五・十五ニ見マシテ、護岸負擔ヲ十五、一般負擔ヲ十五ト致シマス、實收入ノ見込額ガ四十六萬四千五百四十四圓ト云フコトニ相成リマス、尤モ是ハ古川橋ノ橋梁費ヲ負擔ノ基本金カラ除イテ居リマス、尙ホ一般負擔ヲ十三、護岸負擔ヲ十七ト致シマス、古川橋ノ橋梁費ヲ負擔ノ基本金カラ除キマシテ計算致シマス、實收額ハ四十六萬八千餘圓ニ相成リマス

○渡邊委員長 市ノ側カラ只今御説明ガアリマシタガ、率ハ成ルベク低クシタイト思ヒマスガ、ソレニ付テ三十ト云フコトヲ述ベラレマシタ、之ニ對シテ御意見ハ如何デアリマスカ——懇談ノトキニ皆サンノ御意見モ交換サレテ、居リマシテ率ノ低イ程負擔スル人ノ都合ガ好イデセウガ、三十以下ニハ下ゲ難イト云フ市ノ事情モアルヤウデアリマスカラ、此位ノ所デ折合ヒマシテハ如何デアリマセウカ

「賛成」賛成ト呼フ者アリ

○渡邊委員長 ソレデハ百分ノ三十ト云フコトニ歩合ヲ極メマシテ、尙ホ一般負擔ト護岸負擔トノ振合ヒヲドウ云フ風ニ定メマスカ、ソレヲ御協議ヲ願ヒマス

○太田委員 只今百分ノ三十ト云フコトニナリマシタガ、一般ト護岸ノ負擔ノ割合ニ付テモ懇談會中ニ色々御意見ガ出マシタコトデアリマスカラ、議論ハ此際省キマシタ方ガ、議事ノ進行上便利カト思ヒマス、ソレデ負擔ノ割合ハ、護岸負擔ヲ十七、一般負擔ヲ十三、合セテ百分ノ三十ニ致スコトガ最モ適當デアラウカト斯様ニ考ヘマス

○中塚委員 護岸ヲ十七トシテ一般ヲ十三ニシマス、其金額ハドウ云フ風ニナリマスカ、十五ト十五ノ御説明ガアリマシテ、四十六萬八千圓ト云フコトハ承リマシタガ、十三ト十七デハ重イ人ハ坪幾ラニ當リマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 今一寸其數字ガ出來テ居リマセヌガ、十五ト十五ノ場合ノ坪當リノ數字ガ出來テ居リマスカラソレヲ申上ゲマス、護岸負擔ノ方ハ坪當リ二十七圓見當デアリマス

○中塚委員 一箇年ニ……

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 總額デスカラ十年間デス——次ニ一般負擔ノ平均ヲ申上ゲマス、十年間デ坪當リ四圓七十四錢二厘、次ニ第一地帯ヲ申上ゲマス、第一地帯ハ五圓八十二錢八厘、第二地帯ハ四圓六十六錢六厘、第三地帯ハ三圓七十三錢二厘ト云フヤウナ見込ニナリマス

○渡邊委員長 護岸ハ二十七圓幾ラデスカ

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 二十七圓切りデス

○太田委員 今ノ御説明ハ十五ト十五ノ標準ヲ仰シヤツタノデスカラ、十三ト十七デ取レバ減ル譯デ
スナ

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 左様デス

○渡邊委員長 サウスルト斯ウナリマスナ、十三ト十七デ往ケバ十三ノ四圓二十六錢ヨリ幾ラカ減ル
ノデスカ

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 是ヨリ橋梁ニ對スル金額丈ケガ減ル譯デス

○渡邊委員長 目黒川ノ平均ハ四圓十七錢デスカラ、ソレヨリ幾ラカ安クナリマスナ——サウスルト
只今百分ノ三十トスルコトニ付テハ皆サン御異議ガナカツタヤウデスガ、其内譯ニ付テ太田サンカ
ラ御話ニナリマシタ一般負擔ヲ十三、護岸負擔ヲ十七トスルト云フコトニ付テモ御異議ゴザイマセ
ヌカ

「異議ナシ」異議ナシト呼ブ者アリ

○渡邊委員長 ソレデハ左様ニ決定致シマス——アトノ分ハ一括議題ニ供シマス

○前田委員 第六條ニ付テ修正意見ヲ提出致シマス、原案ノ本質ニ少シモ關係ハナイノデスガ、言現

ハシ方ヲ明瞭ニスル爲デアリマス、第六條第二項ニ「事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ存スル地上權
永小作權及賃借權ガ設定セラレタル土地ニ付テハ」トアリマス此「土地」ト云フノヲ「有租地」ト
改メタイノデアリマス、ソレカラ其續デ「其ノ地上權者、永小作人及賃借人ヲ以テ各受益者ト看做
ス」トアリマス中ノ、「各受益者ト看做ス」ト云フノヲ「各受益者トス」ト改メタイノデアリマス、
理由ハ「土地」ト書イテアリマシテモ事實ハ「有租地」デアリマス、ソレカラ「看做ス」ト書イテ
擬制ニスル必要ハナイカラデアリマス、次ハ第六條第三項ニ「最後ニ設定シタルモノノ權利者ヲ以
テ受益者ト看做ス」トアリマスノヲ、「受益者トス」ト改メタイノデアリマス、理由ハ前ト同ジデア
リマス

「賛成」賛成ト呼ブ者アリ

○渡邊委員長 只今前田サンカラノ御意見ノ通り修正シテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」異議ナシト呼ブ者アリ

○渡邊委員長 ソレデハ修正ノ通り決致定シマス

○中塚委員 私ハ第八條ノ所デ修正シテ貫ヒタイノデス、其文案ハ適當ニ書イテ戴イテ宜シイノデス
ガ、斯ウ云フ趣旨ノコトヲ附加ヘテ置キタイノデス、ソレハ第一項ノ前ニ新ニ一項ヲ附加ヘテ以下
順次繰下セラレタイノデスガ、其趣旨ハ、同一ノ土地デ同一年内ニ負擔金ヲ、下水ノ如ク、鋪裝道

路擴築ノ如ク、サウ云フコトニ受益者負擔ガ起ルノデアリマスガ、同一年內ニ下水ノ場合ニハ相當スル金額ヲ減免シテ貫ヒタイ、鋪裝道路ニ付テハ減免セズニ、道路擴築ノ分モ相當ノ受益者負擔金ヲ減免シテ戴キタイノデアリマシテ、古川改修ノ受益者負擔金ヲ拂ツテ、更ニ下水道改築デアルトカ其他負擔金ヲ同一年度ニ出スコトハ苦シイト思ヒマスカラ、斯ウ云フ規定ヲ入レテ戴キタイノデアリマス

○渡邊委員長 只今中塚サンヨリ古川改修受益者負擔ニ關スル件ニ付テ、減免ノ條項ヲ設ケルヤウニト云フ御修正ガアリマシタガ、別ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○渡邊委員長 御異議ガナケレバ今ノ御修正ニ適合シタ規定ヲ此中ニ入レル必要ガアルト思ヒマスガ他ニモサウ云フ實例ガアツタカモ知レマセヌカラ、若シアリマシタナラバ適當ナ文章ヲ當局ニ御示ヲ願ツテ、ソレヲ入レルコトニ致シマセウ

○武部計畫課長 今ノ御修正ヲ文章ニ直ホシマスト

「第八條第一號ヲ第二號トシ同條第二號ヲ第三號トシ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

- 一 同一ノ土地ニシテ同一年度内ニ本令ニ依ル負擔金ト他ノ規定ニ依ル受益者負擔金トヲ重複シテ負擔スヘキ關係ニ該當スルトキ

斯ウ云フノヲ入レタラバ如何カト思ヒマス

○渡邊委員長 只今朝讀ニナリマシタヤウナ文句ノコトヲ挿入スレバ、提案者ノ御趣旨ガ貫徹スルヤウニ思ヒマスガ如何デスカ——下水ハ幾ラ減免トカ、道路ハ幾ラ減免スルトカ云フコトヲ入レナイデモ宜シイノデスカ

○武部計畫課長 ソレハ市長ニ一任スル譯ニナリマス

○渡邊委員長 ソレデハ只今ノ通りノ文句ヲ以テ修正スルコトニ致シマス——其他ニ就テ別段御意見ハゴザイマセヌカ

○堀切委員代理廣瀬東京市助役 十三ト十七ノ場合ノ護岸負擔竝ニ一般負擔ノ實數ガ、大體今算盤ヲ採ツテヤツテ見マシタカラ、ソレヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、護岸負擔ヲ十七トシテ一般負擔ヲ十三トシタ場合ニハ、實收見込額ハ四十七萬一千三百十二圓トナリマス、ソレカラ護岸ノ平均坪當リ負擔ヲ申シマス、ソレガ三十圓六十錢、是ハ總額デゴザイマス、次ニ一般負擔ヲ申上ゲマス、一般負擔ノ平均ガ四圓十一錢デアリ、ソレカラ第一地帯ガ五圓五錢一厘、第二地帯ガ四圓四錢四厘、第三地帯ガ三圓二十三錢五厘、是丈ケデゴザイマス

○前田委員 異議ハアリマセヌ

○渡邊委員長 別段御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○渡邊委員長 ソレデハ本案ハ是ニテ決定シタコトニ致シマス、皆様御苦勞デゴザイマシタ

午後二時四十分 散會

古川改修事業及
道路新設擴張事業 受益者負擔ノ件第四回特別委員會議事速記録

昭和四年七月十日(水曜日)復興局會議室ニ於テ開會

出席者氏名

委員長

從四位勳四等 渡邊 鐵藏君

委員

東京市會議員 古島 宮次郎君

内務次官 潮 惠之輔君

東京府知事 中 川 健藏君

東京市會議員 新 甫 寬實君

東京市會議員 中 塚 榮次郎君

東京市長堀切善次郎君代
理東京市助役 廣 瀬 久 忠君

衆議院議員 太田信治郎君

正五位勳四等 前田多門君

復興局長 赤木朝治君

復興局長 中川望君

幹事

復興局書記官 武部六藏君

正六位勳六等 西村輝一君

復興局事務官 片野道藏君

議事

午前十時 開議

○邊邊委員長 是カラ開會致シマス、平田委員、平塚委員、佐上委員ハ御轉任若クハ御退官ニナリマシタノデ、委員ノ資格ガ消滅致シマシタ、ソレデ新ニ中川東京府知事、中川復興局長官ガ特別委員ニ指名ニナリマシタ、此前ハ古川ノ改修受益者負擔ニ關スル件ノ方ヲ此委員會デ決定致シタノデア

リマシタガ、其時ニ多少修正シタ事項ガアリマシテ、其修正事項ニ付テ文章ナドハ後デ直ホスコトニシタヤウナ點ガアリマスカラ、正確ナモノヲ當局カラ御示ヲ願ヒマシテ、尙ホ數字等ニ付テモ正確ナモノヲ御示ヲ願ヒタイト思フノデアリマス〔此ノ速記録末尾ニ添付ス〕ソレデ今日ハ議第一二二號東京都市計畫事業道路受益者負擔ニ關スル件、之ヲ御審議ヲ願ヒマス

○武部計畫課長 幹事カラ御説明申上ゲマス、本件ハ大正十年五月都市計畫事業トシテ決定致シマシタ街路ノ新設擴張、更ニ昭和二年八月、ソレ以外ノ道路網ガ都市計畫トシテ決マツタノデアリマスソレデ此兩方ニ就キマシテ受益者負擔ヲ取リタイト云フ考デ、是ガ議題トナツタノデアリマシテ、此二ツノ都市計畫ハ東京市長ノ執行ニ係ル分デゴザイマス、大正十年ノ分モ昭和二年ノ分モ、郊外ニ屬スル分ハ東京府知事ガ執行シテ居リマスガ、問題トナツテ居リマスノハ其中ノ市内ニ屬スル分、即チ東京市長ノ執行スル分デアリマス、尤モ市内トシテ一部分郡部ニ亘ツテ居ル所ガゴザイマス、其市長執行ノ今回ノ街路計畫ハ、大正十年ニ決マリマシタモノガ、路線數ガ三十二デゴザイマス、サウシテ其事業費ガ五千三百餘萬圓ニナルノデアリマス、昭和二年ニ決定致シマシタ方ノ道路ニ付キマシテハ、路線數ハ二十四デ、其事業費總額ガ約六千萬圓デアリマス、合計一億一千三百餘萬圓ニナルノデアリマス、尤モ此全體ノ總額ガ非常ニ大キクアリマスノデ、東京市ノ財政ノ都合上、直ニ著手スルコトガ出來マセヌノデアリマスガ、現在都市計畫事業トシテ市ニ於テ執行中ニ屬シ、既

ニ豫算ノ取ツテアリマスモノガ約一千六百餘萬圓ニナツテ居ルノデアリマス、今回此規定ガコチラ
デ御可決ニナリマスレバ、差當リ一千六百餘萬圓ニ付テ受益者負擔ヲ實際ニ掛ケルコトニナルト思
ヒマス、其他ノ道路計畫ニ付キマシテハ、順次都市計畫事業ト相成リマシテ、次第ニ受益者負擔ガ
實際問題トシテ掛ケラレルコトニナルノデアリマス——一應第一條カラ逐條ニ簡單ニ御説明ヲ申上
ゲマス

第一條 東京市ハ大正十年五月内閣認可東京都市計畫事業街路ノ新設擴張及昭和二年八月内務省告
示第四百九號東京都市計畫道路ノ新設改修中市長ノ執行スベキ事業ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル
所ニ依リ受益者ヲシテ負賃セシムベシ

是ハ只今申上ゲタ通りデアリマス、東京市長ガ執行スル街路デアリマスノデ、市長ニ於テ此費用ヲ
受益者ニ掛ケルノデアリマス

第二條 大正九年九月内務省令第二十八號ノ區劃ハ道路ノ附近ニ於テ道路ノ境界線(街角ヲ翦除シ
タル部分ニ於テハ其ノ翦除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線)ヨリ道路ノ幅員ノ五倍ノ地
域トス

前項ノ地域内ニ於ケル道路、河川、溝渠、堤塘其ノ他地物ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ
内務大臣ハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界ト爲スコトヲ得

本案ハ第一項第二項共ニ所謂負擔區劃ノ限界ヲ定メタルモノデアリマス、第一項ニ依リマスレバ、
擴張又ハ新設サレマス道路幅員ノ五倍ノ地域ヲ以テ負擔區劃ノ限界トスルト云フノガ第一項ノ大原
則デアリマス、尤モ第一項中ニ括弧ガシテゴザイマスガ、是ハ道路ニ「隅切り」ガシテアル場合ニ
ハ、隅切りヲセザルモノト假定シテ奥行ヲ測ルト云フ意味ノ規定デゴザイマス

第二項ハ一應第一項ニ於テ五倍ト云フ原則ガ立チマシタケレドモ、新ニ竝行道路トカ、河川トカ、
大キナ溝トカ、堤塘トカ云フヤウナ地物ノ爲ニ、道路ノ受益ノ範圍ガ一定ノ限界ノ所デ限ラレルト
キハ、負擔區劃ヲ一定ノ地物ニ依ツテ定メルコトガ出來ルヤウニスル規定デアリマス、大正九年九
月内務省令第二十八號ノ區劃ト申シマスノハ、此省令ハ受益者ハ何人デアルカト云フコトヲ極メタ
モノデアリマスガ、其中ニ書イテアル區劃、即チ受益者負擔ヲ掛ケラレル負擔區劃ト云フコトガ、
省令第二十八號ノ區劃ト謂フ意味デアリマス

第三條 市長ハ路線、道路ノ幅員、事業執行年度、土地ノ狀況等ニ依リ負擔區劃ヲ細分シテ負擔區
ヲ定ム

是ハ山ノ手ノ道路網デアリマスノデ、同時ニ事業ヲ執行スル譯デアリマセヌ、年度ニ依ツテ一部ツ
、執行スルコトニナルノデアリマス、其場合ニモ其部分ヲ一ノ負擔區トシテ受益者負擔ヲ掛ケル、
或ハ道路ガ切レテ居ル場合ニ一部分ヲ負擔區ニスルトカ、幅員ガ違フ場合ニ、ソコデ切ルトカ云フ

ヤウニ、適宜負擔區ヲ分ケルコトガ出來ルト云フ規定デアリマス

第四條 受益者ノ負擔スベキ金額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一、道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トシ負擔區毎ニ之ヲ定ム但シ第二條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ノ限界ヲ定メタル場合ニ於テ第二條第一項ノ地域内ニ在ル限界外ノ土地ニ付負擔金ヲ負擔セシムルモノトセバ其ノ負擔金額ハ之ヲ控除ス負擔區内ニ負擔金ヲ負擔セザル土地アル場合ニ於テ其ノ負擔金額ニ付亦同ジ

道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ道路ノ幅員ガ舊道路ノ平均幅員ノ三倍以上ナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路ノ新設ト看做ス

是ハ受益者負擔ヲ掛ケル金額ノ基本トナルベキモノヲ極メタノデアリマス、第一ハ第一項ノ主文ニ書イテアリマスマウニ、道路新設ノ場合ハ其事業費ノ三分ノ一、擴築ノ場合ハ四分ノ一ヲ掛ケルノデアリマス、新設ノ場合ニ於ケル受益ハ擴築ノ場合ニ於ケル受益ヨリ大キイノデアリマスカラ、新設ノ場合ハ擴築ノ場合ヨリモ負擔ヲ重クシタノデアリマス、三分ノ一若クハ四分ノ一ト云フ歩合ハ、既ニ東京府知事ニ於テ執行シテ居リマス所ノ郊外ノ道路ノ受益者負擔ニ於テ採用シタ數字デアリマス、又他ノ都市ニ於キマシテモ斯ウ云フ數字ニ依ツテ居ルノガ尠ナクナイノデアリマス、サウシテ第三條ニ於テ幾ラカ細分シテ負擔區ヲ極メマスノデ、負擔區毎ニ事業費ヲ勘定スルノデアリマ

シテ、其三分ノ一若クハ四分ノ一ヲカケルノデアリマス、但書ハ文章ハ込入ツテ居リマスガ、其趣旨ヲ申上ゲマスト、第二條デ御説明申上ゲマシタ原則ニ依ツテ大體ハ五倍ノ地域デアリマスガ、第二項ニ依ツテ五倍ノ地域ヨリ、中ニ溝ガアルトカ河川ガアルトカ云フトキニハ負擔區ガソコデ留マシテデアリマス、隨ツテ負擔區ノ面積ガ狭クナル、其場合ニ事業費ノ三分ノ一若クハ四分ノ一ヲ掛ケマスト坪當リノ金額ガ高クナリマスカラ、限界外ニ在ル部分ヲ控除シテ負擔ノ衡平ヲ期スルト云フ規定デアリマス、尙ホ但書ノ後段ニ「負擔金ヲ負擔セザル土地アル場合ニ於テ其ノ負擔金額ニ付亦同ジ」トアリマスノハ、例ヘバ五倍ノ負擔區トシテモ、其中ニ道路其他無租地ガアルトスルト、受益者負擔ヲカケナイノデアリマスカラ、之ヲ他ノ有租地ニ掛ケルト負擔ノ衡平ヲ缺イテ重クナリマスカラ、一應全體ニ掛ケテ置キマシテ、無租地ニ掛カルモノト假定セバ掛カル金額ヲ控除スルト云フ規定デアリマス

第二項ノ規定ハ、前項ニ依ツテ擴築ノ場合ハ四分ノ一、新設ノ場合ハ三分ノ一トナリマスガ、擴築デモ現在道路ノ幅員ノ三倍以上ニ擴ガルトキハ、新設ノ道路ト看テ三分ノ一ヲ掛ケルト云フ規定デアリマス

第五條 市長ハ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ負擔區ヲ一箇又ハ數箇ノ地帯トシテ一定ノ率ニ依リ各地帯ノ負擔額ヲ定ム

是ハ奥行ガ新設擴築道路ノ五倍ニナルノデアリマスカラ、表口ト裏地トハ受益ノ程度ニ相當ノ差ガアルノデアリマス、隨ツテ其負擔區ヲ二若クハ三ニ別チマシテ、利益ノ多イ所、受益者ノ厚イ所ニハ餘計掛ケル、其薄イ所ニハ少ナク掛ケルト云フヤウニ、受益ノ厚薄ニ依ツテ負擔區ノ中ニ地帯ヲ設ケル規定デアリマス

第六條 新設又ハ擴築スル道路ニ接スル地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ノ二分ノ一ヲ道路ニ接スル土地ヲ部分ノ長ニ比例シ他ノ二分ノ一ヲ土地ノ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帯内ニ在リテハ其ノ地帯ノ負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ノ負擔金額ヲ定ム

是ハ例ヘバ第五條ニ依リマシテ負擔區ヲ三ツノ地帯ニ別ツタト致シマス、第一地帯ハ道路ニ直グ接シテ居ル場合ハ其道路ヲ利用スルコトガ甚ダ多イノデアリマス、此場合ニ單ニ面積ノミニ依ツテ負擔ヲ掛ケルト云フノデハ尙ホ衡平ヲ期シ難イノデアリマス、隨ツテ所謂面積割以外ニ間口割ト稱シテ、間口ノ長サニ比例シテ一定ノ金ヲ掛ケルノデアリマス、サウシテ面積割ト間口割ノ割合ヲ二分ノ一宛トシタノデアリマス、第二地帯及第三地帯ニ於キマシテハ道路ニ直ニ接シテ居リマスノデ總テ面積割デ負擔金ヲ算出スルト云フ規定デアリマス

第七條 負擔金ハ之ヲ均等ニ四分シ事業著手後毎年二回別ニ定ムル期日ニ於ケル現在ノ受益者ヨリ納付セシム

事業著手後十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權・永小作權及賃借權ガ設定セラレタル土地ニ付テハ其ノ地上權者・永小作權者及賃借權者ヲ以テ各受益者ト看做ス負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ之ヲ算出ス

前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

負擔金ハ即納デアリマセヌノデ、七年間ニ分納致サセルノデアリマス、其一年間ヲ二期ニ分ツテ、一年ニ二回、七年十四回ニ均等ニ納メルコトニナルノデアリマス、サウシテ其十四回ニ分ケマシタル其ノ一部分ヲ掛ケマスルトキニハ、其掛ケマスル時ノ現在ノ受益者ニ納付セシムルノデアリマス

途中デ受益者ガ變ツテ居リマスレバ、其變ツタ今度ノ人ニ掛ケルノデアリマス、是ガ第一項ノ規定デアリマス

第二項ハ受益者トハ何人デアルカト云フコトハ内務省令第二十八號ニ依ツテ一應ハ受益者ノ範圍ガ極マツテ居ルノデアリマス、即チ事業著手ノ時カラ起算致シマシテ、十年以上ノ定ノアル地上權・永小作權・賃借權ヲ持ツテ居ル者トアリマスガ、第七條第一項ノ原則カラ言ヒマス、事業著手ノ日ノ現在ノ人ニ全部ヲ掛ケテシマフノデナクシテ、之ヲ分割シテ毎年掛ケルノデアリマスカラ、事業著手ノ時カラ起算シテト云フコトデナク、事業著手ノ後ニナリマシテモ十年ヨリ長イ地上權ナラ

地上權ガ設定セラレタトキニハ、矢張其人間ハ受益者トシテ負擔金ヲ掛ケラレル趣旨ニシナケレバ理論上合ヒマセヌノデ、大正九年省令等二十八號ノ原則ハ適用ハアリマスガ、ソレ以外ニ此第二項ノ原則ヲ追加シタノデアリマス、ソレカラ第三項ハ文字通りデアリマス

第四項ハ事業費ノ豫算額ニ依ツテ一應負擔金ヲ掛ケマスノデ、後ニ工事が完了致シマシテ精算シタ場合ニ、其豫算ヨリ決算額ガ超過シタリ減ツタリスルコトガアリマス、其場合ニ還付シ或ハ追徴サセルノデアリマス、尤モ其金ガ極メテ少ナイトキハ追徴還付ノ費用ノ方ガ却テ掛リマスノデ、其場合ニ市長ハ追徴若クハ還付ヲシナイデモ良イト云フノガ但書ノ規定デアリマス、此但書ノ規定ハ東京府ノ受益者負擔ノ規定ニモゴザイマス、外ノ都市ノ規定ニモゴザイマスガ、實際問題トシテハ餘リ例ガナイヤウデアリマス

第八條 土地利用ノ狀況又ハ建物ノ階層ニ依リ前條第一項ニ依リ算出シタル金額ノ外其ノ五割以内ヲ増課スルコトヲ得

此規定ハ從來アリマスル受益者負擔規定ニハ無イ所ノ新シイ規定デアリマス、此意味ハ例ヘバ非常ナ大キナ八階九階ノ「ビルディング」ガ建ツ場合ニ、其「ビルディング」ニ付キマシテハ其前面ノ道路或ハソレト聯絡シテ居ル道路ヲ使用スルコトガ、他ノ普通ノ一般ノ民家ニ比シテ甚ダ多イノデアリマス、サウ云フ場合ニハ受益者負擔ヲ相當増課シテ良イト云フ規定デアリマス、又或ハ重量ノ貨物

ヲ扱ヒマス運送業者、或ハ工場ハ道路ヲ使用スル點ニ於テ他ノモノヨリ一層受益ガ多イ譯デアリマスカラ、是亦相當増額ヲシテ良クハナイカ、其他劇場デアリマスとか、大キナ「デパートメントストア」ノ如キモ其一例ニナルト思ヒマス、ソレ等ノ場合ニ受益ノ程度ニ依ツテ最高ヲ五割トシテアリマスガ、五割以内ノ範圍デ受益者負擔ヲ増課スルコトガ出來ルト云フノガ本條ノ趣旨デアリマス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第三號ノ場合ニ於テハ寄附額ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 同一ノ土地ニシテ本令又ハ他ノ規定ニ依リ同一年度内ニ重複シテ道路工事ニ關スル負擔金ヲ負擔スル關係ニ該當スルトキ

二 地形ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ

三 道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ノ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シ之ヲ寄附シタル者アルトキ

是ハ減免ノ規定デアリマス、第一號ハ此先キニアリマス規定ニ依ツテ前ノ道路カラモ受益者負擔ヲ掛ケラレ、後口ノ道路カラモ受益者負擔ヲ掛ケラレルト云フヤウナ例ガ出テ來ルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ負擔ガ過重ニナル恐ガアリマスカラ、適當ノ限度ニ於テ減免スルノデアリマス、尙此規定ニ依リマセヌデモ他ノ道路工事ニ關スル受益者負擔ノ規定ニ依ル受益者負擔ト、本令ニ依ル

受益者負擔ト、重複シテ取ラレルヤウナ關係ノ場所ガアリ得ルト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ニハ負擔ガ過重ニナル虞ガアリマスカラ、是亦相當ノ限度ニ於テ減免ヲスルコトガ必要デアルト考ヘタノデアリマス

第二號ハ、是ハ地形ニ依ツテ其道路カラ、例ヘバ五倍ノ區域内ニ於キマシテ崖ガアツテ、ソツチノ道路ヲ利用シ得ナイヤウナ所ガアリマス、地物ノ影響ニ依ツテ負擔區劃ノ限界ヲ定メルト云フ規定ガアリマスガ、ソレト關聯シタ問題デアリマス、地形ニ依ツテ其道路ヲ使用スルコトガ稍、少ナイト認めラル、場合ニハ減免ノ必要ガアリマスノデ、此規定ヲ置イタノデアリマス

第三號ハ寄附ヲシタ場合デアリマス、土地、物件、勞力若クハ金錢ヲ寄附シタリ、又ハ工事ヲ施行シテ寄附スル場合ガアリマス、ソレ等ノ場合ニハ其限度ニ於テ受益若負擔ヲ減免スル必要ガアリマスノデ、本號ヲ置イタ次第デアリマス

第十條 第二條第二項ノ規定ニ依ル負擔區劃ノ限界、負擔區、第五條ノ地帶及率、事業費豫算額及精算額、事業著手ノ日、第七條第一項ノ期日並負擔金ヲ増課スル事項及増課割合ハ市長之ヲ告示スベシ

是ハ本令ヲ施行スル規則ノヤウナモノデアリマシテ、負擔區劃ヲ何處迄ニスルカト云フコトハ内務大臣ガ決メルノデアリマスガ、市長ガ告示ヲスル、負擔區ヲドウ云フヤウニ別ケルカト云フコトモ

市長ガ告示スル、第五條ノ地帶及率、事業費ノ豫算及精算額、イツ事業ニ著手シタカト云フ事業著手ノ日、ソレモ市長ガ告示ヲスル、ソレカラ十四回ニ分ケテ徵收スルノデアリマスガ、其期日モ市長ガ指定ヲスル、尙ホ高イ建物トカ特殊ノ建物ニ増課スル場合ニ、ドウ云フ條件ノモノニ増課スルカト云フ事柄、ソレカラドウ云フモノニハ何割増ニスルカト云フコトナド市長ガ告示スルコトニナツテ居リマス

第十一條 本令施行ノ際既ニ著手セル事業ニ付テハ本令施行ノ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做ス
事業著手ノ日カラ是々ト云フ規定ガ所々ニアリマスガ、此規則ノ出ル前ニ既ニ事業ニ著手シテ居ルノガアリマス、サウ云フモノハ此規則ガ施行ニナリマシタ日ヲ以テ事業著手ノ日ト看做シテ、ソレカラ第七條第二項ノ十年ヲ起算スルノデアリマス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

此規則ノ施行ニ關シマシテ細カイ事項ニ付キマシテハ、市長ガ之ヲ定ムルコトニナツテ居リマス、市長ハ本令ニ依ツテ受益者負擔ヲ徵收スルノデアリマスカラ、ソレニ必要ナル細カイ事柄ハ市長ガ定メルコトニナツテ居リマス——尙ホ御質問ガアリマスレバ御説明申上ゲルコトニ致シマス

ソレカラ茲ニ追加致シテ置キタイト思ヒマスノハ、法律ノ規定ニ依ツテ受益者負擔ハ關係ノ市長・町長ノ意見ヲ徵スルコトニナツテ居リマス、ソレデ本會ニ付議サレマスル前ニ、大臣カラ關係ノ市長町長即チ東京市外十七箇町長ノ意見ヲ徵シタノデアリマス、其結果ニ依リマス、原案ニ異議ノナイモノガ東京市長外七町長デゴザイマス、原案中一部修正ヲ希望スルモノガ十町長ゴザイマス、其修正意見ノ主モナルモノヲ御參考ニ申上ゲマス

第一條ニ付テハ意見ガゴザイマセヌ

第二條ニ付テハ原案ニ依リマス、道路幅員ノ五倍トナツテ居リマスガ、之ヲ七倍迄擴張シテ貫ヒタイト云フ意見ガ六町長カラ出テ居リマス、ソレカラ尙ホ道路幅員ノ十倍迄擴張シテ欲シイト云フノガ、淀橋町長カラ出テ居リマス、今回ノ負擔區劃ハ五倍トシテ出シタノデアリマスガ、東京府知事ノ執行シテ居リマス郡部ノ事業ノ負擔區劃ハ七倍ニナツテ居リマシテ、本案ヨリ廣イノデアリマス市内ニ於キマシテハ非常ニ道路ガ發達シテ居リマシテ、竝行道路其他ガ多イノデアリマス、又人口ガ稠密シテ居リマスデ、同ツ道路ガ出來マシテモ受益ノ範圍ハ低イノデナイカト云フ見込カラ、郡部ハ七倍デアリマスガ、今度ノ規定デハ五倍トシタノデアリマス、尤モ此點ニ付キマシテハ郡部ト市部トノ境ニ於テ繋ギ目ニ考慮スベキ餘地ガアルカト考ヘマス、即チ今回ノ市長ノ執行致シマス道路デモ、郡部ニ亘ツテ居ルモノガ幾ラカアリマス、殊ニ一部分小名木川ニ沿フ道路ハ、圍ハリニ家

ノナイ所モアリマスノデ、町長カラ出テ來マシタ意見ハ相當考慮ノ餘地ガアルノデナイカトモ思ハル、ノデアリマス

第三條ニ付キマシテハ意見ガアリマセヌ

第四條ニ付キマシテ、原案ハ新設ガ三分ノ一、擴張ガ四分ノ一トナツテ居リマスガ、是ハ四分ノ一ニ低減シテ貫ヒタイト云フ意見ガ淀橋町長カラ出テ居リマス、此問題ニ付キマシテハ既ニ郡部ノ府知事ノ執行シテ居リマス道路モ、只今出テ居リマス案ト同ジデアリマスノデ、此點ニ付キマシテハ當局ト致シマシテハ、考慮ノ餘地ガナイヤウニ考ヘテ居リマス

第五條ニ付キマシテハ別ニ意見ガゴザイマセヌ

第六條ニ付キマシテハ、原案ニ依リマス、所謂間口割ト面積割ガ第一地帯デアリマス、二分ノ一ヅ、ニナツテ居リマス、所ガ其間口割ヲ三分ノ一トシテ、三分ノ二ヲ面積割トシテ貫ヒタイト云フ意見ガ、四ツノ町長カラ出テ居リマス、是ハ郡部ノ府知事執行ノ道路ニ付キマシテハ、此意見ノヤウニ三分ノ一ヲ間口割、三分ノ二ヲ面積割トシテ現ニ施行シテ居リマス、市内ニ就キマシテ茲ニ二分ノ一ノ原則ヲ採リマシタノハ、市内ニ於テハ道路ニ面スル者ガ道路ノ利益ヲ受クルコトハ、家ノ割合ニ少ナイ所ヨリモ更ニ多イ感ジガ致シマスノデ、他ノ都市ノ例モ二分ノ一ガ多イコトデモアリマスカラ、其前例ニ據ツタノデアリマス

第六條ニ付キマシテ日暮里ノ町長カラ、事業ヲ開始スル前若クハ施行シテ居ル間ニ區劃整理ガアツテ、其爲ニ面積ガ減ツタ場合ハ、減ツタ面積ニ依ツテ受益者負擔金ヲ計算シテ貫ヒタイト云フ意見ガ出テ居リマス、此點ハ原案ニ依リマシテモ結局同ジ事ニナリマス、即チ十四分シテ掛ケルトキニ現在ノ受益者カラ取ルノデアリカスカラ、其時ニ面積ガ減ツテ居レバ減ツタ面積デ掛ケラレルコトニナルノデアリマス、ソレデ此日暮里町長ノ意見ハ既ニ原案ニ於テ採用サレテ居ルコトニナルノデアリマス

第七條ハ七年間十四回ニ分納スルコトニナツテ居リマスガ、之ヲ十年間ニ延バシテ貫ヒタイト云フ意見ガ、淀橋、巢鴨ノ二町長カラ出テ居リマス

ソレカラ第七條第四項ニ付キマシテ、豫算額ニ依ツテ取ツタモノガ、精算額ト違ツタ場合ニ、追徴若クハ還付スルト云フ規定ニ付テノ但書ヲ削除シテ貫ヒタイト云フ意見ガ、西巢鴨町長カラ出テ居リマス

ソレカラ矢張第七條デアリマスガ、負擔金納付期間内、即チ七年間ノコトヲ謂フノデアラウト思ヒマスガ、其間ニ受益者ニ異動ガアツタ場合ハ、負擔金納付義務者ニ關スル明文ヲ設ケテ貫ヒタイト云フノデアリマス、十四分シタモノヲ掛ケルトキニ現在ノ受益者カラ取ルト云フノデアリマスカラ途中デ變ツタ場合ノ規定ハ、原案デ既ニ明瞭カト考ヘマス

第八條ノ大キナ「ビルディング」其他ニ付テ増課スル場合ニ、階層、高層ノ外形ニ依ツテ増課歩合ニ差等ヲ附ケテ貫ヒタイト云フノデアリマス、是ハ規則ノ改正意見デアリマスカ、或ハ實行スル際ニサウ云フ風ニヤツテ貫ヒタイト云フ意味デアルカ分リマセヌガ、要スルニ差等ヲ附ケテ貫ヒタイト云フ意見デアリマス、此點ハ實際問題トシテ負擔ヲ増課スルトキハ、物ニ依ツテ相當差等ヲ附ケルコトニナルト思ヒマス

第九條、是ハ減免ノ規定デアリマスガ、本令ニ依ル負擔金ガ重複スル場合、或ハ本令ト外ノ規則ノ規定ト重複スル場合ニ付テ、原案ハ同一年度内トアリマスガ、ソレヲ五箇年度内ト改メテ貫ヒタイト云フ案ガ、西巢鴨、日暮里ノ二町長カラ出テ居リマス、全然削ツテ貫ヒタイト云フ意見ガ吾嬭町長、大島町長カラ出テ居リマス

ソレカラ第二號ノ「地形ニ依リ斟酌スベキ必要アルトキ」ト云フ所ニ「其ノ地方ノ狀況ニ依リ」ト云フコトヲ加ヘテ貫ヒタイト云フ意見ガ、吾嬭町長カラ出テ居リマス、此點ハ第九條ノ二號ノ外ニ第二條ノ二項ガアリマスノデ、少シク屋上屋ヲ架スルヤウナ注文デナイカト思ヒマス

第十條、第十一條ニ付テハ意見ガゴザイマセヌ

ソレカラ第何條ト云フ譯デナク全體ニ就テ千駄ヶ谷町長カラ、受益者ガ何人デアルカト云フコトヲ明瞭ニシテ貫ヒタイト云フ注文ガアリマス、是ハ内務省令第二十八號ト、今回ノ規則ト二ツ寄セテ

極メテ明瞭デアルカト思ヒマス

其他千駄ヶ谷町長カラ、自分ノ町ニ關係ノアル豫算ヲ示シテ貰ヒタイ

ソレカラ大島町長カラ東京府知事ノ執行スル道路負擔金ト平衡ヲ保ツヤウニシテ貰ヒタイト云フ一般ノ注文ガゴザイマス

大體市長町長ノ意見ハ以上ノ通りデゴザイマス

○渡邊委員長 御質問ハアリマセヌカ

○前田委員 負擔區ハ大體範圍ハドノ位デスカ——市長ガ極メル譯デアリマスカ

○武部計畫課長 道路デ言ヘバ長サデスガ、ドノ位ニヤツテ居リマスカ、市ノ方ハ是ガ初メテマスカラマダ例ガナイノデ乗ザイマス

○前田委員 工事費ヲ狭イ區域デ負擔スルコトニナルト、非常ニ重イ負擔ニナリマスナ

○太田委員 現在東京市ニ於テ工事ニ著手シテ居ルノデスガ、是ハ本令ノ決マル迄ハ負擔金ヲ徴收シテ居ラナイト云フヤウニ承知シテ居リマス、ソコデ本令ノ極マラナイ内ニ異動ガアリマシタ部分ニ付テハ、本令ノ決マツタ以後ノ人ガ負擔ヲシテ、其間ニ異動シタ者ハ負擔ヲシナイト云フ形ニナリマスカ、或ハ廻ツテ御取りニナル考デアリマスカ

○武部計畫課長 廻及シナイト云フ主義デアリマス

○太田委員 ソレカラ是ハ東京市ノ方ノ既定計畫事業ノ收支豫算トハ、ドウ云フ風ナ關係ニナリマスカ、何等之ヲ決テ往ク上ニ於テ金額ニハ別ニ變リハナイノデアリマスカ——負擔ノ増減ニ付テ豫算ニ何等關係ガナイ、斯ウ云フコトニナリマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 無論此大正十年ノ都市計畫竝ニ昭和二年ノ都市計畫トシテ道路ガ決リマシテ、ソレヲ事業費ニ引直ホシマシタノガ今千六百萬圓アル譯デアリマスガ、豫算ヲ編成スル際ニ市當局トシテハ相當ノ受益者負擔ヲ取ラナケレバナラヌト云フコトハ、市當局ノ腹ニハ決ツテ居ツタ譯デアリマス、併シ是ハ豫算面ニ於テ古川ノ場合ノ如ク受益者負擔金ヲ掛ケルトシテモ幾ラ取ルカト云フコトハ決ツテ居リマセヌ

○太田委員 サウスルト既定計畫事業トシテ一般財源カラ支出シテ居ラレルノデスカ、或ハ借入金若クハ市債ニ依ツテ事業ヲ爲シテ居ラレルノデアリマスカ、更ニ市債若クハ借入金ヲ以テ支辨シテ居ラレルトスルト、其市債若クハ借入金ニ依ツテ支辨シテ居ル金ノ利子ハ「一般市ノ収入ガ負擔ヲシテ、此ノ方ニ控除サレル形ニナリマスカ——既定事業ニ支出シタル財源トシテ借入金若クハ市債ヲ以テ支辨シタ場合ニ、其利子モ今後ノ負擔金ニ組入レテ計算ヲナサイマスカ、ドウナリマスカ

○堀切委員代理廣瀨東京市助役 從來施行致シテ居リマス都市計畫事業タル道路ノ事業費ハ、借入金ヲ以テ仕事ヲ致シテ居リマス、此借入金ニ對スル償還財源トシテハ利子トカ元金トカ決ズ、元利償